Мітакі

UV INKJET PRINTER UCJV300 Series UCJV150 Series 取扱説明書



本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。



D203175-30 Original instructions

目次

| はじめに | . 6 |
|-------------------------------|-----|
| 安全にお使いいただくために | . 8 |
| シンボルマーク表示について | . 8 |
| 使用上の警告と注意 | . 9 |
| インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意 | Ī |
| 事項 | 13 |
| インク仕様 | 14 |
| インク消費有効期限に対する本機の制限について | 16 |
| 設置上のご注意 | 17 |
| 設置スペース | 18 |
| 本機を移設したいとき | 18 |
| 本機を移動したいとき | 18 |
| 安全インターロックについて | 20 |
| 警告ラベル | 21 |
| | |

第1章ご使用の前に

| 1.1 各部の名称とはたらき | 26 |
|----------------------|----|
| 正面 | 26 |
| 背面/右側面 | 28 |
| キャリッジ | 29 |
| キャッピングステーション | 29 |
| ピンチローラーとグリットローラー | 29 |
| プラテン | 30 |
| インクステータスランプ | 30 |
| メディアセンサー | 31 |
| 電源スイッチ | 31 |
| 操作パネル | 32 |
| 1.2 電源ケーブルを接続する | 36 |
| 電源を入れる | 36 |
| 電源を切る | 37 |
| 1.3 本機とコンピューターを接続する | 38 |
| USBケーブルを使う | 38 |
| LANケーブルを使う | 38 |
| 1.4 システム構成 | 40 |
| Mimakiドライバーをインストールする | 41 |
| RIP用ソフトウェアをインストールする | 41 |
| カラープロファイルを入手する | 41 |
| RIP用ソフトウェアを準備する | 42 |
| 1.5 インクの交換方法 | 44 |
| インクニアエンドが表示されたとき | 44 |
| インクエンドが表示されたとき | 44 |
| インクを交換する | 45 |

第2章 プリントしてみる

| 2.1 プリントの流れ | 52 |
|---------------------|----|
| 2.2 プリントヘッドの高さを調整する | 55 |

| 2.3 ピンチローラーの位置を調整する | 56 |
|--------------------------|------------|
| 1,600 mmサイズ | 57 |
| 1,300 mmサイズ | 58 |
| 1,070 mmサイズ | 59 |
| 750 mmサイズ | 60 |
| 2.4 メディアをセットする | 61 |
| メディアについて | 61 |
| 巻き取りユニットについて | 61 |
| ロールメディアをセットする | 63 |
| リーフメディアをセットする | 67 |
| 2.5 ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する | 70 |
| 2.6 テストプリントをする | 71 |
| テストプリントの配置方向を変更する | 71 |
| ホワイトインクの吐出を確認する | 71 |
| 吐出不良について | 72 |
| 2.7 ヘッドクリーニングをする | 73 |
| 2.8 フィード補正をする | 74 |
| フィード補正の手順 | 74 |
| 2.9 ドット位置補正をする | 76 |
| ドット位置補正の手順 | 76 |
| 2.10 RIPデータを準備する | 77 |
| 211 プリントする | 79 |
| これ、クラクトラの二の一部である。 | 79 |
| プリントを開始する | 79 |
| プリントを中止する(データクリア) | 80 |
| 2.12 メディアを裁断する | 81 |
| | - · |

第3章 カッティングしてみる

| 3.1 カッティングの流れ | 84 |
|-----------------------|----|
| 3.2 カッティングツールを取り付ける | 86 |
| カッターを使う | 86 |
| ペンを使う | 90 |
| 3.3 カット条件を設定する | 94 |
| 3.4 テストカットをする | 95 |
| 3.5 カッティングデータをカットする | 96 |
| 原点を変更する | 96 |
| カッティングを開始する | 96 |
| カッティングを中止する (データクリア) | 97 |
| カッターユニットを退避させる | 97 |

第4章 トンボ付きデータをカッティングしてみる

| 4.1 トンボ付きデータのカッティ | ·ングの流れ | 100 |
|-------------------|--------|-----|
|-------------------|--------|-----|

| 4.2 トンボを作成する | 102 |
|-------------------|-----|
| トンボについて | 102 |
| トンボのサイズ | 103 |
| トンボとトンボの間隔 | 104 |
| トンボの読み取り範囲 | 105 |
| トンボ周辺のプリント禁止エリア | 106 |
| プリント&カットの複合動作について | 106 |
| 4.3 トンボ検出の条件を設定する | 107 |
| 4.4 トンボの原点位置を検出する | 108 |
| 4.5 IDカットの流れ | 109 |

第5章各種設定

| 5.1 設定メニュー | 112 |
|-----------------|-----|
| Temporaryの使い方 | 114 |
| 設定タイプ名称の変更方法 | 115 |
| LTモード | 116 |
| 5.2 メンテナンスメニュー | 117 |
| ノズルリカバリーを登録する | 118 |
| 5.3 マシン設定メニュー | 120 |
| イベントメール機能の設定 | 122 |
| 5.4 ノズルチェックメニュー | 125 |
| 5.5 情報メニュー | 126 |
| 5.6 カッティングメニュー | 127 |
| 直前のデータをコピーする | 130 |
| 切り残しをなくす | 130 |

第6章 メンテナンス

| 6. | 1 メンテナンスに関するご注意 | 134 |
|----|-----------------|-----|
| 6. | 2 メンテナンスの方法 | 135 |
| | メンテナンス項目とタイミング | 135 |
| | インクのメンテナンス | 137 |
| | ワイパーの清掃 | 137 |
| | キャップゴムの清掃 | 139 |
| | NCUの清掃 | 140 |
| | キャリッジ底面の清掃 | 141 |
| | ミストフィルターの清掃 | 142 |
| | インク排出経路の洗浄 | 143 |
| | メディアセンサーの清掃 | 144 |
| | メディア押さえの清掃 | 145 |
| | ジャムセンサーの清掃 | 145 |
| | プラテンの清掃 | 146 |
| | カバー(外装)の清掃 | 147 |
| | 長期間使用しないときは | 147 |
| | | |

| 6.3 消耗品の交換 | 150 |
|---------------|-----|
| ワイパーの交換 | 150 |
| キャップ吸収材の交換 | 151 |
| ミストフィルターの交換 | 152 |
| LEDガラスの交換 | 153 |
| 排気ファンフィルターの交換 | 154 |
| ピンチローラーの交換 | 155 |
| メディア押さえの交換 | 156 |
| メディア裁断カッターの交換 | 158 |
| 廃インクタンクの交換 | 159 |
| カッティング用カッター | 162 |
| ペンラインの交換 | 162 |
| インクボトルキャップの交換 | 163 |
| | |

第7章困ったときは

| 7.1 故障かな?と思ったときは | 166 |
|--------------------|-----|
| 電源が入らない | 166 |
| プリントできない | 166 |
| メディア詰まり、メディアが汚れる | 166 |
| 画質不良が発生した | 167 |
| インクが漏れた | 172 |
| 遮光力バーが外れてしまった | 172 |
| カッティング関連 | 172 |
| 7.2 メッセージを表示するトラブル | 178 |
| ワーニングメッセージ | 178 |
| インクエラー | 180 |
| エラーメッセージ | 181 |
| SYSTEM HALT | 187 |

第8章付録

| 8.1 | 仕様 | 190 |
|-----|------------------------------------|-----|
| 8.2 | 仕様 (カッティング) | 192 |
| 8.3 | LICENSE Library (EPL5 StarterWare) | 193 |

はじめに

この度はUVインクジェットプリンター UCJV300シリーズ, 150シリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書(以後、本書と称します)をよくお読みいただき、十分に 理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Illustrator、Photoshop、およびPostScriptは、Adobe Incorporatedの米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

RasterLinkは、株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

その他本書に記載されている会社名、および商品名は各社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2017 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- UCJV300シリーズ, 150シリーズ(以後、本機と称します)の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を 負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本 機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直 接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正不凍液をご使用ください。それ以外の不凍液を使用すると、冷却装置が故障するおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を 使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。ま た、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

● テレビ、ラジオの受信障害について

 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの 受信障害を発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証しておりません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせて試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置を探してください。
- ・ テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。
- テレビやラジオは、本機が接続している電源供給経路とは別のコンセントに接続してください。

● 電波障害自主規制

本機は、VCCIクラスA情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

● 使用上の制限について

UCJV300シリーズ, 150シリーズはIEC62471/IECTR62471-2 に従ったRisk Group1 に分類されます。

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

| 内 容 | | | | | |
|------------|--------|--|--|--|--|
| ▲警告 | 警告 | この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷の おそれがある内容を示しています。 | | | |
| ⚠注意 | 注意 | この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度 の負傷のおそれがある内容を示しています。 | | | |
| 注記 | 注記 | この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生す るおそれがある内容を示しています。 | | | |
| | 一般警告 | 注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。 | | | |
| | 一般強制指示 | 実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内 容は、マークの中に描かれています。 | | | |
| \bigcirc | 一般禁止 | してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。 | | | |
| 重要!) | 重要 | 本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示し ています。 | | | |
| | ヒント | 知っておくと便利な事項を示しています。 | | | |
| (ZF) | 参照情報 | 関連する内容の参照ページを示しています。 | | | |

使用上の警告と注意

● 異常事態が発生したら

⚠ 警 告



万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、直ちに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

⚠ 注 意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が皮膚に付着してしまったときは、直ちに布などでふき取ってください。そのあと石鹸を使用して、大量の水で洗い流してください。インクが付着したまま放置すると、皮膚が炎症をおこす原因になります。皮膚に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が目に入ってしまったときは、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は、清浄な流水で15分以上洗い流したあとに外してください。また、まぶたの裏まで完全に洗ってください。インクが付着したまま放置すると、失明や視力が低下する原因になります。目に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が口に入ってしまったり、飲み込んでしまったりしたときは、無理に吐かせないで直ちにうがいをして、速やかに医師の診断を受けてください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。
- ・ 蒸気を大量に吸い込んでしまったときは、新鮮な空気の場所に移動して、暖かくして呼吸しや すい姿勢で安静にしてください。症状が改善しない場合は、速やかに医師の診断を受けてくだ さい。
- すぐに医師の診断を受けられない場合は、(財)日本中毒情報センター中毒110番に相談して ください。
 - (大阪) 072-727-2499 24時間対応
 - (つくば) 029-852-9999 9~21時対応

注記

 インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。その あと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

● 電源に関するご注意



● 可動部に注意してください



顔や手など体の一部を可動部に近づけないでください。また作業の妨げになるような服装(ダ ブついた服装、装飾品など)で、本機に近づかないでください。ケガをするおそれがありま す。

▲ 注 意



長い髪の毛は束ねてください。ケガをするおそれがあります。

● 分解、改造はしないでください



本機を分解したり、改造したりしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

● カッターの取り扱いについて

⚠注意



カッティングホルダーは振らないでください。刃先が飛び出すおそれがあります。

● 紫外線(UV)、UV-LEDユニットについて

▲警告



- UV-LEDユニットの下に可燃物を置いたり、紙や布でUV-LEDユニットを覆ったりしないでくだ さい。発火や発煙のおそれがあります。
- UV-LEDユニットから、微量の紫外線が漏れてしまうことがあります。目や皮膚に紫外線を浴びないように、UV遮光メガネや遮光面、マスク、手袋、長袖の服を着用してください。
 - (1) 皮膚に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。炎症を起こさない場合でも、 長期間、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。
 - 急性障害:炎症など
 - ・慢性障害:皮膚がん、シワ、シミなど
 - (2) 点灯中のライトを肉眼で見た場合、目の痛みや視力障害を起こすおそれがあります。目の 痛みを起こさない場合でも、長期、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれが あります。
 - ・急性障害:紫外線角膜炎、結膜炎、異物感、とう痛、涙が流れるなど
 - ・ 慢性障害: 翼状片、 白内障など

⚠注意





• UV-LEDユニットの光を皮膚や目に直接、または間接的にあてないでください。UV-LEDユニットは、紫外線(UV)を発生させています。光を皮膚や目に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。



 必ず付属のUV遮光メガネを着用してください。目が痛くなったり、視力障害を起こしたりする おそれがあります。

注記



- UV-LEDユニットに無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。変形や故障の原因になります。
- UV-LEDユニットの下面についているガラスは、素手で触れないでください。UV インクの硬化が低下する原因になります。汚れが付着したときは、エタノールを含ませた清潔な柔らかい布で拭いてください。その際、カバーや他の部品にエタノールを付着させないように注意してください。変形や故障の原因になります。

● その他、使用上の警告と注意



• 本機に子供を近づけないでください。

注記

- クランプレバーが下がっている(メディアが保持されている)ときは、メディアを強く引っ張らないでください。本機が故障する原因になります。
- ・プリント済みメディアの保管状態(巻き取ったメディアの平置きによる荷重など)やメディアの種類によって、メディア裏面に裏移りしてしまうことがあります。事前にテストをして、裏移りしないかどうかを確認してください。
- 本機の廃棄について

⚠注意

- 販売店、またはサービス実施店にご相談ください。
 お客様自身で廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

インクやその他本機で使用されている液体 を取り扱うときの注意事項

インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体の容器に、液体に関する注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。



 取り扱い前に必ず安全データシート(SDS)をご覧ください。https://japan.mimaki.com/ supply/sds/

⚠注意

 インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、 換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの 液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

- 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。それ以外の不凍液を使用されると、冷却ユニットが故障するおそれがあります。
- 静電気・衝撃火花による着火源が生じないように注意してください。
 - 不要となった不凍液は以下の方法で処分してください。
 - (1) おがくず、ウェスなどに吸着させて、焼却炉で焼却する。
 - (2) 免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する。
- ・インクが入っているケースに強い衝撃を与えたり、激しく振り回したりしないでください。またインクを詰め替えないでください。インクが漏れて皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。
- ・インクが入っているケースを分解しないでください。インクが漏れて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。
 - インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を子供が立ち入るおそれのある 場所に保管しないでください。

 インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や 不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条 例に従って処理してください。

注記

- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を直射日光が当たる場所に保管 しないでください。
 - インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を金属切削液や揮発性の高い物質(アミン類、アミン変性アルコール類など)が充満している場所に保管しないでください。
 そのような場所に保管すると、故障や吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。
 - インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体は、他のプリンターで使用しないでください。故障の原因になります。



床から1m以内の低い場所に保管してください。落下したときに液体が飛散するおそれがあります。

- ・ 密閉した状態で保管してください。
- 冷暗所で保管してください。
 - (1) インクが凍結しない環境での保管をしてください。解凍したインクを使用すると、インクの成分が変質してプリント品質が低下するおそれがあります。
 - (2) 寒い所から暖かい所に移したインクは、本機と同じ環境に3時間以上放置してから利用してください。
 - (3) インクは使用直前に開封して、早めに使い切ってください。開封してから長時間経過したものは、プリント品質が低下するおそれがあります。

• インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、 汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。

- 種類の違うインクICチップでは、プリントすることができません。
- 本機にセットしているインクボトルがへこんでしまっても、使用上問題ありません。



インク仕様

| 項 | 8 | 内容 | | |
|--------|-----|---|--|--|
| 種類 | | 専用UV硬化インク(弊社純正品) | | |
| カラー | | シアン (C) マゼンタ (M) イエロー (Y) ブラック (K) ライトシアン (Lc) ^{*1} ライトマゼンタ (Lm) ^{*1} ホワイト (W) ^{*1} クリアインク (CL) ^{*1} | | |
| 形態 | | ボトル | | |
| インク容量 | | 1,000 ml | | |
| 消費有効期限 | | インクボトルに記載されているとおり。 ただし、開封後は消費有効期限内であっても3か月以内。 | | |
| 保存温度 | 保存時 | 5-30°C(1日の平均気温) ただし、30°Cの場合1か月以内 ・範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。 | | |
| | 輸送時 | 1-60°C ただし、60°Cの場合120時間以内、40°Cの場合1か月以内 ・0°Cより低温になる場所、40°Cより高温になる場所は、できる限り避 けること。 | | |

| 項目 | 内容 |
|----|-------------------------------|
| | • 範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。 |

*1. 300シリーズのみ

インク消費有効期限に対する本機の制限について

- 例)消費有効期限の記載が、20xx年4月の場合
- 同年5月:新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年6月:新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年7月:プリントすることができません。



(重要!)・インクの容器にインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超える と、インクの吐出不良が生じたり、色みに変化を生じたりするおそれがあります。消費有効期 限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い 切ることをお勧めします。

設置上のご注意

⚠ 警 告



火気のある場所に本機を設置しないでください。
 本機の上や近くに花瓶 植木鉢 コップ 化粧品 化学蒸品

 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、化学薬品、水などの入った容器、または小 さな金属物を置かないでください。本機内部に浸入すると、本機の故障や感電、もしくは火災 につながるおそれがあります。



• 湿気の多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障や感電、もしく は火災につながるおそれがあります。



• 本機を子供が立ち入るおそれのある場所に設置しないでください。

⚠ 注 意

- 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に本機を設置する場合は、必ず換気装置を設けてく ださい。
- ・ 排気口施工については、必ず以下の内容をお守りください。
 - (1) 排気口の設置は、各国の地域のEHS(Environmental, Health and Safety) ガイドラインに したがってください。
 - (2) 排気口に閉鎖弁などを設置した場合、本機使用中は必ず閉鎖弁を開けてください。

注記

- ホコリや粉じんのある場所に本機を設置しないでください。本機の内部に浸入すると、故障や 吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。
- エアコンなどの風があたる場所に本機を設置しないでください。本機の内部にホコリや粉じん などが浸入するおそれがあります。
- 不安定な場所や振動が発生する場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良(ノズル 詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。
- ・
 直射日光が当たる場所に本機を設置しないでください。
- 温度変化が激しい場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。
- ノイズを発生する大型の機械が置いてある場所に本機を設置しないでください。
- 写真定着材の蒸気や酸性(酢酸、塩酸など)の気体が発生していたり、金属切削液や揮発性の高い物質(アミン類、アミン変性アルコール類など)が充満してたりする場所に本機を設置しないでください。そのような環境下に設置すると、プリントヘッド表面のインクが固まり、故障や吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。



• 動作可能環境: 20~30°C(68~86°F)、35~65% Rh(結露なきこと)

• 精度保証温度:20~25 °C(68~77 °F)

設置スペース

メディアやインクの交換を安全に正しく行うためには、以下のスペースが必要です。



| 項目 | UCJV300-160 | UCJV300-130 | UCJV300-107 | UCJV300-75 | UCJV150-160 |
|----------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 幅*1 | 3,900 mm以上 (2,900 mm) | 3,650 mm以上 (2,650 mm) | 3,380 mm以上 (2,380 mm) | 3,090 mm以上 (2,090 mm) | 3,900 mm以上 (2,900 mm) |
| 奥行き ^{*1} | 2,776 mm以上(776 mm) | | | | |
| 高さ ^{*1, *2} | | | (1,475 mm) | | |
| 重量 | 188 kg | 177 kg | 161 kg | 144 kg | 183 kg |
| | | | | | |

*1. () 内は、本機のサイズ

*2. インクボトルの高さを除く

本機を移設したいとき

販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様が本機を移設する と、故障や破損のおそれがあります。

本機を移動したいとき

本機は移動しないでください。やむを得ず移動する場合は、段差のない同一フロアー内での移動のみとしてください。



• 手順を十分に理解してから、移動させてください。



• カバーを押して移動しないでください。カバーが破損する原因になります。

▲ 本機下面についている、搬送ステーを取り付ける。

2 キャスターブロックを取り除く。



3 搬送ステーを持って、移動する。

・ 必ず6人以上で移動をしてください。また、各国の規定に準じて移動してください。



4 キャスターブロックを取り付ける。



- 5 搬送ステーを取り外す。
- 6 本体底面に、搬送ステーを取り付ける。
- **7** テストプリントをしてノズル詰まりがないかどうかを確認してください。
- 8 プリント前にフィード補正とドット位置補正をしてください。

安全インターロックについて

本機は安全にご使用いただくため、インターロックが設置されています。

プリント実行中にカバーを開けるとプリントが中断されます。再度RIPデータの受信が必要になります。

• インターロック設置場所





警告ラベルの内容を十分理解してください。

警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、販売店、またはお近くの弊社営業所で、新 しい警告ラベルをお買い求めください。



句

| No. | 注文番号 | ラベル | 内容 | |
|-----|---------|--|---|--|
| 1 | M910931 | COVER HAZARD May result in severe injury. When open and close the cover, hold a cover until the cover, hold a cover until the and. COUVERCLE-DANGER Peut entraîmer de graves blesautes. Coverde juisqu'à la terret is couvertel jusqu'à la terret securerel jusqu'à la terret securere secu | カバーの開閉に注意してください。手を挟む とケガをするおそれがあります。 | |
| 2 | M907833 | | 危険な可動部を示しています。 | |
| 3 | M903330 | | 作業中に保護メガネや手袋を着用してください。 | |
| 4 | M903405 | | カッターに注意してください。 | |
| 5 | M907935 | | 危険な電圧部を示しています。 | |
| 6 | M905811 | AT THE AT THE AVENUE AV | 危険な可動部を示しています。 | |
| 7 | M913419 | WARNING WERTISSEMENT BE ULTRAVIOLET FACIATION RVYONS ULTRAVIOLETS 25 Billing ULTRAVIOLET FACIATION RVYONS ULTRAVIOLETS 25 Billing ULTRAVIOLET FACIATION RVYONS ULTRAVIOLETS 25 Billing ULTRAVIOLET FACIATION RVYONG VIEWARD ULTRAVIOLET FACIATION RVYONG VIEWARD VIEWA | 紫外線に注意してください。 | |
| 8 | M905935 | CAUTION A注意 Attention Do not move 2 levers of the pinch roler with hands Dor net move 2 levers of the pinch roler with hands Dor net move 2 levers of the pinch roler with hands Dor net with reach Dor net move 2 levers of the pinch roler with hands Dor net with reach Dor net with reac | ピンチローラーのレバーを触らないでくださ い。 | |
| 9 | M920102 | RISK GROUP 1 / GROUPE DE RISQUE 1 WARNING UV emitted from this product, Eye or skin irritation may result from exposure, Use appropriate shielding AVERTISSEMENT UV emis par ce produit, Une irritation des yeux ou de la peau peut résulter de l'exposition, Utiliser un blindage approprié, | UVリスクグループ1を示しています。 | |





この章では...

各部の名称など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

| 各部の名称とはたらき | 26 |
|-----------------|------|
| 正面 | |
| 背面/右側面 | |
| キャリッジ | 29 |
| キャッピングステーション | 29 |
| ピンチローラーとグリットローラ | — 29 |
| プラテン | 30 |
| インクステータスランプ | 30 |
| メディアセンサー | 31 |
| 電源スイッチ | 31 |
| 操作パネル | 32 |
| 電源ケーブルを接続する | |
| 電源を入れる | |
| 電源を切る | 37 |

| 26 | 本機とコンピューターを接続する | 38 |
|------|----------------------|-------------|
| . 26 | USBケーブルを使う | 38 |
| . 28 | LANケーブルを使う | 38 |
| . 29 | システム構成 | 40 |
| . 29 | Mimakiドライバーをインストールする | 41 |
| . 29 | RIP用ソフトウェアをインストールする。 | 41 |
| . 30 | カラープロファイルを入手する | 41 |
| . 30 | RIP用ソフトウェアを準備する | 42 |
| . 31 | インクの交換方法 | 11 |
| . 31 | 「ノノの又換」」仏 | |
| . 32 | 1 ノクニアエノトル衣小されにこさ | |
| 26 | インクエントか表示されたとさ | |
| | インクを交換する | 45 |
| 36 | | |

1.1 各部の名称とはたらき





| No. | 名称 | 概要 |
|-----|---------------------|--|
| 1 | プラテン | プリントするエリアです。 🖙 「プラテン」 (P. 30) |
| 2 | ピンチローラー グリットローラー | ピンチローラーとグリットローラーでメディアを押さえてフィードしてい ます。 ^{Cg} ア「ピンチローラーとグリットローラー」(P. 29) |
| 3 | キャッピングステー ション | キャップやワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCUなどで 構成されています。 ⁽²⁾ 「キャッピングステーション」(P. 29) |
| 4 | キャリッジ | プリントヘッドやUV-LEDライト、ジャムセンサーなどで構成されていま す。 ⁽²⁸⁾ 「キャリッジ」(P. 29) |
| 5 | 操作パネル | 各種設定や項目を表示するディスプレイ、操作キーが付いています。 387 「操作パネル」(P.32) |
| 6 | クランプレバー(前) | クランプレバーを下げるとメディアが保持され、クランプレバーを上げる とメディアが開放されます。 |
| 7 | 廃インクタンク | 廃インクを溜める容器です。 🖙 「廃インクタンクの交換」 (P. 159) |
| 8 | 巻き取りユニット | プリントされたロールメディアを巻き取ります。 ⁽²³⁾ 「巻き取りユニットに ついて」(P. 61) |
| 9 | メンテナンスカバー | カバーを開けて、キャリッジ底面をメンテナンスします。カバーを開けた 状態では、プリントやオートメンテナンス機能が実行できません。 |
| 10 | カッターユニット | カッティング用のカッターやプラテンの溝に沿ってメディアを裁断するメ ディアカッターで構成されています。カッターユニットは、左側のメンテ ナンス位置に待機しています。 ⁽²²⁾ 「カッティングツールを取り付ける」 (P.86) |
| 11 | インクICチップスロッ ト | インクボトルに付属しているICチップを挿し込みます。インクボトルの情報を管理しています。インクICチップを差し込む |
| 12 | インクステータスラン プ | インクの状態をランプでお知らせします。 ⁽²²⁾ 「インクステータスランプ」 (P. 30) |
| 13 | インクふき取りフィル ター | インクボトルの専用キャップに付いたインク滴を吸い取るためのフィル ターです。 |

| No. | 名称 | 概要 |
|-----|-----------|--|
| 14 | インク供給ユニット | インクボトルを挿し込んで、プリントヘッドにインクを供給します。 (2) 「インクの交換方法」(P. 44) |

背面/右側面



| No. | 名称 | 概要 | | |
|-----|------------------|--|--|--|
| 1 | クランプレバー(後) | 前面にあるクランプレバーと連動しています。 | | |
| 2 | メディアセンサー | メディアの有無を感知しています。 327 「メディアセンサー」 (P.31) | | |
| 3 | メディア吸着ファン排 気口 | メディアを吸着するファンの排気口です。 | | |
| 4 | インクふき取りフィル ター | インクボトルの専用キャップに付いたインク滴を吸い取るためのフィル ターです。 | | |
| 5 | 繰り出しユニット | プリントする前のロールメディアを取り付けます。2インチと3インチの紙 管に対応しています。 | | |
| 6 | ACインレット | 付属されている電源ケーブルを接続します。 (28)「電源ケーブルを接続する」 (P. 36) | | |
| 7 | 主電源スイッチ | 本機の主電源です。プリントヘッドの吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲が りなど)を防止するため、主電源は切らないでください。 (空)「電源を入れ る」 (P.36) (空)「電源を切る」 (P.37) | | |
| 8 | LANポート | ネットワーク機能をお使いになるときに使用します。 ⁽²³⁾ 「LANケーブルを 使う」(P. 38) | | |
| 9 | USBポート | USBインターフェイスケーブルでコンピューターと接続します。 ^{CBP} 「USB ケーブルを使う」(P. 38) | | |

キャリッジ

キャリッジは、インクを吐出するプリントヘッド、UVインクを硬化するUV-LEDライトとメディアが詰まったときにキャリッジを停止させるジャムセンサーなどで構成されています。左右にスキャンしながらインクを吐出して、プリントしています。





必ず付属のUV遮光メガネを着用してください。目が痛くなったり、視力障害を起こしたりする おそれがあります。

キャッピングステーション

キャッピングステーションは、プリントヘッドのノズル面の乾燥を防止するキャップやプリントヘッドのメンテナンスに必要なワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCUなどで構成されています。

NCU (Nozzle Check Unit) は、ノズル詰まりがあるかどうかを自動でチェックするユニットです。各種機能を設定すれば、プリントヘッドの自動クリーニングや別のノズルを使ってプリントさせることができます。 空「ノズルチェックメニュー」(P. 125) 空「ノズルリカバリーを登録する」(P. 118)



ピンチローラーとグリットローラー

ピンチローラーとグリットローラーで押さえて、メディアをフィードしています。





本機を使用しないときは、クランプレバーを上げて<u>ピンチローラーとグリットローラーを離してく</u> ださい。

- ・ ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常に
- フィードできなくなるおそれがあります ・メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチ ローラー跡が残る原因になります。

プラテン

プリントするエリアです。プラテンは、メディアを吸着してメディアの浮きを抑えています。またメディア を裁断するカット溝があります。



インクステータスランプ

インク供給ユニットのランプで、インクの状態を確認することができます。



| 色 | 状態 | 概要 | |
|---|----------|---|--|
| - | 消灯 | 異常なし | |
| 青 | 点灯 | インク供給中(異常なし) | |
| 黄 | 点灯 点滅 | 次のいずれかのエラーが発生しています。プリントすることは可能です。 ・ インクニアエンド ・ インク期限切れ(1か月) | |
| 赤 | 点灯 | 次のいずれかのエラーが発生しています。プリントすることができません。 ・ インクエンド ・ インクICチップが挿入されていない ・ その他のインクエラー | |
| | 点滅 | プリントすることができません。 ・ インク期限切れ(2か月) | |

メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無を検出しています。メディアがセンサーを覆い隠していると、メディ ア幅を検出することができます。



電源スイッチ

● 主電源スイッチ

本機の右側面にあります。



 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能(ノズル詰ま り防止機能やインク排出経路の清掃機能など)が実行することができません。吐出不良(ノズ ル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。



● [END/POWER]キー

通常の電源オン/オフは、[END/POWER]キーを使用します。





正面カバーとメンテナンスカバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能(ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など)が実行することができません。吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)や故障の原因になります。

操作パネル

設定や各種操作をすることができます。



| No. | 名称 | 概要 | | | |
|-----|----------------------|--|--------------------|--|--|
| 1 | ディスプレイ | ☞「ディスプレイ」(P. 33) | | | |
| 2 | [SEL]+- | [FUNCTI | ON]キー(| の機能を切り替えます。 | |
| 3 | [FUNCTION]=- | テストブ きに使用 | ゚リントし します。 | たり、ヘッドクリーニングしたり、各種設定などしたりすると ^② 『「[FUNCTION]キー」(P. 34) | |
| 4 | [JOG]≠− (▲) ♥ ● ● | キャリッ りすると | ジを移動 きに使用 | したり、メディアをフィードしたり、各種設定の項目選択した します。 | |
| 5 | [END/POWER] キー | 直前に入力した設定をキャンセルしたり、設定メニューを1つ前の階層に戻したり、また電源をオン/オフしたりするときに使用します。 電源がオンのときは、青色に点灯しています。 (2) 「電源を入れる」 (P. 36) 電源をオフにしたいときは、長押ししてください。 (2) 「電源を切る」 (P. 37) | | | |
| 6 | [ENTER]+- | 次の階層メニューに移動したり、設定を確定したりするときに使用します。また、本機の情報を表示させることができます。 (2) 「本機の情報を表示する (ローカルガイダンス)」(P.35) | | | |
| 7 | ステータスランプ | 本機の状 | 本機の状態をランプでお知らせします。 | | |
| | | 消灯 | | ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナン ス、各種機能を設定することができます。 | |
| | | 水色 | 点灯 | リモートモードの状態です。プリントデータを受信するため に、スタンバイしています。 | |
| | | | 点滅 | プリント中です。テストプリントなど、本機に内蔵している パターンをプリントしているときも点滅します。 | |
| | | 青色 | 点灯 | プリントしていないデータが残っています。リモートモード に移行して、プリントしてください。 | |
| | | 赤色 | 点滅 | エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してく ださい。 ⁽²³⁾ 「エラーメッセージ」(P. 181) | |
| | | | 点灯 | システムエラー(SYSTEM HALT)が発生しています。コー ルセンターに問い合わせください。頌 「SYSTEM HALT」 (P. 187) | |



メニューモード

4つのメニューモードがあります。

| 名称 | 概要 |
|-----------|--|
| ローカルモード | テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定します。 |
| リモートモード | コンピューターから受信したプリントデータをプリントします。 |
| メニューモード | ローカルモード画面から[MENU]を押すと、メニューモードになります。各種機能を設定します。 |
| ノットレディモード | メディアを検出する前の状態です。 |

インクの状態

インクの残量やエラーなど、インクボトルの状態がアイコンで表示されます。

| アイコン | 概要 | | | | | | | | |
|-------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| | インクの残量を9段階のアイコンでお知らせします。 | | | | | | | | |
| | | 6 | M | M- | M- | M. | M | - M - | |
| | フル | 1/8消費 | 1/4消費 | 3/8消費 | 1/2消費 | 5/8消費 | 3/4消費 | 7/8消費 | |
| アイコン | 概要 | | | | | | | | |
| - M - | インクニアエンドになると表示されます。インクの残りがわずかになっていますので、新しい インクを準備してください。 | | | | | | | | |
| | プリントすることができません。インクエンドやインクエラーになると表示されます。 ⁽³⁾ 「インクエラー」(P. 180) | | | | | | | | |
| | インクの消費有効期限が切れると表示されます。新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。 3 「インク消費有効期限に対する本機の制限について」 (P. 16) | | | | | | | | |

[FUNCTION]+-

[FUNCTION]キーに割り当てられている機能と役割を説明します。

| アイコン | 概要 |
|------------------------|-------------------------------------|
| MENU | 各種メニュー画面を表示します。 (2) 「各種設定」 (P. 111) |
| TEST PRINT CLEANING | テストプリント、クリーニングなどのメンテナンス画面を表示します。 |
| REMOTE | ローカルモードからリモートモードに移行します。 |
| ADJUST | フィード補正、ドット位置補正などの調整画面を表示します。 |
| DATA CLEAR | 受信データをクリアします。 |
| LOCAL | リモートモードからローカルモードに移行します。 |
| СИТ | メディアを裁断したいときに使用します。 |
| << | 各種メニュー画面で、前の画面へ移動します。 |
| >> | 各種メニュー画面で、次の画面へ移動します。 |
| ок | メッセージが表示された場合など、確認画面を終了します。 |
| OFF | 各種機能を無効にします。 |
| $\underline{+}$ | 機能が割り当てられています。設定や機能を表示します。 |
| \$ | 複数ある項目の有効/ 無効を切り替えます。 |
| TOOL | カッティング条件の入力画面を表示します。 |
| TEST CUT | テストカットなど、カッティング関連の機能画面を表示します。 |
| PR | ピンチローラーの設定画面を表示します。 |

本機の情報を表示する(ローカルガイダンス)

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すごとに、以下の情報を表示させることができます。

- インク情報:インク種類、インク残量、インクエラーが表示されます。
- ・ インクICチップ登録情報:インクICチップの登録されている情報が表示されます。
- ワーニング:発生しているすべてのワーニングが表示されます。
- 情報:メディア幅、ヘッド高さ、本機シリアルNo.、ファームウェアバージョン、コマンドバージョン、LAN 接続状態が表示されます。
- ノズルチェック:ノズルチェックで検出したノズル詰まりしているノズル数が表示されます。

1.2 電源ケーブルを接続する

- 1 主電源が切れているかどうかを確認する。
- 2 本機にケーブルバンドを挿し込む。
- 3 本機のインレットに電源ケーブルを挿し込む。
- ▲ ケーブルバンドに電源ケーブルを固定する。
 - クランプに電源ケーブルを通して、「カチッ」と音がするまでクランプしてください。



5 コンセントに電源プラグを挿し込む。





濡れた手で電源プラグを抜き挿ししないでください。感電のおそれがあります。

電源を入れる



正面カバーとメンテナンスカバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能(ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など)が実行することができません。吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)や故障の原因になります。

1 主電源が入っていることを確認する。

・ 主電源が入っていない場合は、主電源を「I」側に倒します。


2 [END/POWER]キーを押して、電源を入れる。

ディスプレイにファームウェアのバージョンが表示されて、初期動作が実行されます。そのあと、ローカルモードになって本機を使用することができます。





電源を切る



- 電源を切るときは、以下を確認してください。
 - (1) 正面カバーやメンテナンスカバーが閉じていること。
 - カバーが開いていると、オートメンテナンス機能(ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など)が実行することができません。
 - (2) キャッピングステーションにキャリッジが戻っていること。
 - プリントヘッドのノズル面が乾燥して、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。
 - (3) データを受信していないこと。
 - (4) エラーが発生していないこと。
 - ^{CG} 「メッセージを表示するトラブル」(P. 178)
- **1** 接続しているコンピューターの電源を切る。
- 2 [END/POWER]キーを長押しする。
 - ・ 電源OFF確認画面が表示されます。[ENTER]キーを押すと、電源が切れます。





主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能(ノズル詰ま り防止機能やインク排出経路の清掃機能など)が実行することができません。吐出不良(ノズ ル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。



1.3 本機とコンピューターを接続する

USBケーブルを使う

USBインターフェイスケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。

 \bigcirc

データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

・USBインターフェイスに対応しているRIP用ソフトウェアを使用してください。

・コンピューターにUSBポートが付いていない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、または コールセンターにお問い合わせください。

USB接続についての注意事項

● 1台のコンピューターに複数のUCJV300シリーズ, 150シリーズを接続する場合

UCJV300シリーズ, 150シリーズを正常に認識できないおそれがあります。

複数のUSBポートが付いているコンピューターの場合は、他のUSBポートでも本機を認識できるかどうかを 確認してください。USBポートを挿し替えても認識しない場合は、市販のUSBアクティブリピーターケーブ ルを使用してください。

● USBケーブルを延長する場合

市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。ただし、USBケーブルとUSBアクティブリピーターケーブルの総距離が、20m以下になるようにしてください。

USBケーブルで延長した場合、本機へのデータ転送速度が遅くなって、プリント中にキャリッジが左右端で 一時停止するおそれがあります。

● USBハイスピードモードの周辺機器について

本機を接続しているコンピューターにUSB ハイスピードモードの周辺機器 (USB メモリ、USB-HDDなど)を接続しても認識できないおそれがあります。また、外付けの USB ハードディスクドライブなどを接続すると本機へのデータ転送速度が遅くなって、プリント中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

● USBメモリーの抜きかた

本機を接続しているコンピューターからUSBメモリーを抜く場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。[ERROR **コマンドエラー]発生の原因になります。

LANケーブルを使う

LANケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。カチッと音がするまでLANケーブルを挿し込んでください。

・データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

● イーサネット経由で接続するときの注意事項

イーサネットを以下の環境で構築してください。環境が適正でないとプリントすることができません。

・ カテゴリー6以上のLANケーブルを使用してください。

- 本機とプリントデータを転送するコンピューターは、同じイーサネットに設定してください。ルーター を経由した接続はできません。
- 1000BASE-T対応のコンピューター、スイッチングハブを使用してください。未対応の場合はプリント することができません。



- LAN接続確認方法
 - 1 本機のディスプレイを確認する。
 - ローカルガイダンスで確認することができます。
 ⁽²⁾「本機の情報を表示する(ローカルガイダンス)」
 (P. 35)
 - "100Mbps"、"10Mbps"、"接続なし"と表示されている場合は、プリントすることができません。
 イベントメールは、使用することができます。
 (ア)「イベントメール機能の設定」(P. 122)



2 LANコネクターのランプを確認する。

・本機が起動しているとLAN コネクターのランプが点灯します。



| 色 | 状態 | 概要 |
|---|----|---|
| 緑 | 点灯 | 1000BASE-Tで接続されています。 |
| | 消灯 | 1000BASE-T以外で接続されています。 ・ 橙ランプだけが点灯、もしくは点滅している場合、1000Mbpsに対応し ていません。コンピューターや周辺機器、ケーブルの仕様を確認して ください。 |
| 橙 | 点灯 | リンクアップ(接続されています)。 |
| | 点滅 | データを受信中です。 |
| | 消灯 | リンクダウン(接続されていません)。 |

1.4 システム構成

IllustratorやPhotoshopなどのアプリケーションで作成したプリントデータを、RIP用ソフトウェアを使って プリントの指示をします。



Mimakiドライバーをインストールする

▲ 弊社ウェブサイトから、Mimakiドライバーをダウンロードする。

 https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html [UCJV300シリーズ, 150シリーズ] > [ドライバ/ユーティリティ]

2 MIMAKIドライバーをインストールする。

RIP用ソフトウェアをインストールする

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア(RasterLink)の説明をします。

- **1** "RasterLink"をインストールする。
 - インストールされている場合は、コンピューターのデスクトップ上に以下のアイコンが表示されています。



• 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/ download/software.html

省

インストールしたあとに、RasterLinkのライセンス認証を完了させてください。"プロファイル アップデート"を起動することができません。

カラープロファイルを入手する

メディアやインクセットによって、プリント品質(色み、にじみなど)が、変わってしまいます。メディア やインクセットに合ったカラープロファイルを選択することで、プリント品質を一定に保つことができま す。

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア(RasterLink)の説明をします。

1 "プロファイルアップデート"を起動する。

- スタートメニューから、[Mimaki RasterLink6Plus] > [プロファイルアップデート]を選択する。
- (2) [次へ]をクリックする。

2 お使いのUCJV300シリーズ, 150シリーズを選択する。

お使いのインクセットとインク種にチェックを入れて、[次へ]をクリックしてください。

| ブロファイルアップデート | | | | | | |
|---|--------------------------------------|-----------|--|--|--|--|
| ようこそMimaki ウェブサービスへ b代いのプレアで使用できるプロファイルのあるが確認してインストールします | | | | | | |
| | 「クリンタヒインクの組み合わせから現在お使いのインクを選択れてください。 | | | | | |
| C 9 799 B & C 2040 C 9 799 C 17 240 14 | ° | Just deal | | | | |
| | | 99700 | | | | |



3 検索オプションを設定して、[次へ]をクリックする。

| 🧃 70 | コファイルアップデート | |
|--------|---|-------|
| ۲ ل | こうこそMimaki ウェブサービスへ お使いのブリンタで使用できるプロファイルがあるか確認してインストールします | |
| Γ | 検索オプションを選択してください | |
| | 図 指定した日付以降にリリースされたプロファイルだけ確認する ● 前回確認日 2012/05/11 ● 指定した日付 2012/05/11 | |
| | 夏3 | キャンセル |

- ▲ カラープロファイルをダウンロードする。
 - (1) ご使用するメディアや解像度に合った、カラープロファイルにチェックを入れる。

| インスト・ | ールするプロファイル | を選択してくだ | \$C\. | | | 検索結果 | > 3 プロファ- | Úŀ |
|----------|---------------|------------|--------------|-------|------------------|----------|-----------|---------|
| 81R | プリンタ | インクセット | 出力設定 | バージョン | メディア | メディアメーカー | メディアの材質 | ファイルサイズ |
| 15 | JV400(4Color) | LX100 CMYK | 900 × 900ND | V3.1 | (Avery MP12010 . | Avery | N/A | 2.15MB |
| V | JV488(4Color) | LX108 CMYK | 901 × 1200VD | V8.1 | (Avery MP12010 _ | Avery | N/A | 2.15MB |
| 17 | JV400(4Color) | LX103 CMYK | 900 × 1200ND | V3.1 | (Avery MP12010 _ | Avery | N/A | 2.15MB |
| | | | | | | | | |

- (2) [次へ]をクリックする。
 - ここでダウンロードしたプロファイルは、RasterLinkを起動したときにインストールされます。

5 [完了]をクリックする。

・ "プロファイルアップデート"が終了します。



• 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/ download/software.html

弊社ウェブサイトからも、最新版のカラープロファイルをダウンロードすることができます。
 ダウンロードしたプロファイルは、プロファイルマネージャーを使ってインストールすることができます。
 https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html

[UCJV300シリーズ, 150シリーズ] > [プロファイル]

RIP用ソフトウェアを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア(RasterLink)の説明をします。

1 "RasterLink"を起動する。

- [プリンタ管理]画面が表示されます。
- 新たに機種を追加したいときは、"RasterLink"を起動した後に、[環境設定] > [プリンタ管理]から、登録することができます。

2 UCJV300シリーズ, 150シリーズを登録する。

(1) [追加]をクリックする。



(2) UCJV300シリーズ, 150シリーズの情報を設定する。

| プリンタ設定 > | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|
| モデル名 TS3 TS30 TS300P TS34-1800A TS5 TS5-1600C TS500P TS55 カラー 4 <u>Color 8Color</u> | インクセット 昇華転写インク410/411 BMYK ▼ 1 ▼ゼンタ 2 ブルー 3 イェロー 4 ブラック 特色カラーセット 使用しない | | | | |
| 出力ボート USB2.0 Ethernet ファイル プロパティ | 接続可能ブリンタ | | | | |
| | OK キャンセル | | | | |

- モデル名:モデルを選択
- カラー:充填されているインクセットを選択
- ・ 出力ポート: 接続しているケーブルを選択
- 接続可能プリンタ: 接続しているUCJV300シリーズ, 150シリーズを選択
- ・ プリンタ名:任意の名称を入力
- (3) [OK]をクリックする。
 - 確認画面が表示されます。
- (4) [はい]をクリックする。
 - プリンターの登録が開始されます。



 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/ download/software.html

1.5 インクの交換方法

インクニアエンドが表示されたとき

インクの残量が残りわずかになっています。早めに新しいインクボトルに交換することをお勧めします。プ リントすることはできますが、クリーニングや連続でプリントすることができません。またプリント中にイ ンクがなくなるおそれがありますので注意してください。

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すと、交換が必要なインクボトルを確認することができます。 「本機の情報を表示する(ローカルガイダンス)」(P.35)

インクエンドが表示されたとき

インクがなくなりました。新しいインクボトルに交換してください。 以下をよくお読みいただき、十分に理解してからインクを交換してください。 37 「インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項」(P.13)



 インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、 換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの 液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。





- インクボトルを外す
 - タンク部のレバーを左から右端まで回す。





インクボトルを絶対に回さないでください。インクが漏れるおそれがあります。

2 インクボトルを垂直に持ち上げる。



- ・ インクボトルを外したときに、遮光カバーが閉まっていることを確認してください。遮 光カバーが開いているときは手で閉めてください。遮光カバーを開いたまま放置すると インクが硬化して、故障の原因になります。
 - インクボトルからのインク漏れに注意してください。
- (重要!) ・ インクボトルを外したときに、ボトルキャップに付いているOリングが外れてしまうことがあります。Oリングが外れてしまったときは、元の状態に戻してください。



3 専用キャップに付着しているインク滴を吸い取る。

• インク滴がたれない程度に拭き取りフィルターを使って吸い取ります。



▲ 専用キャップに付着しているインクを紙タオルなどで拭き取る。





- 5 インクボトルから専用キャップを外す。
 - ・ 専用キャップが外しづらいときは、締め付け治具を使って取り外してください。
- **6** インクICチップを外す。



- インクボトルを準備する
 - 1 インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。
 - インクボトルのフタをしっかりと締めて、推奨の不織布でインクボトルのフタを押さえて、イン クを流すように左右に振ってください。



- ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
 - 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。
- 2 インクボトルのフタを外す。



(重要!) インクボトルのロ元にシールが付いている場合
 ・カッターなどを使って、シールを丸く切り取ってください。切り残しがあると、インクが漏れる原因になります。



- インクボトルのロ元を傷付けないでください。傷が付いた部分から、インクが漏れるお それがあります。
- シールの破片をインクボトル内に落とさないように注意してください。シールの破片がボトル内に入ったまま使用すると、ボトルキャップに詰まってインクが供給できなくなるおそれがあります。
- 3 インクボトルに専用キャップをセットする。



インクボトルやボトルキャップにインクやメンテナンス液が付着しているときは、イン クを拭き取ってください。ボトルキャップが空回りしてインクが漏れる原因になりま す。



ボトルキャップに紙タオルの欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まってインクが漏れる原因になります。



- ボトルキャップを締めすぎないでください。破損したり、空回りしたり、インクが漏れたりするおそれがあります。上記の範囲を超えた場合は、一度ボトルキャップを緩めてから、やり直してください。
 - ボトルキャップを取り付けたまま、インクボトルを長時間放置しないでください。イン クが硬化してしまう原因になります。
- 5 インクボトルを逆さにして、インクが漏れないかどうかを確認する。



● インクボトルをセットする

お使いになるインクセットによって、セットするインクボトルの順番が異なります。インクスロットの番号 を確認してから、正しい色のインクボトルを挿し込んでください。



| 機種 インクセット | | インク配置 | | | | | | | |
|-----------|----------------|-------|---|---|---|----|----|---|---|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 300シリーズ | 4-color | С | М | Y | К | Y | К | М | С |
| | 4-color, W | С | С | М | М | Y | К | W | W |
| | 4-color, W, CL | С | М | Y | К | CL | CL | W | W |
| | 6-color, W | С | М | Y | К | Lm | Lc | W | W |
| 150シリーズ | 4-color | - | - | С | М | Y | К | - | - |

インクボトルをセットする。

レバーを左から右端まで回してから、インクボトルをセットしてください。



<u>ک</u>: .

ボトルキャップのOリングにメンテナンス液を塗布すると、インクボトルが入りやすくなります。メンテナンス液は使用中のインクに対応したものを使用してください。



2 右から左端までレバーを回して固定する。

・ インクボトルを絶対に回さないでください。インクが漏れるおそれがあります。
 ・ 一度セットしたインクは使い切ってください。

3 インク供給ユニットの挿し込み口に新しいインクICチップを挿し込む。





 インクICチップは金属が付いている面を上に向けて挿し込んでください。方向を間違え て挿し込むと、本機が故障したり、インクICチップが破損したりするおそれがあります。



• インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。

・ インクICチップについて

インクICチップのマークは、色情報を示しています。



| インクカラー | 表示マーク |
|---------|-----------|
| シアン | ●(青丸1つ) |
| マゼンタ | ● (赤丸1つ) |
| 110- | (黄丸1つ) |
| ブラック | ● (黒丸1つ) |
| ライトシアン | ●● (青丸2つ) |
| ライトマゼンタ | ●● (赤丸2つ) |
| ホワイト | ○ (白丸1つ) |
| クリア | ○○ (白丸2つ) |



 インクと一緒に梱包されているインクICチップを挿し込んでください。インクICチップには、 インクカラーやインク残量、消費有効期限などの情報が書き込まれています。異なるインクIC チップを挿し込んだ場合、プリントすることができません。

第2章 プリントしてみる



この章では… プリントの手順や設定方法について説明しています。

 プリントの流れ
 52

 プリントヘッドの高さを調整する
 55

 ピンチローラーの位置を調整する
 56

 1,600 mmサイズ
 57

 1,300 mmサイズ
 58

 1,070 mmサイズ
 59

 750 mmサイズ
 60

 メディアをセットする
 61

 メディアについて
 61

 タラットについて
 61

 ウールメディアをセットする
 63

 リーフメディアをセットする
 67

 ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する.70

| テストプリントをする | 71 |
|-------------------|----|
| テストプリントの配置方向を変更する | 71 |
| ホワイトインクの吐出を確認する | 71 |
| 吐出不良について | 72 |
| ヘッドクリーニングをする | 73 |
| フィード補正をする | 74 |
| フィード補正の手順 | 74 |
| ドット位置補正をする | |
| ドット位置補正の手順 | 76 |
| RIPデータを準備する | 77 |
| プリントする | 79 |
| 原点を変更する | 79 |
| プリントを開始する | 79 |
| プリントを中止する(データクリア) | 80 |
| メディアを裁断する | 81 |
| | |

2.1 プリントの流れ



(空)「電源を入れる」(P.36)





② 「LANケーブルを使う」(P. 38)

3. RIP用ソフトウェアを準備する

(2) 「RIP用ソフトウェアをインストールする」(P.41)(初回のみ)
 (2) 「カラープロファイルを入手する」(P.41)
 (2) 「RIP用ソフトウェアを準備する」(P.42)(初回のみ)

4. プリントヘッドの高さを調整する

高さ調整レバーは、お使いになるメディアに合わせて調整してください。⁽²⁾「プリントヘッドの高さを調整する」(P.55)



5. ピンチローラーの位置を調整する

セットするメディアの幅に合わせて、ピンチローラーの位置を調整します。グリットローラーの上になるように、ピンチローラー位置を調整します。両端のピンチローラーを、メディアの左端から10cm、右端から2cm以内の位置に合わせてください。③ 「ピンチローラーの位置を調整する」(P.56)



ロールメディアとリーフメディアを使用できます。⁽²²⁾「メディアをセットする」(P. 61)



7. ピンチローラーの使用個数と圧力を調整する

メディアに適した圧力に設定してください。⁽²²⁾「ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する」 (P.70)

8 プリントヘッドのノズルの状態を確認する

図 「テストプリントをする」 (P.71)



9. 不良ノズルがあったら、ヘッドをクリーニングする

ヘッドクリーニングは、4種類あります。テストプリントの結果によって使い分けてください。 28 「ヘッドクリーニングをする」 (P.73)

10、メディアの送り量を調整する

(27)「フィード補正をする」(P.74)







(空「メディアを裁断する」(P.81)



2.2 プリントヘッドの高さを調整する

お使いになるメディアの厚みに合わせて、プリントヘッドの高さを調整してください。

| レンジ | プリントヘッドとプラテンの距離 | | | | |
|--------|-----------------|--|--|--|--|
| Low | 2 mm(初期設定) | | | | |
| Middle | 2.5 mm | | | | |
| High | 3 mm | | | | |

・プリントヘッドの高さを変更したあとは、必ずドット位置補正を実施してください。
 「ドット位置補正をする」(P.76)

プリントヘッドの高さは推奨値2.0mmで使用してください。インクジェットプリンターは、プリントヘッドとメディア間のギャップが広がると、インク滴がメディアに到達できずにミスト化してしまうおそれがあります。ミスト化したインクは、プリントヘッドのノズル面やメディア、冷却用ファンのフィルターに付着します。同時にUV-LEDユニットからプリントヘッド面に対する反射光も増えてしまいます。ノズル面に付着したミスト化したインクが、反射光で硬化したり、インク粘度が高くなったり、プリント品質に影響がでたり、プリントヘッドが故障したりするおそれがあります。

▲ ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 正面カバーを開く。
- ▲ 高さ調整レバーで高さを変更する。
 - 高さ調整レバーは、設定したい高さが上になるように設定してください。正しい位置にレバーが ないと、メディアジャムやミストなど、故障やプリント品質に影響がでるおそれがあります。





高さ調整レバーを操作している時は、エンコーダースケールやエンコーダー基板に触れないよう注意してください。

5 調整が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

1

2.3 ピンチローラーの位置を調整する

お使いになるメディアの幅に合わせて、ピンチローラーの位置を調整してください。

・ ピンチローラーは、必ず2つ以上使用してください。

- メディアを等間隔で押さえられるグリットローラーを選ぶ。
- 2 ピンチローラーをグリットローラーの上に移動する。
 - ・ ピンチローラーガイドマークを目安に移動させてください。
 - 正面から調整するとき



3 両端のピンチローラーを、メディアの左端から10cm、右端から2cm以内の位置に合わせる。

- それ以上離れた位置に合わせると、メディアを裁断したときに切り残しが発生してしまいます。
- **4** メディアから外れているピンチローラーを、グリットローラーから外す。
 - ピンチローラーとグリットローラーが接触したままメディアをフィードさせると、ピンチロー ラーが摩耗してしまうおそれがあります。

1,600 mmサイズ



1,300 mmサイズ



1,070 mmサイズ



750 mmサイズ



GR:グリットローラー

2.4 メディアをセットする



 メディアをセットする前に、ヘッド高さを調整してください。メディアをセットしたあとに キャリッジを動作させると、プリントヘッドがメディアに接触して、破損するおそれがありま す。

メディアについて

● メディアの取り扱いに関するご注意

高画質で安定したプリントをするために、弊社推奨のメディアをご使用ください。

⚠ 警 告



ロールメディアは、2人以上で取り付けてください。メディアの重みで腰を痛めてしまうおそれがあります。

注記



- ホコリが付着しないように保管してください。プリント品質が低下する原因になります。

 ・ ホコリズ紙をまるめて保管するときは、コーティング面が外側になるように保管してくださ。
- 定型サイズ紙をまるめて保管するときは、コーティング面が外側になるように保管してください。
- メディアに除電対策(イオナイザー、除電バー、ウォーターミスト加湿、アルコール系の帯電防止剤等)を実施してください。界面活性剤を含む帯電防止剤は使用しないでください。
- ・本機にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアにホコリが付着する原因に なります。また、ホコリをふき取ったメディアは使わないでください。静電気が発生して、プ リント品質に影響がでるおそれがあります。
 - 包装を開けてから間もないメディアを使用しないでください。メディア保管場所の温度や湿度によって、メディアが伸縮しているおそれがあります。本機と同じ室内環境下で、30分以上経過してから本機にセットしてください。
 - カールしたメディアは使用しないでください。プリントヘッドが破損する原因になるだけでなく、プリント品質に影響がでるおそれがあります。
 - UVインクをお使いの場合、金箔や銀箔などの光を反射するメディアは使用しないでください。 メディア表面の光が反射することによって、プリントヘッドのインクが硬化してヘッドが破損 するおそれがあります。保証の範囲外となりますのでご了承ください。

巻き取りユニットについて

巻き取りユニットのスイッチを使って、メディアの巻き取り方向を変更することができます。



| 名称 | 概要 | | | | | |
|------------|--|----------------------|--|--|--|--|
| 方向切り換えス | 上 | プリント面を内側にして巻き取りたいとき。 | | | | |
| イッチ | 下 | プリント面を外側にして巻き取りたいとき。 | | | | |
| ON/OFF ボタン | ボタンを押すごとに、巻き取りユニットが回転、停止を繰り返します。ボタンを打いる間だけ、巻き取りユニットが回転するように設定できます。 (2) 「マシン設定 ニュー」 (P. 120) | | | | | |

トルクリミッターを調節する

巻き取りユニットには、トルクリミッターが付いています。

トルクリミッターの調整ナットを回して、巻き取りの強さを変更できます。工場出荷時は、トルクリミッ ターは"中"に設定してあります。



● テンションを強くする(時計回り)

ターポリン等の重量のある厚いメディアをお使いのときにテンションを強くします。手で調整します。



 \bigcirc

トルク調整ハンドルは使用しないでください。トルク調整ハンドルを使用すると強く締め過ぎ る原因になります。強く締めてしまうと、巻き取りユニットが破損するおそれがあります。

● テンションを弱くする(反時計回り)

軽量のメディアをお使いのときにテンションを弱くします。付属の"トルク調整ハンドル"を使って調整します。



2

ロールメディアをセットする

1 クランプレバーを上げる。



- 2 背面左側のロールホルダーをロールセット位置へ移動する。
 - ロールホルダーの固定ネジを緩めてから移動させます。



- 3 背面左側のロールホルダー固定ネジを締める。
- ▲ ロールメディアを、ロールメディアハンガーに置く。
- 5 背面左側のロールホルダーにロールメディアの紙管を挿し込む。
 - 紙管が動かなくなるまで、奥に挿し込んでください。



- 6 背面右側のロールホルダーを紙管に挿し込む。
 - ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。



- 7 背面右側のロールホルダー固定ネジを締める。
- 8 メディアを挿し込む。

ピンチローラーとグリットローラーの間に挿し込みます。

・ メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに挿し込めます。

- **9** クランプレバーを下げる。
 - ピンチローラーとグリットローラーで、メディアを保持している状態にします。



1○ 本機正面に移動して、正面カバーを開く。

- 11 クランプレバーを上げて、メディアを引き出す。
 - メディアを後方に落とさないようにしてください。



プラテン右側のスリットラインがメディアに隠れないように、背面のロールホルダー位置を調整してください。メディアが斜行した場合、プリントヘッドが破損するおそれがあります。



→→-- ・ メディアの両端から5mmは、デッドスペースになります。 目

- 12 クランプレバーを下げて、ピンチローラーが等間隔になっているかどうかを確認する。
 - 頌 「ピンチローラーの位置を調整する」(P.56)





等間隔にセットできないときは、はじめからやり直してください。

13 クランプレバーを上げる。

14 メディアを静かに引き出して、軽くロックのかかる位置で止める。



15 メディアの引き出し量を確認する。

- メディア前端の数カ所を軽く引っ張り、メディアの引き出し量が均等になっていることを確認してください。
- 16 クランプレバーを下げる。



17 メディア押さえでメディアをはさむ。



・ 厚みのあるメディアにプリントするときは、メディア押さえを使用しないでください。
 ・ カッティングをするときは、メディア押さえを使用しないでください。

18 ④を押して、"ロール"を選択する。

- ・ メディア幅の検出を開始します。
- [マシン設定] > [メディア検出] > [検出方法]の設定が、"MANUAL"に設定されている場合、プリントする範囲を手動で決定します。
- [マシン設定] > [メディア検出] > [メディア残量]の設定が、"ON"に設定されている場合、メディア 長さ入力画面が表示されます。



メディアが規定の位置より右に寄っている場合、メディア幅を検出したあと、ディスプレイに"メディアイチミギスギマス"を表示してお知らせします。メディアを既定の位置にセットし直してください。

19 使用しているピンチローラーの数を入力する。

• [マシン設定] > [メディア検出] > [使用PR確認]の設定が、"OFF"に設定されている場合、ピンチ ローラー数入力画面は表示されません。

20 巻き取りユニットに空の紙管をセットする。



21 巻き取りユニットにメディアを固定する。

- (1) ⑦を押して、巻き取りユニットの紙管に届くまでメディアをフィードする。
- (2) 粘着テープでメディアの中央を固定する。
- (3) 同様にしてメディアの左右を固定する。
 - メディア下端を左右均等に引っ張り、メディアにたるみ、シワがないことを確認してから、テープを貼ってください。







リーフメディアをセットする

リーフメディアを使用する場合は、ロールホルダーとロールハンガーは使用しません。

▲ 巻き取りユニットを左右へ退避させる。

 動作中にメディアの前端が巻き取りユニットに触れた衝撃によって、プリント品質に影響がでる おそれがあります。



2 クランプレバーを上げる。



- 3 正面カバーを開く。
- ▲ メディアを挿し込む。
 - ピンチローラーとグリットローラーの間に挿し込みます。

・ メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに挿し込めます。 目

- 5 メディア右端の位置を調整する。
 - メディアがプラテン上のスリットラインをはみ出さないように、まっすぐにセットしてください。



- 6 メディア前端の位置を調整する。
 - アフターカバーに40mm度程メディアがかかるようにセットしてください。40mmより短いと、メディア幅を検出できないおそれがあります。



- 7 クランプレバーを下げて、ピンチローラーが等間隔になっているかどうかを確認する。
 - ピンチローラーとグリットローラーで、メディアを保持している状態にします。
 - 頌『「ピンチローラーの位置を調整する」(P.56)



- 8 メディア押さえでメディアをはさむ。



- ・厚みのあるメディアにプリントするときは、メディア押さえを使用しないでください。
- ・カッティングをするときは、メディア押さえを使用しないでください。
- ♀ ●を押して、"リーフ"を選択する。
 - ・ メディア幅を検出後、メディア後端の検出をします。
 - [マシン設定] > [メディア検出] > [検出方法]の設定が、"MANUAL"に設定されている場合、手動で プリントする範囲を設定します。



10 使用しているピンチローラーの数を入力する。

• [マシン設定] > [メディア検出] > [使用PR確認]の設定が、"OFF"に設定されている場合、ピンチ ローラー数入力画面は表示されません。

2.5 ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する

使用するツールやメディアに合わせて、メディアを挟む圧力や使用個数を設定します。ピンチローラー圧が 適正でないと、メディアが斜行したり、メディアにピンチローラーの跡が残ってしまうおそれがあります。

1 ローカルモード画面から[PR]を選択する。



2 使用するツールやメディアに合わせて設定する。

- 設定できる項目は、以下のとおりです。
- 設定した値は、電源を切っても保存されています。

| 項目 | 設定値 | 概要 |
|-----------|---------------------------|---|
| 使用個数 | 2~(サイズによる) | 使用するピンチローラーの数を設定します。 |
| プリント設定 | LOW / MID / HIGH | プリントに使用する、圧力を設定します。 |
| カット設定:両端 | LOW / MID / HIGH | カッティングに使用する、ピンチローラー両端(左端/右 端)の圧力を設定します。 |
| カット設定:中間 | OFF / LOW / MID / HIGH | カッティングに使用する、ピンチローラー両端以外の圧力 を設定します。 |
| 引き戻し設定:両端 | LOW / MID / HIGH | 多層印刷に使用する、ピンチローラー両端(左端/右端)の 圧力を設定します。両端以外のピンチローラーは上がっ て、プリント面にローラー痕が付かないようになります。 |
| | | (FW ver.2.5以降より対応) "ホワイトインク→カラー+グロス"のプリントのみ使用す ることができます。 詳しくは"RasterLink"のリファレンスガイド、または多層 印刷ガイドをご覧ください。 |
| | | https://japan.mimaki.com/download/software.html https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html |
| 切り替え動作実行 | - | 設定した内容を確認することができます。内蔵パターン (テストプリントやテストカットなど)の実行前に切り替 えます。 |



本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してく ださい。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常に フィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチ ローラー跡が残る原因になります。

2.6 テストプリントをする

テストパターンをプリントして、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。吐出不良(ノズル 詰まり、飛行曲がりなど)があった場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。 ③ 「ヘッドクリー ニングをする」 (P. 73)



テストプリントの配置方向を変更する

テストプリントの配置方向を変更することができます。



- 1 ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを 押す。
 - テストプリントメニューが表示されます。
- 2 [スキャン方向]、もしくは[フィード方向]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - テストプリントを開始します。



3 プリント結果を確認する。

ホワイトインクの吐出を確認する

ホワイトインクを確認するときは、以下の2つの方法があります。

- 透明フィルムにプリントする。
- テストパターンの下地をブラックインクでプリントする。

- 下地をブラックインクでプリントする方法
 - 1 ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを 押す。
 - テストプリントメニューが表示されます。
 - **2** [特色確認]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - テストプリントを開始します。
 - ・配置方向は、[スキャン方向]固定です。



3 プリント結果を確認する。

吐出不良について

吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の代表的な例を示します。このような状態でプリントされない ように、プリント前など定期的にインクが正常に吐出されているかどうかを確認してください。




2.7 ヘッドクリーニングをする

ヘッドクリーニングには、以下のタイプがあります。テストプリントの結果によって使い分けてください。

| 項目 | 内容 |
|------|---|
| ソフト | 線の曲がり(飛行曲がり)があるとき。 |
| ノーマル | 線の抜け(ノズル詰まり)があるとき。 |
| ハード | ソフトクリーニング、ノーマルクリーニングを実行しても吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)が改善しないとき。 |
| ウルトラ | ハードクリーニングを実行しても、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)や混色 が改善しないとき |

・ [インクニアエンド]、[インクエンド]のときは、クリーニングすることができません。新しいイ
 ンクに交換してください。
 ²⁷ 「インクの交換方法」
 (P. 44)

 本機に使われているインクは温めてから吐出をしています。インクの加温制御中は、プリント やクリーニングすることはできませんのでご了承ください。

- 1 ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [クリーニング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - クリーニングメニューが表示されます。
- 2 クリーニングタイプを選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 クリーニングするヘッドを選択して、[ENTER]キーを押す。
 - チェックボックスをオンにしてください。チェックが入っているヘッドをクリーニングします。

▲ 再度、テストプリントを実行して、プリント結果を確認する。

プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。

・ヘッドクリーニングで、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)が改善されない場合は、以下を実施してください。 ゆで「ワイパーの清掃」(P. 137) ゆで「キャップゴムの清掃」(P. 139) ゆで「プリントヘッドのノズル洗浄」(P. 167)

2.8 フィード補正をする

メディアを替えるとメディアの重さや厚さ、巻き取りユニットの使用有無などにより、メディアのフィード 量が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良 (濃い縞や薄い縞が入るなど)の原因になります。

事前に確認してください

- メディアをセットしていますか? ⁽²²⁾「メディアをセットする」(P. 61)
- ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか?
- 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアがセットされていますか? 20 「ロールメディアをセットする」(P.63)

フィード補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、設定メニューに反映されます。



巻き取りユニットを使用するときは、巻き取りユニットにメディアをセットしてから調整をしてください。

1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。



2 [フィード補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

• 補正パターンのプリントを開始します。

3 プリント結果を確認する。

- 補正値の入力画面が表示されます。
- ・2本の帯の境が均等の濃さになるように調整します。



▲ 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。

- "+"入力:2本の帯の隙間が広くなります。
- ・ "一"入力:2本の帯の隙間が狭くなります。
- ・ 補正値を"30"変更するごとに、帯が約0.1mm移動します。
- 5 [ENTER]キーを押す。
 - 再度、補正パターンをプリントして確認します。



調整が終了すると、プリント原点位置までメディアがフィードして、背面のロールメディアにたるみが生じます。ロールメディアを手で巻き戻して、たるみのない状態にしてください。

プリント中にフィード補正をしたいとき

リモートモードやプリント中でも、メディアの送り量の補正ができます。

- ▲ リモートモード、もしくはプリント中に、[ADJUST]を選択する。
- 2 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。
 - 補正値:-9999~9999
 - ・ ここで入力した値は、すぐ補正値に反映されます。

2.9 ドット位置補正をする

メディアやプリントヘッドの高さを変更すると、ドットの着弾位置が変わってしまいます。メディアの種類 に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良(線が二重、ぼやけた画像など)の原因に なります。

事前に確認してください

・ プリントヘッドの高さを調整していますか? ⁽²⁾「プリントヘッドの高さを調整する」(P. 55)
 ・ メディアをセットしていますか? ⁽²⁾「メディアをセットする」(P. 61)



・幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

ドット位置補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、設定メニューに反映されます。

▲ ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。



2 [ドット位置補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

・ すべての解像度の補正パターンをプリントします。

3 プリント結果を確認する。

- 補正値の入力画面が表示されます。
- ・上下2本の線が1本の直線になっている位置を入力します。



▲ 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。

• 補正値:-40~40



5 パターン2以降も同様に補正値を入力する。

2.10 RIPデータを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア(RasterLink)の説明をします。



1

・ 任意のプリント用の画像データをご準備ください。

"RasterLink"を起動する。

コンピューターのデスクトップ上にあるアイコンをクリックしてください。



2 プリントする画像データを選択する。

- (1) [ファイル] > [開く]を選択する。
- (2) 任意の画像データを選択して、[開く]をクリックする。
 - 複数のプリンターが登録されている場合、"プリンタ名"からUCJV300シリーズ, 150シリーズを選択します。

| 参照: 📔 Lady | | • | |
|---|---|---|---|
| Typer type to the | 01.eps fleps phleps 52.eps dy_01.eps dy_02.eps | | ブリンタ名 JV400LX あ気に入り設定 JV400 Layer Setting JV400 Layer Setting |
| ファイル名: | [BLUE]Lady_01.eps | | |
| ファイルタイプ: | すべてのファイル | | • |
| | | | 開く取消し |

3 読み込まれた画像データを選択する。

・ "プリンタ名"で選択した、UCJV300シリーズ, 150シリーズのタブに表示されます。



▲ 各種設定を確認、変更する。

• 画面右の機能アイコンから、以下を設定します。

🚀(通常印刷):拡大/縮小、コピーなどを設定します。

 ①
 ①
 印刷条件):本機にセットしているメディアやインクセットに合ったカラープロファイルを 選択します。



• 詳しくは、"RasterLink"のリファレンスガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/ download/software.html

5 画像データをプリントする。

- 画面右の機能アイコンから (実行)をクリックします。"RIP&印刷"、もしくは"RIP後印刷"を 選択して、[開始]をクリックします。
- →----・メディアを交換した場合、メディア幅を再取得する必要があります。
 - (1) メインウィンドウで、UCJV300シリーズ, 150シリーズのタブを選択する。
 - (2) プリンタタブの🔕 (最新のプリンタステータスを表示)をクリックする。

2.11 プリントする

事前に確認してください

- ヘッドギャップを調整していますか? 28 「プリントヘッドの高さを調整する」(P.55)
- ・ ピンチローラーの位置を調整していますか? 37 「ピンチローラーの位置を調整する」 (P.56)
- メディアをセットしていますか? ⁽²²⁾「メディアをセットする」(P. 61)
- ピンチローラーの圧力を調整していますか? ⁽²⁾「ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する」 (P. 70)
- ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか?
- 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアがセットされていますか? 37 「ロールメディアをセットする」(P.63)

原点を変更する

プリント開始位置を変更することができます。LEDポインターで原点位置を設定します。

- プリント原点の初期値
 - フィード(縦:X')方向:プラテンのカット溝から奥へ約75mm
 - スキャン(横:Y')方向:メディア右端から15mm



- 1 ローカルモード画面から、 ▲ 🔍 ④ 🕑 を押す。
 - 原点設定画面が表示されます。
- 2 ④ ⑦ ④ ●を押して、変更したい位置に原点を合わせる。
 - キャリッジが左右に動いて、メディアがフィードします。
- 3 [ENTER]キーを押す。
 - 原点が変更されます。

プリントを開始する

1 [REMOTE]を押す。

- リモートモードになって、プリントの待機状態になります。
- 2 コンピューターから、RIPデータを送信する。
 - (27)「RIPデータを準備する」(P. 77)

 エラーメッセージが表示されたときは、エラー番号を確認してから対処方法を参照して ください。エラーメッセージ

- 3 プリントを開始する。
 - RIPデータを受信すると、プリントが開始されます。



エラーが発生している場合、プリントが終了したあとはローカルモードになって、続けてプリントすることはできません。

プリントを一時停止する

- 1 プリント中に、[LOCAL]を押す。
 - プリントが一時停止されます。
 - コンピューターからデータを送信している場合は、コンピューター側でデータ送信を一時停止します。
- 2 [REMOTE]を押す。
 - プリントが再開されます。
 - ・ 一時停止中は、その他の機能は操作することができません。

プリントを中止する(データクリア)

1 ローカルモード画面から[DATA CLEAR]を選択する。



- 2 [ENTER]キーを押して、受信データをクリアする。
 - 受信バッファがクリアされます。

2.12 メディアを裁断する

- 1 ローカルモード画面から、▲ 🔍 ④ ●を押す。
 - 原点設定画面が表示されます。
- 2 ④ ⑦を押して、裁断したい位置までメディアをフィードする。
- 3 [CUT]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メディアが裁断されます。





- <u>ださい。</u> ・ ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常に フィードできなくなるおそれがあります
 - メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチ ローラー跡が残る原因になります。

第3章 カッティングしてみる



この章では… カッティングの手順や設定方法について説明しています。

| カッティングの流れ | 84 |
|-----------------|----|
| カッティングツールを取り付ける | 86 |
| カッターを使う | 86 |
| ペンを使う | 90 |
| カット条件を設定する | 94 |
| テストカットをする | 95 |

| カッティングデータをカットする | 96 |
|---------------------|----|
| 原点を変更する | 96 |
| カッティングを開始する | 96 |
| カッティングを中止する(データクリア | ') |
| | 97 |
| カッターユニットを退避させる | 97 |

3.1 カッティングの流れ



(P.36) (P.36)



(2) 「USBケーブルを使う」(P. 38)
 (2) 「LANケーブルを使う」(P. 38)

3. ピンチローラーの位置を調整する

セットするメディアの幅に合わせて、ピンチローラーの位置を調整します。グリットローラーの上になるように、ピンチローラー位置を調整します。両端のピンチローラーを、メディアの左端から10cm、右端から2cm以内の位置に合わせてください。 (3)「ピンチローラーの位置を調整する」 (P.56)



ロールメディアとリーフメディアを使用できます。 (P. 61)

メディアに適した圧力に設定してください。⁽²²⁾「ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する」(P.70)

6. カッティングツールを取り付ける

カッターとペン(ボールペン)を使用できます。 (27 「カッティングツールを取り付ける」 (P.86)

7. カッティングの速度や圧力などを設定する

お使いになるメディアやツールの種類に合わせて、カット速度や圧力などを登録します。カット条件の設定 をする

8. 試し切りをする

試し切りをして、ツール条件の設定が適切かどうかを確認します。 ⁽²²⁾「テストカットをする」(P.95)

9. カッティングデータをカットする

(2) 「カッティングデータをカットする」(P.96)

10. メディアを裁断する

(空「メディアを裁断する」(P.81)

3.2 カッティングツールを取り付ける

以下のツールを使用することができます。

- カッター(カッティング専用) メディアにプリントした画像をカットしたり、カッティングシートを使って切り文字したりするときに 使用します。
 (27)「カッターを使う」(P.86)
- ペン(ボールペン)
 トンボ調整するときなどに使用します。ボールペンの替え芯とボールペンを使用することができます。
 (2)「ペンを使う」(P.90)

カッターを使う

カッターホルダーにカッターを取り付ける

カッターを落として本機の隙間に入らないように注意してください。メディアなどの上で交換すると、カッ ター刃が落ちたときに拾いやすくなります。

・カッターの刃先を触らないでください。ケガをするおそれがあります。
 ・カッティングホルダーは振らないでください。刃先が飛び出すおそれがあります。

1 カッターホルダーのキャップを外す。

• 矢印方向にネジを回すと外れます。



ク カッターホルダーにカッターを挿し込む。

ピンセットなどを使って、カッターを挿し込んでください。



3 矢印の方向に回して、キャップを固定する。

刃先の出し量を調整する

刃先の出し量(0.2~0.5mm)を調整します。

・ ラベルフィルムより、台紙が厚い場合: (ラベルフィルムの厚さ+台紙の厚さ)/2程度。



・ ラベルフィルムより、台紙が薄い場合:ラベルフィルムを切り抜く程度。





オプションを使用すると、正確に刃先の出し量を調整することができます。
 品番:OPT-C0066 "刃先調整器(偏芯カッター用)"

- 1 調整ノブを回して、刃先の出し量を調整する。
 - ・図の矢印方向に調整ノブを回すと刃が出ます。(1周:0.5mm)



2 切れ具合を確認する。

- ・ 台紙にカッター跡が若干付く程度に、圧力を調整してください。刃先を出しすぎると、本機を傷付けるおそれがあります。

 ・ なず「カット条件を設定する」(P.94)
 ・ ・ ・ ・ ・ ・
 - ^{CC}「テストカットをする」(P.95)



• ご購入時に添付されていたカッターホルダーは、ツールホルダーに取り付けたまま、刃先の出し量を調整できます。(調整ノブ1周:0.5mm)



カッターホルダーを取り付ける

- ▲ ローカルモード画面から[MENU] > [カッティング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - カッティングメニューが表示されます。

2 [ツール交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- カッターユニットが、メンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。
 - 手動でカッターユニットを移動できます。交換しやすい位置にゆっくり移動させてから、取り付けてください。

▲ ツマミネジを回して、ホルダー押さえを緩める。



5 カッターホルダーをツールホルダーに挿し込む。



ホルダー押さえ

6 カッターホルダーを固定する。

- ツマミネジを回して、ホルダー押さえを固定する。
- 固定が緩いと、品質が低下するおそれがあります。



- 7 取り付けが終了したあとに、[ENTER]キーを押す。
- 8 メンテナンスカバーを閉じる。

サプライ品のカッターホルダー(SPA-0001)を使う

1 カッターホルダーのロックナットを緩めて、調整ノブを抜く。

• 矢印方向にネジを回すと緩みます。



2 調整ノブにカッターを挿し込む。

ピンセットなどを使って、カッターを挿し込んでください。



3 矢印の方向に回して、ロックナットを固定する。



刃先の出し量を調整する

1 カッターホルダーのロックナットを緩める。



2 調整ノブを回して、刃先の出し量を調整する。



3 矢印の方向に回して、ロックナットを固定する。



ペンを使う

ペンホルダーに替え芯を取り付ける

替え芯の種類によって、画質が変わることがあります。 推奨品:SXR-5(三菱鉛筆株式会社)

- 1 ペンホルダーのキャップを外す。
 - 矢印方向にネジを回すと外れます。



2 ペンホルダーに替え芯を挿し込む。

ペンホルダーに突き当たるまで、替え芯を挿し込みます。



3 替え芯にバネを挿し込む。



▲ 矢印の方向に回して、キャップを固定する。



ペンアダプターにボールペンを取り付ける

ペンアダプターを使用する場合は、直径8~9mmのペンをご使用ください。ボールペンの種類によって、画 質が変わることがあります。 推奨品:K105-GA(ペんてる株式会社)



- 1 ペンアダプターにキャップを付ける。
 - キャップはペン先の高さを調整するために使用します。



- 2 ペンアダプターにボールペンを挿し込む。
 - キャップに突き当たるまで、ペン先を挿し込みます。



- 3 矢印の方向に回して、ペン先を固定する。
 - ツマミネジを締めすぎないように注意してください。ボールペンが割れてしまうおそれがあります。



4 キャップを外す。



ペンを取り付ける

- ▲ ローカルモード画面から[MENU] > [カッティング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - カッティングメニューが表示されます。
- **2** [ツール交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - カッターユニットが、メンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。
 - 手動でカッターユニットを移動できます。交換しやすい位置にゆっくり移動させてから、取り付けてください。
- ▲ ツマミネジを回して、ホルダー押さえを緩める。



5 ペンホルダー、もしくはペンアダプターをツールホルダーに挿し込む。

(1) ツールホルダーにペンホルダー、もしくはペンアダプターのツバを押し当てる。

- ペンアダプターの場合、ツマミネジが邪魔にならない方向にセットしてください。
- (2) ホルダー押さえでペンホルダー、もしくはペンアダプターのツバを挟む。



6 ペンホルダー、もしくはペンアダプターを固定する。

- ツマミネジを回して、ホルダー押さえを固定する。
- 固定が緩いと、品質低下の原因になります。

7 取り付けが終了したあとに、[ENTER]キーを押す。

8 メンテナンスカバーを閉じる。

3.3 カット条件を設定する

お使いになるメディアやツールの種類に合わせて、カット速度や圧力などを登録することができます。

1 ローカルモード画面から[TOOL]を選択する。



2 条件を設定する。

- ・ 設定できる項目は、以下のとおりです。
- ・ 設定した値は、電源を切っても保存されています。

| I | 項目 | 設定値 | 概要 |
|--|------------------|---|---|
| TOOL | | CUT1 ~ 7 / PEN | ・ ツール条件は以下の通りに切り替わります。 ▶ CUT 1 ~ 3 → PEN CUT 4 ~ 7 < |
| 速度 | | 1 ~ 20cm/s | カッティング、もしくはペン書きするときの速度を設定します。 |
| 圧力 | | ツール:10~ 450g PEN:10~ 150g | カッティング、もしくはペン書きするときの圧力を設定します。 ハーフカットするときにも、圧力設定が必要です。 |
| オフセ | ット ^{*1} | 0.00 ~ 2.50mm | カッターホルダーの中心から、刃先までの距離を設定します。 みッターホルダー み先 み先 オフセット |
| ハーフカット*1 ON / OFF ・ 台紙を切り抜かずに点線でカットします。 (ハーフカット圧力) (切り抜き長さ) (切り残し長さ) ・ ハーフカットの設定をONにすると、以下の3 以下の3項目とカット条件下の圧力を設定し | | ・ 台紙を切り抜かずに点線でカットします。 「(ハーフカット圧力)」 「「ベルフィルム」 カッター」 「(切り抜き長さ)」「切り残し長さ]」 「台紙」 ・ ハーフカットの設定をONにすると、以下の3項目が表示されます。 以下の3項目とカット条件下の圧力を設定してください。 | |
| ハー 圧力 | ·フカット 」 | 0 ~ 300g | ・ 切り残す部分の圧力を設定します。 |
| 切り | 残し長さ | 0.1 ~ 5.0mm | • 切り残す長さを設定します。 |
| 切り | 抜き長さ | 5 ~ 150mm | • 切り抜く長さを設定します。 |

1. PENを選択しているときは、設定できません。

3.4 テストカットをする

試し切りをして、ツール条件の設定が適切かどうかを確認します。

磨耗などによってカッター刃の切れ味が悪くなってきたときは、圧力を上げてカットすることができます。 これは、あくまで暫定的な措置です。品質を維持する上でも、カッター刃の交換を推奨いたします。

1 ローカルモード画面から[TEST CUT]を選択する。



- 2 [テスト カット]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - テストカットが開始されます。



・ テストカットの結果を確認して、カット条件を変更してください。

| 症状 | 原因 | 対処 |
|---------------|--|--|
| 切れていない部分がある | 速度が速すぎて、刃先が 浮き上がっている。 | [速度]を遅くする (2) 「カット条件を設定する」 (P.94) ツールホルダーのツマミを締める (2) 「カッターホルダーを取り付ける」(P.87) |
| メディアの台紙が切れている | ・ 圧力が高い ・ 刃先の出し量が大きい | [圧力]を弱くする (2)「カット条件を設定する」 (P.94) 刃先の出し量を少なく調節する (2)「刃先の出し量を調整する」 (P.86) |
| 角が丸い | カッターホルダーの中心 から、刃先までの距離が 合っていない | お使いのカッターに合わせて、[オフ セット]の値を調節する (ア) 「カット条件を設定する」 (P. 94) |
| 角がめくれている | 以下の2点以上の項目が該当 している ・ 刃先の出し量が大きい ・ 圧力が高い ・ [MENU] > [カッティング] > [設定サブメニュー] >[補 正圧オフセット] の値が大 きい | 刃先の出し量を少なく調節する (孕「刃先の出し量を調整する」 (P. 86) [圧力]を弱くする (愛「カット条件を設定する」 (P. 94) [補正圧オフセット]の値を少なく調節 する (愛「カッティングメニュー」 (P. 127) |

3.5 カッティングデータをカットする

事前に確認してください

- ヘッドギャップを調整していますか? 37 「プリントヘッドの高さを調整する」(P.55)
- ・ ピンチローラーの位置を調整していますか? (2)「ピンチローラーの位置を調整する」 (P.56)
- メディアをセットしていますか? (2) 「メディアをセットする」 (P.61)
- ・ ピンチローラーを設定していますか? ⁽²⁾「ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する」(P.70)

原点を変更する

カッティング開始位置を変更することができます。LEDポインターで原点位置を設定します。ここで設定した原点は、お使いのカッティングソフトウェアの原点となります。

同じデータをカットする場合は、原点を変更してください。変更しなかった場合は、前回と同じ位置から カッティングを開始します。



- 1 ローカルモード画面から▲ 🔍 ④ を押す。
 - 原点設定画面が表示されます。
- 2 ④ ⑦ ④ を押して、変更したい位置に原点を合わせる。
 - キャリッジが左右に動き、メディアがフィードします。
- 3 [ENTER]キーを押す。
 - 原点が変更されます。
 - ・ ディスプレイに、設定されたツール条件が表示されます。

カッティングを開始する

- 1 [REMOTE]を押す。
 - ・ リモートモードになって、カッティングの待機状態になります。
- 2 コンピューターから、カッティングデータを送信する。

・詳しくは、お使いのカッティング用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

- **3** カッティングを開始する。
 - カッティングデータを受信すると、カッティングが開始されます。
 - ディスプレイに、データの残容量が表示されます。



• 万が一、カッティング 途中でメディアが外れてしまった場合は、速やかに電源を切ってください。メディアが外れたままカッティングを続けると、本機を傷つけるおそれがあります。

カッティングを一時停止する

1 カッティング中に、[LOCAL]を押す。

- カッティングが一時停止されます。
- コンピューターからデータを送信している場合は、コンピューター側でデータ送信を一時停止します。
- **2** [REMOTE]を押す。
 - カッティングが再開されます。

• 一時停止中は、その他の機能は実行することができません。

カッティングを中止する(データクリア)

1 ローカルモード画面から[DATA CLEAR]を選択する。



2 [ENTER]キーを押して、受信データをクリアする。

・受信バッファはクリアされずに保存されています。

カッターユニットを退避させる

カッティング、もしくはペン作図が終了したとき、カッターユニットはプラテン上に残っています。カッ ティング結果の確認や、新しいメディアをセットするときは、カッターユニットをプラテン上から退避させ てください。

ローカルモード画面から[TEST CUT]を選択する。

| ローカル | / | | | |
|--------------|---------------|-----|--|--|
| width:1340mm | | | | |
| C (1) (1) |) (X) (X) (X) | 800 | | |
| TOOL | TEST CUT | PR | | |

- 2 [カッター移動/ 退避]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - カッターユニットが、左端のメンテナンススペースへ移動します。
 - 連結ユニットがキャリッジに接続されている場合は、連結ユニットをカッターユニットに接続してから原点位置に移動します。(カッターユニット移動)





この章では...

トンボの作成条件や基本の情報について説明しています。

| トンボ付きデータのカッティングの流れ | .100 |
|--------------------|-------|
| トンボを作成する | .102 |
| トンボについて | . 102 |
| トンボのサイズ | . 103 |
| トンボとトンボの間隔 | . 104 |
| トンボの読み取り範囲 | . 105 |
| トンボ周辺のプリント禁止エリア | . 106 |
| プリント&カットの複合動作について | . 106 |

| トンボ検出の条件を設定する | 107 |
|---------------|-----|
| トンボの原点位置を検出する | 108 |
| IDカットの流れ | 109 |

4.1 トンボ付きデータのカッティングの流 れ

1. トンボ付きデータを作成する

図 「トンボを作成する」(P. 102)

本機では以下の3種類のトンボを検出することができます。

| タイプ1 | | タイプ2 | | 余白なしトンボ | |
|----------|----------|----------|-----|---------|----------|
| TP4 | L TP2 | TP4 | TP2 | TP4 | L TP2 |
| TP3 T | TP1 F | TP3 L | | | TP1 |

2. トンボ付きプリントデータをプリントする

(理「プリントの流れ」(P.52)

(2) 「カッティングの流れ」(P.84)(手順4~8)

(P. 107) (P. 107)

5. トンボの原点を検出する

(2) 「トンボの原点位置を検出する」(P. 108)





(2) 「カッティングデータをカットする」 (P.96)



27 「メディアを裁断する」(P.81)

4.2 トンボを作成する

画像データに"トンボ"を付けてプリントしておけば、精度の高い品質でカッティングすることができます。 トンボには、いくつかの制限事項がありますので、以下の内容をよくご覧になってトンボを作成してください。



• 本機は、裁ち落としトンボを使用できません。

トンボについて

本機では、以下の3種類のトンボを使用することができます。

| タイプ1 | | タイプ2 | | 余白なしトンボ | |
|----------|----------|--------|----------|---------|----------|
| TP4 | L TP2 | TP4 | T TP2 | TP4 | L TP2 |
| TP3 T | TP1 F | L L | | | TP1 L |



台形補正をする場合、トンボ4(TP4)を使用します。トンボ4を読み飛ばすこともできますが、カッティングの精度が低くなります。 台形補正:メディア左右端のフィード量の差を補正する

メディアとトンボの色

メディアは白地、トンボの色は黒を推奨します。それ以外の色の場合、トンボを検出できないおそれがあり ます。



トンボのにじみ

トンボは、にじみがないようにプリントしてください。トンボがにじんでいると、トンボ原点の誤検出やトンボを検出できないおそれがあります。



トンボのサイズ

推奨するトンボのサイズ(A)は、トンボを含めてA4(210mm x 297mm)~A3 サイズ(297mm x 420mm)です。それ以上の大きさの場合、メディアがのフィードに問題(メディアの蛇行など)が生じた場合、トンボを検出できないおそれがあります。



トンボの長さと線幅の目安



推奨するトンボの長さと線幅は、以下のとおりです。以下の範囲から外れた場合、トンボを検出できないお それがあります。

| トンボのサイズ(A) | トンボ長さ(B) | 線幅 |
|-----------------|----------|--------|
| \sim 200 mm | 5 mm | 0.5 mm |
| 201~500 mm | 8 mm | |
| 501~1,000 mm | 15 mm | 1.0 mm |
| 1,001~2,000 mm | 25 mm | |
| 2,001 mm \sim | 35 mm | |

• 弊社RIP用ソフトウェアの機能"トンボの周りを塗りつぶす"を設定した場合、トンボ長さ(B)は10mm 以上にしてください。

連読してトンボを配置するとき

トンボの長さ(B)を8mm以上にしてください。8mm未満のトンボを連続して読み取った場合、トンボを検出できないおそれがあります。



トンボとトンボの間隔

トンボとトンボの間隔(C)は、以下のとおりです。



● トンボ原点誤検出の例

・以下の図はトンボとトンボの間隔(C)が狭いので、トンボを検出できないおそれがあります。



トンボの読み取り範囲

トンボを検出することができる範囲は、以下のとおりです。余白が少ない場合、メディア端をトンボと間違えてトンボを検出するおそれがあります。

弊社RIP用ソフトウェア(RasterLink)を使ってデータをコピーする場合は、メディア後端から210mm以上あけてください。



IDカットの場合

トンボを検出することができる範囲は、以下のとおりです。余白が少ない場合、メディア端をトンボと間違えてトンボを検出するおそれがあります。

弊社RIP用ソフトウェア(RasterLink)を使ってデータをコピーする場合は、メディア後端から210mm以上あけてください。



P

・ 詳しくは、IDカットガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/software.html

トンボ周辺のプリント禁止エリア

トンボ周辺はプリントしないでください。トンボ原点の誤検出やトンボを検出できないおそれがあります。



● トンボ原点誤検出の例

以下の図はプリント禁止エリアにプリントされているので、トンボではない場所を検出してしまうおそれがあります。



プリント&カットの複合動作について

弊社RIP用ソフトウェア(RasterLink、FineCut)を使って、"プリント&カット"をする場合は、以下の項目 にご注意ください。

- 1. 本機で設定したトンボサイズとトンボ形状は無効になります。ソフトウェア側の指示にしたがいます。
- 2. トンボ付きのデータで、"プリント&カット"をすることを推奨します。プリントデータの大きさによって、カッティング精度が低下するおそれがあります。
- 3. トンボがないデータでも、巻き取りユニットを使って"プリント&カット"することはできますが、カッ ティング精度が低下するおそれがあります。

4.3 トンボ検出の条件を設定する

プリントしたトンボの条件を登録します。

- ローカルモード画面から[MENU] > [カッティング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 カッティングメニューが表示されます。
- **2** [トンボ検出]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - トンボ検出メニューが表示されます。
 - ↓ ・ 以下の方法でも、トンボ検出メニューを表示させることができます。
 - (1) ローカルモード画面から[TEST CUT]を選択する。
 - (2) [トンボ検出設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 項目を選択して、設定する。
 - @ 「カッティングメニュー」 (P. 127)

4.4 トンボの原点位置を検出する

1 ローカルモード画面から[TEST CUT]を選択する。



- 2 [トンボ原点検出]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - トンボ検出モードになります。
 - カッティングユニットがプラテン上に移動します。



3 ③ ③ ③ ③ ● を押して、LEDポインターの 光点をトンボの中心に移動する。



▲ [ENTER]キーを押す。

• トンボの検出を開始します。
4.5 IDカットの流れ





・ 詳しくは、IDカットガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/software.html

2. IDカットデータ付きプリントデータをプリントする

(空「プリントの流れ」(P.52)



27 「カッティングの流れ」(P.84)(手順4~8)

4. プリントしたトンボの情報を登録する

(2)「トンボ検出の条件を設定する」(P. 107)



(P. 108) (P. 108)

(P.96) (P.96)



(P.81) (P.81)





この章では… [MENU]の各種機能について説明しています。

| 設定メニュー112 | マシン設定メニュー | 120 |
|------------------|--------------|-----|
| Temporaryの使い方114 | イベントメール機能の設定 | 122 |
| 設定タイプ名称の変更方法115 | ノズルチェックメニュー | 125 |
| LIモート | 情報メニュー | 126 |
| メンテナンスメニュー | カッティングメニュー | 127 |
| ノスルリカハリーを豆球9 る | 直前のデータをコピーする | 130 |

| 直前のデータをコピーする | .130 |
|--------------|------|
| 切り残しをなくす | 130 |

5.1 設定メニュー

お使いになるメディアに合わせて、プリント条件(設定1~4、Temporary)を個別に登録しておくことができます。一度だけ違う条件でプリントしたい場合は、"Temporary"を選択してください。"Temporary"の条件は保存されません。

● メニュー 一覧

本機の設定と接続しているコンピューターの設定、どちらを優先させるかどうかを決めることができます。 各メニューを"ホスト"に設定すると、コンピューターの設定が優先されます。本機の設定を優先させたいと きは、"ホスト"以外に設定してください。

• RIP用ソフトウェアの指定方法は、RIP用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

| 項目 | 設定値 | | 内容 |
|---------|----------------------------------|-----|---|
| | *1 | *2 | |
| フィード補正 | -9999 ~ <u>0</u> ~ 9999 | - | メディアの送り量を補正します。 ・ パターンをプリントして、補正量を入力します。 |
| ドット位置補正 | -40.0 ~ <u>0</u> ~ 40.0 | - | 双方向プリントのドット着弾位置を補正します。 • パターンをプリントして、補正量を入力します。 |
| ロジカルシーク | <u>ホスト</u> /OFF/ ON/メディア 幅 | OFF | キャリッジの可動範囲を設定します。 ・ OFF:マシンサイズ領域 単方向ブリント スケークフリント マリントデータ領域 ガウロブリント アリントデータ キャリッジの動き ・ ON:プリントデータ領域 アリントデータ キャリッジの動き ・ メディア幅:メディアサイズ領域 (FW ver.2.8以降よの対応) 東方向ブリント メディア幅:メディアサイズ領域 (FW ver.2.8以降よの対応) スケークフリント |
| 重ね塗り | <u>ホスト</u> /1~9 回 | 1 | 重ね塗りの回数を設定します。 |
| 乾燥時間 | _ | _ | インクを乾燥させる時間を設定します。 |

| 項目 | 設定値 | | 内容 | |
|---|----------------------------------|--|---|--|
| | *1 | *2 | | |
| スキャン | <u>ホスト</u> / 0.0 ~ 9.9 sec | 0 | キャリッジがスキャンするごとに、キャリッジを停止させる 時間を設定します。 ・弊社RIP用ソフトウェア(RasterLink)は、"スキャン毎の 乾燥時間"と表示しています。 | |
| プリントエンド | <u>ホスト</u> / 0 ~ 120 min | 0 | プリントしたあとの停止時間を設定します。設定した時間を 超えると次のデータをプリントします。 ・弊社RIP用ソフトウェア(RasterLink)は、プリントエン ドの指定ができません。本機を"ホスト"に設定すると、時 間は"0分"になります。 | |
| マージン/左 マージン/右 | <u>ホスト</u> / -10 ~ 85 mm | 0m m | メディア左右の標準余白(15mm)からオフセットする値を 設定します。 ・メディア押さえを使用する場合、左右のマージンを-5mm 以上に設定してください。メディア押さえの上にプリン トをするおそれがあります。 ・弊社RIP用ソフトウェア(RasterLink)は、マージンの指 定ができません。本機を"ホスト"に設定すると、左右の マージンはオフセット値が"0mm"になります。 | |
| 吸着ファン | <u>ホスト</u> /弱/ 標準/強 | 強 | メディアを吸着する強さを設定します。 ・メディアの浮きによるメディアジャムやプリントヘッド 破損を防止できます。 | |
| フィード速度 | <u>ホスト</u> / 10 ~ 100 ~ 200 % | 100 | メディアの送り速度を設定します。 プリント条件によっては、速度が変わらない設定値があります。 100%以上に設定した場合、プリント終了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られないため、画質に影響するおそれがあります。 | |
| オートクリーニング | - | - | 自動的にヘッドクリーニングを開始させる条件を設定しま す。 ・吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)などの症状 が発生した場合などに設定します。 | |
| 設定 | ファイル / 距 離 / 時間 / OFF | - | 設定した条件の設定値を超えたら、プリント終了後にヘッド クリーニングを開始します。 | |
| 間隔 | - | - | - | |
| (ファイル) | 1 ~ 1000 | - | ファイル数を選択したときの間隔を設定します。 | |
| (距離) | 0.1 ~ 100.0 m | - | プリント長さを選択したときの間隔を設定します。 | |
| (時間) | 10 ~ 120 min | - | プリント時間を選択したときの間隔を設定します。 | |
| タイプ | ノーマル / ソ フト / ハード | - | ヘッドクリーニングのタイプを設定します。 | |
| クリーニング後 チェック | ON / OFF | - | ヘッドクリーニング終了後にノズルチェックをさせるかどう かを設定します。 | |
| 定期ワイピング 3~255 min / - 自動的にプリントヘッドのワイピングを開始さt 定します。プリントした時間が設定値を超えた 中でもプリントヘッドをワイピングします ・ インク滴が落ちるなどの症状が発生した場合 します。 | | 自動的にプリントヘッドのワイピングを開始させる時間を設定します。プリントした時間が設定値を超えたら、プリント中でもプリントヘッドをワイピングします ・ インク滴が落ちるなどの症状が発生した場合などに設定します。 | | |
| UVモード | <u>ON</u> /OFF/印 刷無し | ON | UV-LEDの照射するかどうかを設定します。 ・ ON:UV-LEDを照射します。 | |

| 項目 設定値 *1 *2 | | 設定値 | | 内容 |
|--|------|--------------------------|-----|---|
| | | *2 | | |
| | | | | OFF: UV-LEDを照射しません。 印刷なし:プリントせずに、UV-LEDを照射します(通常は使用しません)。 |
| UV光量調整 | | -50 ~ <u>0</u> ~ 50 % | - | あらかじめ設定されているUVランプの光量を変更することが できます。(F/W ver.2.8以降より対応) ・マイナス方向:硬化を弱くしたいとき。 ・プラス方向:硬化を強くしたいとき。 *プリントしたあとに、性能(ベタつき、臭気など)を確認し てください。 |
| MAPS4 | | - | - | MAPS: Mimaki Advanced Pass System パスの境界を分散させて、パス間の送り縞を目立ちにくくさせる機能です。 MAPSを変更すると、色の変化がみられることがあります。また、画像によっては効果が得られないことがあります。 |
| MAPS4 スムージング レベル 速度 | | <u>AUTO</u> / MANUAL | - | 通常は"AUTO" で使用してください。"MANUAL"に設定する と、以下の項目が表示されます。 |
| | | 0 ~ 100 % | - | スムージングレベルを上げると、縞が目立ちにくくなりま す。 |
| | | 50 ~ 100 % | - | 速度を下げると、縞が目立ちにくくなります。ただし、プリ ント速度が遅くなります。 |
| | 拡張 | ON / OFF | - | "ON"に設定すると、縞が目立ちにくくなることがあります。 ただし、粒状感が増すおそれがあります。 |
| 77 | オナイザ | ON / OFF | - | イオナイザー(オプション)の設定します。詳しくは、"イオ ナイザ取扱説明書"をご覧ください。 ・ オプションを接続しているときに表示されます。 |
| LTモード ON / OFF | | ON / OFF | OFF | インクの柔軟性が必要なときに設定します。ただし条件があります。 (23) 「LTモード」 (P. 116) *プリントしたあとに、性能(ベタつき、臭気など)を確認し てください。 |
| 設定リセット | | - | - | |

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. RIP用 ソフトウェア(ホスト)から設定できない、もしくは本機を優先設定しているときに使用される 値です。

Temporaryの使い方

"Temporary"は、一度だけ違う条件でプリントしたい場合に設定します。登録済みの"設定1~4"の一部を変更して使いたいときや、"Temporary"のプリント条件を"設定1~4"に登録することもできます。



● "Temporary"に"設定1~4"の内容をコピーする

"設定1~4"の登録内容の一部を変更して使用することができます。

- ローカルモード画面から[MENU] > [設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 ・設定タイプが表示されます。
- 2 [Temporary]を選択する。
 ・ 設定メニューが表示されます。⁽²⁾「設定メニュー」(P. 112)
- **3** [設定リセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- ▲ [コピー]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - コピー元の選択画面が表示されます。
- 5 コピー元(設定1~4)を選択して、[ENTER]キーを押す。
 ・ コピー確認画面が表示されます。
- 6 [ENTER]キーを押す。
 - ・ コピー元の設定内容が、"Temporary"にコピーされます。
- "設定1~4"に"Temporary"の内容をコピーする
 - 1 ローカルモード画面から[MENU] > [設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - 設定タイプが表示されます。
 - 2 [Temporary]を選択する。
 - 設定メニューが表示されます。 (2) 「設定メニュー」 (P. 112)
 - 3 [設定保存]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - 保存先選択画面が表示されます。
 - 4 保存先(設定1~4)を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ 保存確認画面が表示されます。
 - 5 [ENTER]キーを押す。
 - ・ "Temporary"の設定内容が、保存先にコピーされます。

設定タイプ名称の変更方法

設定タイプの名称を変更することができます。登録できる文字は、英数字および記号が使用することができ ます。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - 設定タイプが表示されます。
- 2 設定1~4を選択して、[FUNC2]キーを押す。
 - 名称変更画面が表示されます。
- 3 お好きな名称を入力して、[ENTER]キーを押す。
 - 設定タイプの名称が変更されます。

LTモード

LTモードが有効になる条件は、以下のとおりです。

| インク種類 | インクセット | 解像度 | パス数 | メディア |
|--------|--------|---------|------|-------|
| LUS170 | 4色 | 300×900 | 6パス | 塩ビ |
| | | | | ターポリン |
| | | 600×600 | 8パス | 塩ビ |
| | | | | ターポリン |
| | 6色 | 300×900 | 12パス | 塩ビ |
| | | | | ターポリン |
| | | 600×600 | 16パス | 塩ビ |
| | | | | ターポリン |

5.2 メンテナンスメニュー

メンテナンスにお使いいただくメニューです。そのほかにクリーニングやノズル洗浄をしてもノズル詰まり が直らないときに使用するノズルリカバリー機能を設定することができます。

● メニュー 一覧

| | 項目 | *1 設定值 | 内容 |
|-----------|---------------------------|-----------|---|
| ステ・ | ーションメンテ | - | キャリッジを移動させて、ステーションやプリントヘッド周辺のメ |
| + | ャリッジアウ | - | ンテナンスをします。 |
| | ステーション メンテ | - | キャップやワイパー、NCUなどステーション周辺を清掃します。 27 「ワイパーの清掃」(P. 137) 27 「キャップゴムの清掃」(P. 139) 27 「NCUの清掃」(P. 140) |
| | ヘッドメンテ ナンス | - | プリントヘッド周辺を清掃します。 ⁽²⁷⁾ 「キャリッジ底面の清掃」(P. 141) ⁽²⁷⁾ 「メディアセンサーの清掃」(P. 144) ⁽²⁷⁾ 「ミストフィルターの清掃」(P. 142) ⁽²⁷⁾ 「ミストフィルターの交換」(P. 152) |
| | ズル洗浄 | - | プリントヘッドのノズル面をメンテナンス液で浸して、吐出不良 (ノズル詰まり、飛行曲がりなど)を復旧します。 ☞「プリントヘッドのノズル洗浄」(P.167) |
| ポ 洗 | ポンプチューブ - 洗浄 保管洗浄 - | | 吸引ポンプチューブ(キャップ下)を洗浄します。 22 「インク排出経路の洗浄」(P. 143) |
| 保 | | | 本機を長期間使わないときに実施します。ノズル洗浄と排路洗浄をして、本機を快適な状態に保ちます。 |
| ס | イパー交換 | - | ワイパーの交換をするときに使用します。ワイパー交換をすると、 本機で管理されていたワイパー使用回数が初期化されます。 愛「ワイパーの交換」(P. 150) |
| ノズルリカバリ | | - | ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良(ノズル詰まり、飛行 曲がりなど)が直らない場合、他のノズルを使用してプリントさせ ることができます。 |
| | ピント | - | パターンをプリントして、ノズルの状態を確認、登録します。 🖙 「ノズルリカバリーを登録する」(P. 118) |
| 登 | 録 | - | パターンをプリントせずに、ノズルを登録します。 |
| ע | セット | - | 設定した内容を初期化します。 |
| _ | ストプリント | ON / OFF | テストプリントにノズルリカバリーをしてプリントをするかどうか を設定します。 (F/W ver.2.5以降より対応) |
| オートメンテナンス | | - | 各種メンテナンスを自動で実行するように設定できます。各メンテ ナンスを実行する間隔を設定してください。 ・ ワーニングメッセージ"廃インクタンク交換"が表示されている と、オートメンテナンス機能が実行できません。 (2) タンクの交換」(P. 159) ・ オートメンテナンス機能とは別に、"スリープ負圧かけ直し"機能 がスリープモードで実行されます。"スリープ負圧かけ直し"機能 とは、スリープしているときに、ヘッド内の負圧を保持するた |

| | 項目 | 設定值 ^{*1} | 内容 |
|---------------|---------------|------------------------------------|--|
| | | | めに定期的に負圧をかけています。はじめの1時間は15分間隔、 それ以降は30分間隔で、"スリープ負圧かけ直し"機能を実行して |
| | | | います。 _{(F/W} ver.2.8以降より対応) |
| | リフレッシュ | 0.5 ~ <u>4.0</u> h | リフレッシュをする間隔を設定します。 ・ プリントヘッドのノズルから、少量のインクを吐出します。ノ ズル詰まりを防止する効果があります。 |
| | クリーニング間 隔 | 1 ~ <u>12</u> h | ヘッドクリーニングをする間隔を設定します。 ・ プリントヘッドをクリーニングします。ノズル詰まりを防止する効果があります。 |
| | クリーニングタ イプ | ノーマル / <u>ソ</u> <u>フト</u> / ハード | ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定しま す。 |
| 1 | ンク充填 | - | インクを充填して、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)を 解消します。 |
| 廃 | インクタンク交換 | - | 廃インクタンクの使用カウントを初期化、もしくは補正します。 (2) 「廃インクタンクの交換」(P. 159) |
| オーバーフローメン - テ | | - | エラー"インクオーバーフロー"が表示されたときに実行します。 サブタンク内の過剰なインクを排出して、インクオーバーフローを解消します。 1回で解消されないときは、繰り返し実行してください。3回繰り返しても解消されない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。 |
| 空 | 気抜き | - | インクが混色してしまったときや、空気の混入によるノズル詰まり が発生したときに使用します。キャリッジの手前に付いているポートから、プリントヘッド内のインクや空気を抜き出します。 (P. 169) |

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

ノズルリカバリーを登録する

ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)が直らない場合、他のノズ ルを使ってプリントさせることができます。



ノズルリカバリーを1ノズル列あたり10個まで登録できます。ノズルリカバリーを設定しても、プリント時間は変わりません。



・幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

メディアをセットする。

- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。

3 [ノズルリカバリ] > [プリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ノズルリカバリーパターンをプリントします。
- プリントが終了したあとに、登録ノズル選択画面が表示されます。



ノズルリカバリーをしたい"ヘッド番号-ノズル列番号"を選択して、[ENTER]キーを押す。

| | 登録ノ | ズ | ル選択 | | |
|-------|-------|---|-----|----|--------|
| ヘッド番号 | Head1 | A | | > | |
| | Head1 | В | | > | ノブル別来早 |
| | Head1 | С | | > | |
| | Head1 | D | | > | |
| | Head2 | A | | > | |
| | << | | | >> | |
| | | | | | |

- 5 ノズルリカバリーをしたい"ノズル番号"を入力して、[ENTER]キーを押す。
 - 登録先の番号を選択してから、"ノズル番号"を入力します。
 - ノズルリカバリーが設定されます。

| 登録先番号: 1~10— | Head | 2-D | | |
|--------------|------|-----|-----|---------|
| | No.1 | | 16 | |
| | No.2 | | 128 | |
| | No.3 | | 184 | — ノズル番号 |
| | No.4 | | OFF | |
| | No.5 | | OFF | |
| | << | | >> | |
| | | | | |

登録が終了したあとに、[ENTER]キーを押す。 6



• [メンテナンス] > [ノズルリカバリ] > [テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバ リーされてテストプリントされます。 (F/W ver.2.5以降より対応) (空)「テストプリントをす

5.3 マシン設定メニュー

本機を快適にお使いいただくために各種オペレーションを設定することができます。

● メニュー 一覧

| 項目 | *1 設定值 | 内容 |
|-----------------------|---|--|
| オートパワーオフ | しない / 10 ~ <u>30</u> ~ 600min | 自動で電源を切る時間を設定します。 |
| 巻取ユニット - | | 巻き取りユニットの動作を設定できます。 |
| 巻取ユニット | <u>ON</u> / OFF | 巻き取りユニットを使わない場合は、OFFにしてください。 |
| 巻取スイッチ | <u>継続</u> / 一時 | ローカルモードで、巻き取りユニットのON / OFFボタンの動作を設 定します。 ・ 継続:ボタンを押すごとに、巻き取りユニットが回転、停止を 繰り返します。 ・ 一時:ボタンを押している間だけ、巻き取りユニットが回転し ます。スイッチを放すと、回転が止まります。 |
| メディア残量 | ON / <u>OFF</u> | リモートモードでロールメディア残量を表示、プリントすることができます。リーフメディアの場合は、プリント長が表示されます。 ON:メディア幅検出後に、入力画面が表示されます。 ④ ●を押して、メディアの長さを設定します。 "原点設定"画面で[FUNC3]キーを押すと、日付とメディア残量をプリントすることができます。 OFF:メディア残量は表示されません。 |
| メディア検出 | - | メディア幅の検出方法を設定します。 |
| 検出方法 | <u>AUTO</u> / MANUAL | AUTO:センサーを使って、メディアの幅を自動で検出します。 MANUAL: ④ ●を押して、メディアの幅を手動で決定します。 黒いカッティングシートなど、センサーで検出できないメディアを使用する場合、"MANUAL"に設定してください。 |
| 使用PR確認 | <u>ON</u> / OFF | メディア幅検出後、使用するピンチローラー数を入力する画面を表示させるかどうかを設定します。 ON:入力画面を表示します。 OFF: "ホスト"の指示を優先します。本機でピンチローラー圧の設定をする場合は"OFF"にしてください。 (2)「ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する」(P.70) |
| LANGUAGE | <u>English</u> / 日本 語 / 中文 / Turkce | 表示言語を設定します。 |
| 時刻設定 | -20h ~ <u>0</u> ~ +4h | 現在の日付と時刻を設定します。(日本時間基準) ・ -20 ~ +4 時間の間で設定できます。 |
| 単位 / 温度 | <u>°C</u> / °F | 温度の表示単位(摂氏/華氏)を設定します。 |
| 単位 / 長さ | <u>mm</u> / inch | 長さ、面積の表示単位を設定します。 ・ "inch"に設定しても、"mm"単位で表示している項目もありま す。 |
| キーブザー | <u>ON</u> / OFF | キーを押したときのブザー音を設定します。 "OFF"に設定しても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消 すことはできません。 |
| 確認フィード <u>ON</u> /OFF | | テストプリントなどのプリント結果を確認するために、メディアを 前方向にフィードさせるかどうかを設定します。 |

| 項目 | 設定值*1 | 内容 | | |
|------------------|-----------------|--|--|--|
| 余白フィード方式 | <u>間欠</u> / 連続 | 画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変更します。 ・ 間欠:パス分割単位での間欠フィード動作する。 ・ 連続:データがない部分を一度にフィードする。 | | |
| ネットワーク | - | ネットワークのアドレスを設定します。設定を有効にするには、本 機の再起動が必要です。 | | |
| IPアドレス確認 | - | 本機が使用中のIPアドレスが表示されます。 • IPアドレスが確定するまで、時間がかかります。IPアドレスが 未確定の場合、"0.0.0.0"と表示されます。 | | |
| MACアドレス確 認 | - | 本機が使用中のMACアドレスが表示されます。 | | |
| DHCP | ON / <u>OFF</u> | "ON"の場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスが使用されます。 | | |
| AutoIP | ON / <u>OFF</u> | "ON"の場合、AutoIPプロトコルにより使用するIPアドレスが決定されます。ただし、DHCPが"ON"の場合は、DHCPが優先されます。 | | |
| IPアドレス | - | 本機が使用するIPアドレスを設定します。 ・ [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することがで きます。 | | |
| デフォルト ゲー トウェイ | - | 本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。 ・ [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することがで きます。 | | |
| DNS アドレス | - | 本機が使用するDNSサーバーのアドレスを設定します。 ・ [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することがで きます。 | | |
| サブネット マス ク | - | 本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。 ・ [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することがで きます。 | | |
| イベントメール | - | イベント(プリントの開始や終了、中断など)が発生したときに、 設定したメールアドレスにメールを送信させることができます。設 定を有効にするには、本機の再起動が必要です。 300 「イベント メール機能の設定」 (P. 122) | | |
| メール送信 | ON / <u>OFF</u> | イベントメールを送信するかどうかを設定します。 | | |
| 送信イベント選 択 | - | | | |
| プリント開始 | ON / <u>OFF</u> | プリント開始時にメールを送信するかどうかを設定します。 | | |
| プリント終了 | ON / <u>OFF</u> | プリント終了時にメールを送信するかどうかを設定します。 | | |
| プロット開始 | ON / <u>OFF</u> | カット開始時にメールを送信するかどうかを設定します。 | | |
| プロット終了 | ON / <u>OFF</u> | カット終了時にメールを送信するかどうかを設定します。 | | |
| エラー | ON / <u>OFF</u> | エラー発生時にメールを送信するかどうかを設定します。 | | |
| ワーニング | ON / <u>OFF</u> | ワーニング発生時にメールを送信するかどうかを設定します。 | | |
| その他 | ON / <u>OFF</u> | 上記以外のイベント発生時にメールを送信するかどうかを設定します。 | | |
| メールアドレス | - | 送信先メールアドレス(英数字、記号、96 文字以内)を設定しま す。 | | |
| 件名 | - | 件名に記載する文字(英数字、記号、8文字以内)を設定します。 | | |
| サーバー設定 | - | | | |

| 項目 | | 設定值*1 | 内容 |
|--------|----------------|--|--|
| | SMTPアドレ ス | - | SMTPサーバーを設定します。 |
| | SMTPポート No. | - | SMTPのポート番号を設定します。 |
| | 送信元メール アドレス | - | 送信元メールアドレス(英数字、記号、64文字以内)を設定しま す。 |
| | | | サーバーのアカウントに対応したメールアドレスを設定する と、メールを送信させることができます。 |
| | 認証方式 | OFF / POP before SMTP / SMTP 認証 | SMTP サーバーの認証方式を設定します。 |
| | ユーザー名 | - | 認証に使用するユーザー名を設定します(英数字、記号、30文字以内)。 ・ [認証方式]が"OFF"以外を選択したときに設定することができま す。 |
| | パスワード | - | 認証に使用するパスワードを設定します(英数字、記号、15文字以 内)。 • [認証方式]が"OFF"以外を選択したときに設定することができま す。 |
| | POP3アドレ ス | - | POPサーバーを設定します。 • [認証方式]が"POP before SMTP"の場合に設定することができま す。 |
| | APOP | - | APOPのON / OFFを設定します。 • [認証方式]が"POP before SMTP"の場合に設定することができま す。 |
| テ 信 | -ストメール送 。 | - | テストメールを送信します。 ⁽²⁾ 「テストメール送信」(P. 123) |
| リセット | | - | 設定した内容を初期化します。 |

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

イベントメール機能の設定

イベント(プリントの開始や終了、中断など)が発生したときに、設定したメールアドレスにメールを送信することができます。



• SSL (Secure Socket Layer) 暗号化通信には対応していません。



イベントメール機能を使用するには、LANケーブルを接続してください。
 (2)「LANケーブルを使う」(P.38)

免責事項

- ・ メール通知、その他インターネットの通信費用は、お客様負担となります。
- インターネット環境や機器の不具合などの要因により、イベントメールが届かないことがあります。
 不達や遅延などにおいて発生した損害について、当社では責任を負いかねます。

テストメール送信

▲ ローカルモード画面から[MENU] > [マシン設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- マシン設定メニューが表示されます。
- 2 [イベントメール] > [テストメール送信]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 [ENTER]キーを押す。
 - ・送信結果が表示されます。
 - テストメールの送信に失敗した場合、エラーコードが表示されます。エラーコードー覧表を参照して、対処してください。





▲ テストが終了したあとに、[ENTER]キーを押す。

● エラーコード一覧

| エラーコード | 予想される原因 | 対処方法 |
|----------------|---|---|
| 10 | ネットワークの接続エラー です。 | 本機がネットワークに接続されているかどうかを確認してください。 本機のIPアドレスを確認してください。 本機がDNSを利用できる環境であるかどうかを確認してください。 |
| 20 | 有効なメールアドレスがあ りません。 | ・ 正しいメールアドレスを入力してください。 |
| 11003 11004 | POPサーバーが見つかりま せん。もしくはDNSサー バーにアクセスできませ ん。 | POPサーバーのアドレスを確認してください。 本機がDNSを利用できる環境であるかどうかを確認して ください。 |
| 11021 | POPサーバーに接続できま せん。 | POPサーバーの設定を確認してください。 ファイアーウォールの設定を確認してください。 |
| 12010 | POPサーバーからエラーが 返答されました。 | POPサーバーの設定を確認してください。 |
| 13000 | POP認証に失敗しました。 | ・ユーザー名とパスワードを確認してください。 ・APOPの設定を確認してください。 ・認証方式を確認してください。 |
| 10013 10014 | SMTPサーバーが見つかり ません。もしくはDNSサー バーにアクセスできませ ん。 | SMTPサーバーのアドレスを確認してください。 本機がDNSを利用できる環境であるかどうかを確認して ください。 |
| 10021 | SMTPサーバーに接続でき ません。 | SMTPサーバーの設定を確認してください。 SMTPポート番号を確認してください。 ファイアーウォールの設定を確認してください。 |

| エラーコード | 予想される原因 | 対処方法 |
|----------------------------------|---|---|
| 10*** 11*** 20*** 21*** | SMTPサーバーからエラー が返答されました。もしく は応答がありません。 | SMTPサーバーの設定を確認してください。 SSL通信が必須のサーバーとは通信できません。 プロトコルフィルターの設定を確認してください。 |
| 12*** | 無効な送信元メールアドレ スです。 | サーバーのアカウントに対応したメールアドレスを設定 してください。 |
| 13*** | メールの宛先が見つかりま せん。もしくは無効なメー ルアドレスです。 | メールアドレスを確認してください。 メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。 サーバーのアカウントに対応したメールアドレスを設定してください。 |
| 22000 22008 | SMTP認証エラー。 | • 認証方式を確認してください。 |
| 23*** 24*** 25*** | SMTP認証に失敗しまし た。 | ユーザー名とパスワードを確認してください。 |

1. ***はメールサーバーから返答されたエラーコード

• エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してください。

5.4 ノズルチェックメニュー

プリント前にノズル詰まりがあるかどうかをチェックします。ノズル詰まりがあった場合、自動でメンテナンス機能を実行させるかどうかを設定します。



● メニュー 一覧

| 項目 | | 項目 | 。 設定值 ^{*1} | 内容 |
|--------------------|--------|------------------|------------------------------|---|
| 印刷中チェック | | 中チェック | ON / <u>OFF</u> | プリント開始前に自動でノズル詰まり検出動作を実行します。 |
| | チ | ェック間隔 | - | ノズル詰まり検出動作のタイミングを設定します。 |
| | | 距離 | 0.1 ~ <u>30.0</u> ~ 50.0m | 設定した距離に達したあとに、次のプリントが開始されるタイミン グでノズル詰まり検出動作を実行します。 |
| | | ファイル | 1~ <u>30</u> ~100 ファイル | 設定した数のファイルをプリントしたあとに、次のプリントが開始 されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。 |
| | 復旧動作 - | | - | "ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作(クリーニング>ノズ ルチェック)を実行します。 |
| | | クリーニング | <u>ソフト</u> /ノー マル/ハード | クリーニングタイプを設定します。 |
| | | リトライ回数 | <u>0</u> ~ 3□ | 指定回数分、復旧動作(クリーニング > ノズルチェック)を実行し ます。 |
| 自動ノズルリカバリ | | ノズルリカバリ | ON / <u>OFF</u> | "ノズル詰まり"と判定された場合、自動でノズルリカバリーを実行します。手動で設定したいときは、以下を参照してください。 |
| 判定条件 ^{*2} | | 案件 ^{*2} | OFF / <u>1</u> ~ 64 ノズル | "ノズル詰まり"と判定するノズル数を設定します。1 ノズル列あたり 16ノズルまで設定することができます。 連続プリント中に "ノズル詰まり"と判定された場合、次のプリント は開始されません。 |

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. ノズルリカバリーが適用されないプリント条件があります。



 ノズルチェックを実行中にエラーが発生した場合、次のプリントを自動で停止して、[印刷中 チェック]が "OFF"に変更されます。エラーを解消したら、[印刷中チェック]を手動で"ON"に設 定してください。

5.5 情報メニュー

本機の各種情報を確認することができます。

● メニュー 一覧

| 項目 | | 内容 |
|-----------|-------------|--|
| 使用状況 | ワイピング | ワイピングした回数が表示されます。 ・ 表示中に[FUNC2]キーを押すと、使用回数を初期化することができます。 |
| | 廃インクタ ンク | 廃インクタンクに溜まっている廃インク量の目安(%)が表示されます。 ・ 表示中に[FUNC1]キーを押すと、廃インク量を初期化することができます。 |
| | プリント長 | 累積されたプリント長さが表示されます。 |
| | プリント面 積 | 累積されたプリント面積が表示されます。 |
| | 使用時間 | 累積された電源オンの時間が表示されます。 |
| | UVランプ | 累積されたUVランプ照射時間が表示されます。 |
| バージョン | | 本機のファームウェア、その他のバージョンが表示されます。 |
| インク交換レポート | | インクの履歴をプリントします。 |
| エラー履歴 | | エラー、ワーニングの履歴が表示されます。 ・ 発生順に発生日時とエラー、ワーニング情報をキー操作で切り替えて表示し ます。 |
| リスト | | 本機の情報をプリントすることができます。 |

5.6 カッティングメニュー

カッティング機能に関する各種オペレーションを設定することができます。

● メニュー 一覧

| | 項目 | 。 設定值 ^{*1} | 内容 |
|----------|------------------|-------------------------------|---|
| \vdash | ンボ検出 | - | プリントしたトンボの条件を入力します。 |
| | 検出 | ON / OFF | トンボ付きデータをカットする場合は、ONに設定します。 |
| | 形状 | タイプ1 / タイ プ2 / 余白なし トンボ | 3種類のトンボの形状から選択します。 ⁽²⁾ 「トンボについて」(P. 102) |
| | サイズ | 5 ~ 40 mm | トンボ1辺の長さ(B)を設定します。 線幅↓ トンボ長さ(B) 2027 「トンボの長さと線幅の目安」(P. 103) |
| | Xオフセット | -5.00 ~ 5.00 mm | トンボ原点の位置を変更します。カットが同一方向にずれてしまう 場合は、原点の位置を変更してください。 |
| | Yオフセット | -5.00 ~ 5.00 mm | トンボ:タイプ1 トンボ:タイプ2 |
| | トンボ検出END キー起動 | ON / OFF | ローカルモード画面で[END]キーを押すと、カッターユニットがプ ラテン上に移動して、トンボ検出ができるようになります。 |
| | センサー感度 | 1~7 | トンボセンサーの感度を変更します。通常は、"4"でお使いください。 ・ トンボが検出できないとき:感度を上げる。 ・ トンボを誤検出してしまうとき:感度を下げる。 |
| | 塗り潰しトンボ | ON / OFF | 弊社RIP用ソフトウェアの機能"トンボ周りを塗りつぶす"を設定した 場合、"ON"に設定してください。 |
| | 検出エリア | - | 自動でトンボを検出するエリアを設定します。 |

| | 項目 設定値 | | 設定值*1 | 内容 |
|--------------------------------|--------|-------------------------|---|---|
| | | | | トンボ自動検出経路 開始位置 スキャン方向 スキャン方向 1つ前のデータ終了位置 |
| | | スキャン方向 | DEFAULT / 0cm ~ 装置幅 | 自動で検出するスキャン方向の範囲を設定します。 ・ [DEFAULT]に設定すると、メディア幅の半分を検出します。 |
| | | フィード方向 | 10 ~ 50cm | 自動で検出するフィード(メディア送り)方向の範囲を設定しま す。 |
| | | Xオフセット | 0 ~ 100cm | 次のトンボの自動検出開始位置を設定します。 |
| カットモード <u>標準</u> / 高速 / 高品位 | | <u>標準</u> / 高速 / 高品位 | カッティングの品質を設定します。 標準:通常は、"標準"でお使いください。 高速:短時間でカッティングできます。重いメディアの使用には適していません 高品位:カッティング品質を優先して、速度が20cm / sに制限されます。以下のようなデータをカッティングする場合は、"高品位"を選択してください。 10mm以下の文字 鋭角部分が多いデータ 微細なデータ(ただし、データによっては、カットラインがギザギザになってしまうおそれがあります。その場合は"高速"に変更すると、滑らかなカットラインにすることができます) | |
| | Ľ- | - | - | 本機の受信バッファに保存されているデータを指定数カットさせる ことができます。 237 「直前のデータをコピーする」(P. 130) |
| | | ピー数 | 1 ~ 999 | コピーする枚数を入力します。 |
| | 閰 | 隔 | 0 ~ 30 mm | カットするデータの間隔を選択します。 |
| ッ | —J | レ交換 | - | ツールを交換するときに選択します。 ☞「カッティングツールを取り付ける」(P.86) |
| 設 | 定; | ナブメニュー | - | カッティングに使う便利な機能です。 |
| | ア | ップスピード | - | |
| | | アップスピー ドX | <u>AUTO</u> / 5 ~ 30 cm / s | ツールが上がっているときのメディアとキャリッジの移動速度を設 定します。 スピードを遅く設定すると、フィード方向のメディアずれを軽減で きます。 |
| | | アップスピー ドY | <u>AUTO</u> / 5 ~ 30 | ツールが上がっているときのメディアとキャリッジの移動速度を設 定します。 |
| | 捨 | て切り | <u>ON</u> / OFF | メディア検出後や、ツールタイプが変更されたときなどに、メディ アを切って刃先が一定方向に向くようにします(カッターユニット から左右のメディア端に近い方のピンチローラの手前で捨て切りを します)。 |

| | 項目 | 設定值 ^{*1} | 内容 |
|--------|---------------|----------------------------|---|
| | | | ビンチローラー 捨て切り メディアを傷つけたくないときや抜き文字をカットするときは、 OFFに設定してください。テストカットをすると刃先方向を合わせ ることができます。 (2) 「テストカットをする」 (P.95) ツール条件に"PEN"を選択しているときは、実行されません。 |
| シ | ート設定 | <u>普通</u> /重い | セットするメディアの重さを設定します。 |
| 補 ト | 正圧オフセッ | -9 ~ <u>0</u> ~ 9 | 角をカットしたときに、メディアがめくれないように圧力(5g程 度)を下げてカットしています。そのため刃先がスムーズに回転で きずに角に切り残しが発生することがあります。角に切り残しがあ る場合は、角をカットするときの圧力を調整します。 |
| 吸 | 着ファン | <u>弱</u> / 標準 / 強 / OFF | カッティング中のメディアを吸着する強さを設定します。 通常は"弱"で使用してください。 |
| オ | ーバーカット | <u>OFF</u> / 0.1~1.0mm | 開始点と終了点をオーバーラップさせて、メディアの切り残しをなくします。 237 「切り残しをなくす」(P. 130) |
| | コーナーカッ ト | ON / <u>OFF</u> | 開始点と終了点以外のコーナーもオーバーカットをします。 ☞「切り残しをなくす」(P. 130) |
| カ | ーブモード | FAST / SLOW | カットラインがよれてしまった場合、"SLOW"に設定します。よれ を防止することができますが、カッティング速度は低下します。 |
| 設 | 定リセット | - | 設定した内容を初期化します。 |
| メンラ | テナンス | - | |
| F | ンボセンサー | - | |
| | センサー チェック | - | トンボセンサーの反応を確認します。 ^② 『「トンボセンサーの位置を調整する」(P. 173) |
| | ポインタオフ セット | - | トンボセンサーとライトポインタの位置関係があっていないとき、 ライトポインタの位置を補正します。 23 「LEDポインターの位置を補正する」(P. 174) |
| サ | ンプルカット | - | 正常にデータをカットできない場合など、本機に保存されているサンプルをカットして、異常の原因を調べます。 |
| オ カ | ートメディア ット | - | 一定の長さにメディアを複数枚カットします。 |
| | カット間隔 | 10 ~ 10,000 mm | カットしたい長さを設定します。 |
| | 先端カット合 わせ | 0 ~ 500 mm | メディアの前端が斜めにカットされている場合などに、メディアの 前端を切り落とすことができます。カットしたい長さを設定しま す。 |
| | 回数 | 1 ~ 9,999 🗆 | カットしたいメディアの枚数を設定します。 |
| ス | ケール補正 | - | |
| | Y600dpi | - | トンボなし"プリント&カット"をする場合のメディア右側と左側でのスキャン方向のズレを補正します。 |

| 項目 | | 設定值*1 | 内容 |
|----|----------|-------|----|
| | Y1200dpi | - | |

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

直前のデータをコピーする

本機の受信バッファに保存されているデータを指定数(最大999枚)カットすることができます。

- 受信バッファには、直前にカッティングされたデータが1つ保存されています。新しいデータを受信すると、それまで保存されていたデータに上書きされます。
- コピー機能を実行する前に、原点を再設定してください。原点を再設定しないと、直前のデータに重なってカットされます。





分割カットデータは、分割せずに指定した枚数分カットします。

- 弊社カッティング用ソフト"FineCut"をお使いの場合は、"ヘッド送り方向の原点を更新する"の チェックを外してください(初期値はオフ)。チェックを入れると、直前のデータに重なって カットされます。
 - コンピューターからカットデータを送信するときは、5秒以上経過してから次のデータを送信 してください。5秒以内に次のデータを送信すると、2つのデータがコピーされてしまうおそれ があります。

切り残しをなくす

開始点と終了点をオーバーラップさせて、メディアの切り残しをなくすことができます。たわみやすいメ ディアなどで設定してください。設定値を大きくしすぎると、成果物までカットしてしまいますので、テス トカットをして確認しながら、設定値を変更してください。

• オーバーカット

カッティング開始点の手前から設定値分カットします。終了点では設定値分オーバーカットします。



• コーナーカット

オーバーカットに設定値を入力すると、コーナーカットが表示されます。開始点と終了点以外のコーナーもオーバーカットします。

| コーナーカット:OFF | コーナーカット:ON |
|-------------|------------|
| | |

第6章 メンテナンス



この章では...

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。 メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

| メンテナンスに関するご注意 | 134 |
|----------------|-----|
| メンテナンスの方法 | |
| メンテナンス項目とタイミング | 135 |
| インクのメンテナンス | 137 |
| ワイパーの清掃 | 137 |
| キャップゴムの清掃 | 139 |
| NCUの清掃 | 140 |
| キャリッジ底面の清掃 | 141 |
| ミストフィルターの清掃 | 142 |
| インク排出経路の洗浄 | 143 |
| メディアセンサーの清掃 | 144 |
| メディア押さえの清掃 | 145 |
| ジャムセンサーの清掃 | 145 |
| プラテンの清掃 | 146 |
| カバー(外装)の清掃 | 147 |
| 長期間使用しないときは | 147 |

| 消耗品の交換 | |
|---------------|-----|
| ワイパーの交換 | |
| キャップ吸収材の交換 | 151 |
| ミストフィルターの交換 | |
| LEDガラスの交換 | |
| 排気ファンフィルターの交換 | |
| ピンチローラーの交換 | |
| メディア押さえの交換 | |
| メディア裁断カッターの交換 | |
| 廃インクタンクの交換 | 159 |
| カッティング用カッター | |
| ペンラインの交換 | |
| インクボトルキャップの交換 | |
| | |

6.1 メンテナンスに関するご注意



定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧め します。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテンスしたり、消耗品を交換 したりしてください。

▲ 警告



・ 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまいます。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
 ・ エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につ ながるおそれがあります。

⚠注意

- UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。
 - 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、 換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの 液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

注記

- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。
 - ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維 がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。
 - カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
 - ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューから キャリッジアウトを実行してください。

6.2 メンテナンスの方法

メンテナンス項目とタイミング

UCJV300,150

| タイミング | 項目 |
|-------------------|--|
| 1日の作業が終わったと き | ワイパーとワイパーブラケットを清掃してください。 ⁽²⁸⁾ 「ワイパーの清掃」 (P. 137) |
| | ワイパークリーナーを清掃してください。 38 「ワイパーの清掃」 (P. 137) |
| | キャップゴムを清掃してください。 38 「キャップゴムの清掃」 (P. 139) |
| | NCUを清掃してください。 (2) 「NCUの清掃」 (P. 140) |
| | UV-LEDランプの底面を清掃してください。 ⁽²²⁾ 「キャリッジ底面の清掃」 (P. 141) |
| | キャリッジの底面を清掃してください。 (28)「キャリッジ底面の清掃」 (P. 141) |
| | ミストフィルター1 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。 ⁽²²⁾ 「ミストフィル ターの清掃」(P.142) |
| | メディアセンサーを清掃してください。 ^{CBP} 「メディアセンサーの清掃」 (P. 144) |
| | メディア押さえを清掃してください。 38 「メディア押さえの清掃」 (P. 145) |
| | ジャムセンサーを清掃してください。 387 「ジャムセンサーの清掃」 (P. 145) |
| 1週間の作業が終わった とき | ワイパーのインク受けのインク吸収材 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。 ^{公会} 「ワイパーの清 掃」(P. 137) |
| | ミストフィルター2 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。 28 「ミストフィル ターの清掃」 (P. 142) |
| | インク排出の経路を清掃してください。 38 「インク排出経路の洗浄」 (P. 143) |
| | プラテンを清掃してください。 🕸 「プラテンの清掃」 (P. 146) |
| | カバー(外装)を清掃してください。 ³²³ 「カバー(外装)の清掃」(P. 147) |
| | 廃インクタンクの廃インク量を確認してください。 |
| 汚れが目立つとき | 排気ファンフィルターを交換してください。 ⁽²⁾ 「排気ファンフィルターの交換」(P. 154) |
| | 排気ファンBOXを交換してください。 |
| 1週間以上使わないとき | ワイパーの清掃、キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了した後は、主電源は切らずに保管してください。 28 「長期間使用しないときは」(P. 147) |
| 定期的に | インクボトルを振ってください。 ⁽²⁾ 「インクのメンテナンス」(P. 137) |
| | インクボトルのキャップを交換してください。 ³²⁹ 「インクボトルキャップの交換」(P. 163) |

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html)にてご覧になれます。



・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

インクのメンテナンス

インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクボトルを振っていただくことをお勧めします。 UVインク:1か月に1回程度。

ホワイトインク:1日に1回程度。

インクボトルを振る

1 インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。

 インクボトルのフタをしっかりと締めて、推奨の不織布でインクボトルのフタを押さえて、イン クを流すように左右に振ってください。

繰り返す





- ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

ワイパーの清掃

ワイパーは、プリントヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取っています。汚れたまま使い続けると、 固まったインクやホコリの付着したワイパーがノズル面を傷つけて、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がり など)のおそれがあります。

0

クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。

- ▲ ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 正面カバーを開く。

4 ワイパーを外す。

• ワイパーブラケットの両端の突起を持って引き抜きます。



- 5 ワイパーとブラケットを清掃する。
 - メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。





• ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。 3 「ワイパーの交換」 (P. 150)

6 ワイパースライダーを清掃する。

メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



7 ワイパーを元の位置にセットする。



8 ワイパークリーナーを清掃する。

メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- ・ ワイパークリーナーのワイパーは、表面だけ清掃します。 裏面の清掃は必要ありません。
 - ワイパークリーナーは、ブラケットから取り外さないでください。
 - ・清掃が終了したあとに、ワイパークリーナーが上を向いていないことを確認してください。



• 1週間に1回、紙タオルなどを使い、インク受けの中のインクを吸い取ってください。インクが溢れるおそれがあります。





吸収材ケースの中の吸収材は、取り外さないでください。インクが溢れるおそれがあります。

清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

キャップゴムの清掃

キャップは、プリントヘッドのノズル面を乾燥から守る役割りがあります。汚れたまま使い続けると、イン クの吸引が正常にできなくなって、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)のおそれがあります。



q

クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。

キャリッジがプラテン上に移動します。

- 3 正面カバーを開く。
- ▲ キャップゴムを清掃する。
 - メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 清掃が終わったら、キャップスライダーの傾きを確認する。



6 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

NCUの清掃

NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。

クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。

- ▲ ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- **3** 正面カバーを開く。

4 NCUを清掃する。

メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

キャリッジ底面の清掃

キャリッジ底面は、ワイパーで拭き取ったインクが付着しています。汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

また、プリントヘッドは非常に微細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分な注意が必要です。



クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。

- ▲ ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。



▲ UV-LEDランプを清掃する。

メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- 5 プリントヘッド周辺を清掃する。
 - メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



6 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

ミストフィルターの清掃

ミストフィルターは、プリントヘッドからインク滴を吐出した際に発生するミストを吸収しています。汚れ たまま使い続けると、成果物を汚してしまう原因になります。



- ┃ ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 メンテナンスカバーを開く。



4 ミストフィルターを外す。

・ ツメを矢印の方向に押しながら、ツマミを手前に引いて外します。



- 5 フィルターを清掃する。
 - フィルターを外して、紙タオルなどで押さえて汚れを落とします。
 - フィルターケースに付着した汚れを拭き取ります。



フィルターについたインクが液状化するなど、汚れがひどい場合は、フィルターを交換してください。
 (3) 「ミストフィルターの交換」(P.152)



- 6 ミストフィルターを元の位置にセットする。
- 7 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

インク排出経路の洗浄

キャップ下のインク排出経路のインク詰まりを防止するため、定期的にインク排路の洗浄をしてください。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
 - ・ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。
- 3 正面カバーを開く。
- ▲ キャップいっぱいにメンテナンス液を満たす。
 - スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たして ください。



5 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

・ ポンプチューブ(キャップ下のインク排出経路)の洗浄を開始します。

メディアセンサーの清掃

背面側のリアカバーとキャリッジ底面に、メディアセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがた まると、メディアの誤検出の原因になります。綿棒や柔らかい布で取り除いてください。



- キャリッジ底面のセンサーを清掃するときは
 - 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
 - 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
6

3 メンテナンスカバーを開く。



- **4** メディアセンサーを清掃する。
- 5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

メディア押さえの清掃

・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につ ながるおそれがあります。

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着した ホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。





汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

ジャムセンサーの清掃

キャリッジ右側のUV-LEDユニット側面に、ジャムセンサーユニットが付いています。センサーユニットに インク汚れやホコリがたまると、メディアジャムの原因になります。紙タオル等で清掃してください。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

145

キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 正面カバーとメンテナンスカバーを開く。



- **4** ジャムセンサーユニットを清掃する。
 - ジャムセンサー下部を重点的に、正面カバー側とメンテナンスカバー側の両方から清掃してください。
 - メンテナンス液を含ませた紙タオルで、付着したインクやホコリを拭き取ります。清掃後は、メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

プラテンの清掃

主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。

 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につ ながるおそれがあります。 汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着した ホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。



・メディア押さえをスライドする溝やメディアを裁断する溝は、ゴミがたまりやすい場所です。
 丁寧にゴミを取り除いてください。



カバー(外装)の清掃



本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。





• 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。

事前に確認してください

[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか?

洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクを吸引します。このとき、エラーが発生していると洗浄ができません。新しいインクに交換してください。

- ▲ ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [保管洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 正面カバーを開く。

- ▲ ワイパーとブラケットを清掃する。
 - 27 「ワイパーの清掃」 (P. 137)
- 5 清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ディスプレイに"キャップクリーニング 終了 次へ [ENT]"と表示されます。
- 6 キャップゴムを清掃する。
 - ・ (27 「キャップゴムの清掃」 (P. 139)
- 7 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。
- **8** キャップいっぱいにメンテナンス液を満たす。
 - スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たして ください。



- Q ④ ⑦を押して、放置時間を入力する。(FW バージョン3.2以降より対応)
 - ・ 放置時間の推奨時間は1分です。

10 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- プリントノズルの洗浄を開始します。ディスプレイに経過時間が表示されます。
- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。
- ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。
- 11 正面カバーを開く。
- 12 キャップいっぱいにメンテナンス液を満たす。
 - スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たして ください。



- **13** 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ポンプチューブ(キャップ下のインク排出経路)の洗浄を開始します。



主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能(ノズル詰ま り防止機能やインク排出経路の清掃機能など)が実行することができません。吐出不良(ノズ ル詰まり、飛行曲がりなど)の原因になります。



- プラテン上にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアが波打つ原因になります。
- 本機を使用しないときは、クランプレバーを上げて<u>ピンチローラーとグリットローラーを離してく</u> ださい。
- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常に フィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチ ローラー跡が残る原因になります。



ディスプレイに"廃インクタンク確認"が表示されたら、以下を実施してください。
 (ア)「廃インクタンクの交換」(P. 159)

6.3 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html)にてご覧になれます。



• 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

消耗品を廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

ワイパーの交換

本機はワイピング回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに"ワイパー交換"が表示されます。ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。

- **1** ディスプレイに"ワイパー交換"が表示される。
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- ▲ 正面カバーを開く。
- 5 ワイパーを外す。
 - ワイパーブラケットの両端の突起を持って引き抜きます。



- 6 ワイパースライダーを清掃する。
 - メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



7 新しいワイパーをセットする。



- 8 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。
 - ワイパーの使用回数が初期化されます。

キャップ吸収材の交換

本機は使用回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに"キャップ吸収材交換"が表示されま

す。 (F/W ver.2.5以降より対応)

キャップ吸収材の汚れが激しいときや、メディアにボタ落ちなどがみられる場合も、新しいキャップ吸収材に交換してください。

- 1 ディスプレイにメッセージ"キャップ吸収材交換"が表示される。
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
 - ・ キャップ吸収材の使用回数が初期化されます。
- 4 主電源を切る。
- 5 正面カバーを開く。
- 6 キャップ吸収材を外す。
 - 手前のツメを押し上げて外します。





キャップ吸収材を外したときに、インクが垂れないように注意してください。

7 キャリッジベースを清掃する。



- 8 新しいキャップ吸収材をセットする。
 - Cスライダーの奥側のスリットにキャップ吸収材のツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。



9 交換が終わったら、ワイパーを手動で奥に戻す。

10 正面カバーを閉めて、電源を入れる。

キャリッジがステーションに戻ることを確認してください。

ミストフィルターの交換

ミストフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

- ▲ ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

6

3 メンテナンスカバーを開く。



- ▲ ミストフィルターBOXを外す。
 - ツメを矢印の方向に押しながら、矢印の方向にスライドさせて外します。



- 5 新しいミストフィルターに交換する。
- 6 ミストフィルターBOXをセットする。
 - カチッと音がするまで挿し込んで、ツメが固定されたことを確認してください。
- 7 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

LEDガラスの交換

インクが硬化して汚れているときは、新しいLEDガラスに交換してください。

- ▲ ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 メンテナンスカバーを開く。



▲ LEDガラスを外す。

- ・ ツメを外してから、矢印の方向にスライドさせて外します。
- ・ ツメを外すときに、力を入れすぎないようにご注意ください。ツメが折れてしまうおそれがあります。



- 5 新しいLEDガラスをセットする。
 - カチッと音がするまで挿し込み、ツメが固定されたことを確認してください。



6 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

排気ファンフィルターの交換

排気ファンフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

- **1** 排気ファンBOXを外す。
 - 手前のツメを押して外します。





・ 排気ファンBOXの汚れが激しいときは、新しい排気ファンBOXに交換してください。

- **2** 排気ファンBOXに新しい排気ファンフィルターをセットする。
 - ・ 排気ファンBOXのツメのすき間に排気ファンフィルターを挿し込みます。



- 3 排気ファンBOXをセットする。
 - 本機のスリットに排気ファンBOXのツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。

ピンチローラーの交換

ピンチローラーに摩耗や汚れがみられる場合は、新しいピンチローラーに交換してください。

- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。
- 1 正面カバーを開く。
- **2** クランプレバーを上げる。

3 ピンチローラを固定している0リングを外す。





部品が小さいので、すき間に落下させないように注意してください。

▲ PR軸を外す。



- 5 新しいピンチローラーをセットして、0リングで固定する。
- 6 正面カバーを閉める。

メディア押さえの交換

メディア押さえが変形して、キャリッジやプリントヘッドに接触する場合は、新しいメディア押さえに交換 してください。



主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

1 メンテナンスカバーを開く。



2 側面のネジを外して、メディア押さえストッパーを外す。



3 メディア押さえを外す。



- 4 メディア押さえから、スライダーを外す。
 - ・ 外したスライダーは紛失しないように注意してください。



6

5 新しいメディア押さえに、スライダーをセットする。

• メディア押さえの突起にスライダーの穴を引っ掛けます。



6 プラテンに新しいメディア押さえをセットする。



7 メディア押さえストッパーをネジで固定する。



8 メンテナンスカバーを閉める。

メディア裁断カッターの交換

刃先が欠けたり切れ味が悪くなってきたら、新しいカッターに交換してください。



- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [カッティング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - カッティングメニューが表示されます。
- 2 [ツール交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - カッターユニットがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

・ カッターユニットを手動で移動できます。交換しやすい位置にゆっくり移動させてくだ
 さい。

▲ メディア裁断カッターを交換する。

- (1) カッターのネジを緩める。
 マンクーのネジを緩める。
 マンクーのネジを緩める。
 マンクーを外す。
- (3) 新しいカッターをセットする。
- (4) ネジを締めて固定する。
- 5 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクの交換

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機右下にある廃インクタンクにたまります。

本機はインクの排出量をカウントして、規定値になるとディスプレイに"廃インクタンク確認"が表示されます。廃インクタンクを交換する目安としてお使いください。

| 2Lタンクの容量が80%(1.6L)が規定値です。 廃インクを廃棄せずに使い続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。1週間に1回を目安に、廃インクタンクの液量を目視でご確認頂くことをお勧めいたします。 |
|---|
| インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、 換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの 液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目やロの中に入ったりするおそれがあります。 |
| |

メッセージ"廃インクタンク確認"が表示されたら

- 1 ディスプレイに"廃インクタンク確認"が表示される。
- 2 廃インクタンクの中の廃インク量を確認する。
 - ・ 実際の量と誤差がある場合は、次の手順に進んでください。
 - 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換(廃棄処分)する場合は、 (空) 「廃インクタンク を交換する」 (P. 160) を実施してください。
- 3 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 4 [廃インクタンク交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ディスプレイに"廃インクタンク交換 level: 80%(1.6L)"と表示されます。
- 5 ④ ⑦を押して、レベルを調整する。
- 6 調整が終わったら、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクを交換する

- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 ・メンテナンスメニューが表示されます。
- **2** [廃インクタンク交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ディスプレイに"廃インクタンク交換 level: 80%(1.6L)"と表示されます。
- 3 廃インクタンクのカバーを開く。



▲ 廃インクタンクの取っ手を持ち、スライドさせて外す。



5 取り外した廃インクタンクにキャップをはめて、テープなどを使用して廃インクが漏れないように 処理する。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した 容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地 方自治体の条例に従って処理してください。
- 6 新しい廃インクタンクをセットする



7 廃インクタンクのカバーを閉じる。



8 [ENTER]キーを押す。

• 廃インク排出量が初期化されます。

カッティング用カッター

刃先が欠けたり切れ味が悪くなってきたら、新しいカッターに交換してください。

・ カッターの刃先を触らないでください。ケガをするおそれがあります。
 ・ カッティングホルダーは振らないでください。刃先が飛び出すおそれがあります。

カッター交換方法

(空「カッティングツールを取り付ける」(P.86)

ペンラインの交換

以下のペンラインを使用することができます。

- ペンラインゴム
 ペン書き、もしくはカッティングをするときに使用します。
- ペンラインスポンジ
 ハーフカット(点線カット)するときに使用します。

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。

| 品名 | 品番 |
|----------------------|----------|
| ペンラインゴム300/150-160 | SPC-0770 |
| ペンラインゴム300/150-130 | SPC-0771 |
| ペンラインゴム150-107 | SPC-0772 |
| ペンラインゴム150-75 | SPC-0773 |
| ペンラインスポンジ300/150-160 | SPC-0775 |
| ペンラインスポンジ300/150-130 | SPC-0776 |
| ペンラインスポンジ150-107 | SPC-0777 |
| ペンラインスポンジ150-75 | SPC-0778 |

その他の消耗品は、弊社ウェブサイトにてご覧になれます。https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html

1 正面カバーを開く。

2 ピンセットなどで、ペンラインの端を剥がす。

・ プラテンの溝に糊が残っている場合は、アルコールで拭き取ってください。



- **3** プラテンの溝に両面テープを貼る。
 - 両面テープの台紙を剥がしてください。
- ▲ 両面テープにペンラインを貼り付ける。
 - 平らになるように貼ってください。
- 5 正面カバーを閉める。

インクボトルキャップの交換

1年を目安に交換してください。交換方法は⁽²²⁾「インクを交換する」(P.45)を参照してください。

インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、
 換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの
 液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。







この章では…

故障かなと思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示されるメッセージの対処方法な どについて説明しています。

| 故障かな?と思ったときは | 166 |
|------------------|-----|
| 電源が入らない | 166 |
| プリントできない | 166 |
| メディア詰まり、メディアが汚れる | 166 |
| 画質不良が発生した | 167 |
| インクが漏れた | 172 |
| 遮光カバーが外れてしまった | 172 |

| カッティング関連 | 172 |
|----------------|-----|
| メッセージを表示するトラブル | 178 |
| ワーニングメッセージ | 178 |
| インクエラー | |
| エラーメッセージ | 181 |
| SYSTEM HALT | |

7.1 故障かな?と思ったときは

故障かなと思ったときは、本章を参照して対処してください。また、本機に関するよくあるご質問やサポート動画などは、弊社ウェブサイト(https://japan.mimaki.com/support/)にてご覧になれます。

対処しても正常に戻らない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせく ださい。

電源が入らない

| 確認すること | 対処方法 |
|--|--|
| 本機とコンセントが電源ケーブルで 接続されていますか? | 電源プラグの刃を根元まで挿し込んでください。 28 「電源ケーブ ルを接続する」 (P.36) |
| 付属の電源ケーブルを使用していま すか? | 付属の電源ケーブルを使用してください。 |
| 主電源が入っていますか? | 主電源を入れてください。 ^{公会} 「電源を入れる」(P.36) |
| 操作パネルにある、[END/POWER] キーがオンになっていますか? | 電源を入れてください。 (27)「電源を入れる」 (P.36) |

プリントできない

| 確認すること | 対処方法 |
|--|--|
| USBインターフェイスケーブルが、 接続されていますか? | USB2.0ポートに、根元まで挿し込んでください。 ⁽²²⁾ 「USBケーブ ルを使う」(P.38) |
| LANケーブルが、接続されています か? | LANポートに、根元まで挿し込んでください。 ^{公会} 「LANケーブルを使う」(P.38) |
| 弊社指定のLANケーブルを使用して いますか? | LANケーブルの種類を確認してください。 ^{公会} 「LANケーブルを使う」(P. 38) |
| 操作パネルにあるステータスランプ が、赤色に点滅/点灯していません か? | エラーが発生しています。ディスプレイのメッセージを確認してく ださい。 ^公 で「操作パネル」(P.32) |

メディア詰まり、メディアが汚れる

| 確認すること | 対処方法 |
|-----------------------------|---|
| 弊社が推奨しているメディアを使用 していますか? | 推奨メディアを使用してください。https://japan.mimaki.com/supply/ inkjet.html |
| カールしてるメディアを使用してい ませんか? | カールのきついメディアや、先端が折れ曲がっているメディアは使わないでください。 |
| メディアが斜行していませんか? | 巻き取りユニットを使用してください。もしくはメディアを再セットしてください。 (愛)「メディアをセットする」 (P.61) |

| 確認すること | 刘処方法 |
|-----------------------------|--|
| メディアが波打ったり、浮いたりし ていませんか? | ロールメディアの場合、波打っていない面までフィードしてから、 お使いください。また付属されているNITOFLON [®] (ニトフロン) テープをプラテンに貼ることで改善することができます。 |

画質不良が発生した

| 現象 | 対処方法 |
|--|--|
| ロスジ、カスレ、色の濃いスジが発 生する (キャリッジスキャン方向) | 1. メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。 (空「メディア押さえの清掃」 (P. 145) (空「プラテンの清掃」 (P. 146) |
| | 2. 2 「ヘッドクリーニングをする」 (P.73)を実施してください。 |
| | 3. (2) 「ワイパーの清掃」(P. 137)を実施してください。 4. (2) 「ワイパーの清掃」(P. 137)を実施してください。 |
| | 5. 28 「キャップゴムの清掃」(P. 139)を実施してください。 6. 28 「キャリッジ底面の清掃」(P. 141)を実施してください。 |
| 文字がメディアフィード方向に2 重、3重にズレが発生する | 1. ⁽²⁾ 「フィード補正をする」(P. 74)を実施してください。 |
| 往復プリントでズレが発生する | 1. 3 「ドット位置補正をする」 (P.76)を実施してください。 |
| プリント中にインク滴が落ちる | 1. (2)「ワイパーの清掃」(P.137)を実施してください。 2. (2)「キャップゴムの清掃」(P.139)を実施してください。 3. (2)「キャリッジ底面の清掃」(P.141)を実施してください。 4. (2)「ヘッドクリーニングをする」(P.73)を実施してください。 5. オートメンテナンスを設定してください。(2)「メンテナンスメニュー」(P.117) |
| ノズル詰まりを解消したい | 2. ②「ヘッドクリーニングをする」(P.73)を実施してください。 2. ③「プリントヘッドのノズル洗浄」(P.167)を実施してください。 3. [MENU] > [メンテナンス] > [インク充填]を実施してください。 4. ③「ワイパーの交換」(P.150)を実施してください。 5. ③「ノズルリカバリーを登録する」(P.118)を実施してください。 |

プリントヘッドのノズル洗浄

ヘッドクリーニング(^{CGP}「ヘッドクリーニングをする」(P.73))を実行しても、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)が直らないときは、プリントヘッドのノズル洗浄をしてください。

▲ ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [ノズル洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

キャリッジがプラテン上に移動します。

- 3 正面カバーを開く。
- ▲ ワイパーとブラケットを清掃する。
 - @ 「ワイパーの清掃」 (P. 137)
- 5 清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ディスプレイに"キャップクリーニング 終了 次へ [ENT]"と表示されます。
- 6 キャップゴムを清掃する。
 - CP 「キャップゴムの清掃」 (P. 139)
- 7 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。
 - ・ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。
- **8** キャップいっぱいにメンテナンス液を満たす。
 - スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たして ください。



- **9** ⑦を押して、放置時間を入力する。(FW バージョン3.2以降より対応)
 - ML007洗浄液をお使いの場合: 推奨時間は1分
 - ML016洗浄液をお使いの場合:ノズル状態に応じて5~10分浸漬し、復旧しない場合は時間を伸ばしてください。

10 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- プリントノズルの洗浄を開始します。ディスプレイに経過時間が表示されます。
- ・ プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。



ノズル洗浄を何回か繰り返しても、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)が直らないときは、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

インクが混色した



 インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、 換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの 液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

- ▲ ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [空気抜き]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 空気抜きをしたいヘッドにチェックを入れる(UCJV150 シリーズは、選択できません)。
 - ・ チェックが付くと、空気抜きの対象ヘッドとなります。
 - ・ 300シリーズでは、ヘッド1と2を同時に選択することができます。

| インクセット | Head 1 | | | Head 2 | | | | |
|---------|--------|---|---|--------|----|----|---|---|
| 4色 | С | М | Y | К | Y | K | М | С |
| 6色+W | С | М | Y | K | Lm | Lc | W | W |
| 4色+CL+W | С | М | Y | K | CL | CL | W | W |
| 4色+W | С | С | М | М | Y | К | W | W |

▲ [ENTER]キーを押す。

• ワイパー上に対象ヘッドが移動します。

5 正面カバーを開く。

- 6 キャリッジ正面のフタを開く。
 - ネジを外してから、ゆっくりフタを開けてください。



7 対象となるポートのキャップを外す。

- ヘッド1と2を同時に選択した場合は、ディスプレイの右上に表示されるヘッドのポートに付いているキャップを外してください。
- ・ キャップは反時計まわりに30°程度回してから外してください。
- キャップを外しても、インクがあふれ出すことはありません。
- 外したキャップにはインクが付着しています。周囲を汚さないよう、ペーパータオルなどの上に置いてください。
- プリントヘッドごとに空気抜きをします。ヘッド1の空気抜きを実行するときは、ヘッド2の キャップを外さないでください。



| モデル | インクセット | Head 1 | Head 2 |
|---------|--------------|------------|--------|
| UCJV300 | 4色 | C Y | Y M |
| | :CMYK YKMC | M K | K C |
| | 6 色+W | C Y | Lm W |
| | :CMYK LmLcWW | M K | Lc W |
| | 4色+CL+W | C Y | CL W |
| | :CMYK CLCLWW | M K | CL W |
| | 4色+W | C M | Y W |
| | :CCMM YKWW | C M | K W |
| UCJV150 | 4色:CMYK | C Y M K | なし |

8 ポートに治具を接続する。

・ キャリッジ正面のフタを持ち上げて、治具を引き出してください。



・ 治具の先端をポートに押し込み、時計方向へ30°回転させてください。



- 9 [ENTER]キーを押して、"空気抜き"を開始する。
- 10 治具のチューブ内に、インクが流れてきているかどうかを確認する。
 - ・ 混色、空気の混入がなくなるまで"空気抜き"をしてください。終了するときは、治具を外してから[ENTER]キーを押してください。
 - 30秒経過すると自動で"空気抜き"を停止します。続けて"空気抜き"を実行したいときは、[リトライ]を選択してください。



- 11 他の対象となるポートも同様に実行する。
- 12 "空気抜き"が終了したあとに、[ENTER]キーを押す。
- 13 ポートから冶具を外す。
 - 反時計方向へ30°回転させて、冶具を外してください。
- 14 ポートにキャップを付ける。



治具の先端を垂直に持ち上げて、チューブ内のインクを流してください。治具のチューブ内にインクが残っていると硬化するおそれがあります。

15 キャリッジ正面のフタを閉める。

16 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- 自動でクリーニングを実行します。
- ヘッド1と2を同時に選択した場合は、ディスプレイの表示にしたがって、同様に"空気抜き"を実施してください。

インクが漏れた



インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

遮光カバーが外れてしまった

遮光カバーが外れたまま放置すると、タンク内部に光が射し込み、インクが硬化するおそれがあります。 遮光カバーが外れたときは、次の手順で取り付けてください。

1 遮光カバーの片方の突起をタンクの穴に挿し込む。



2 手順1で挿し込んだ穴の方に押しながら、もう一方の突起を挿し込む。



カッティング関連

| 現象 | 対処方法 |
|------------|--|
| カットの位置がずれる | トンボのセンサーに問題があると考えられます。オペレーション操作をして、センサーの反応を確認します。手動でトンボセンサーの反応を確認することができません。 |
| カッティングできない | 本機に保存されているサンプルをカットして、原因を調べます。サンプル カットを実行すると、受信バッファに保存されているデータは消去されま す。 |

| 現象 | 対処方法 |
|---|--|
| | 27 「カッティングができない原因を調査する」(P. 175) |
| "プリント&カット"すると、プ リントとカットがずれる | 弊社RIP用ソフトウェア(RasterLink)を使って、補正パターンをプリントします。補正パターンを確認して、手動で補正値を入力します。 ³²³ 「プリントとカットのずれを補正する」(P. 175) |
| "プリント&カット"すると、ス キャン方向のプリントとカッ トがずれる | 補正パターンをプリントして、自動で補正します。 メディアをセットする。 補正パターンをプリントするので、白いメディアを準備してください。 ローカルモード画面から[MENU] > [カッティング]を選択して、[ENTER]キーを 押す。 カッティングメニューが表示されます。 [メンテナンス] > [スケール補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。 確認画面が表示されたら、[ENTER]キーを押す。 補正パターンをプリントして、自動で補正します。 |

トンボセンサーの位置を調整する

- 1 トンボがプリントされたメディアを準備する。
 - ⁽²²⁾「トンボを作成する」(P. 102)
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [カッティング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - カッティングメニューが表示されます。
- 3 [メンテナンス] > [トンボセンサー] > [センサーチェック]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - カッティングユニットがプラテン上に移動します。
- ▲ ④ ● を押して、LEDポインターを移動する。



- 5 プリントした"トンボの条件"を登録する。
 - (27)「トンボ検出の条件を設定する」(P. 107)
 - 登録した"トンボの条件"は、[カッティング] > [トンボ検出]に保存されます。電源を切っても、設定値は保存されています。

6 [ENTER]を押して、検出動作を開始する。

• 自動でX方向、Y方向の線分を検出します(自動検出動作:Xプラス方向 > Xマイナス方向 > Yプラ ス方向 > Yマイナス方向)。



・線分を検出するごとにブザーが鳴ります(計4回)。ブザーが鳴らなかった場合(計4回)は、以下を参照してください。
 (2)「LEDポインターの位置を補正する」(P. 174)

LEDポインターの位置を補正する

トンボが正しく読めなくなった場合、トンボセンサーの位置が合っていないことが考えられます。以下を参照して、トンボセンサーの位置を補正してください。

- 1 ツールホルダーにペンを取り付ける。
 - (27)「ペンを使う」 (P.90)
- **2** コピー用紙をセットする。
- 3 ローカルモード画面から[MENU] > [カッティング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - カッティングメニューが表示されます。
- ▲ [メンテナンス] > [トンボセンサー] > [ポインタオフセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - 10mmの十字パターンをペン書きされます。
 - ・LEDポインターが点灯して、十字パターンの中央に移動します。
- 5 ④ ⑦ ④ ●を押して、十字パターンの中心にLEDポインターを移動する。



6 [ENTER]キーを押して、終了する。

• [設定リセット]をしても、設定値は保存されています。

7 再度、以下を確認する

- 27 「トンボセンサーの位置を調整する」(P. 173)
- 4回ブザーが鳴らなかった場合は、プリントされているトンボの条件を確認の上、販売店または弊 社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

カッティングができない原因を調査する

- ▲ ローカルモード画面から[MENU] > [カッティング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - カッティングメニューが表示されます。
- 2 [メンテナンス] > [サンプルカット]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 サンプルデータを選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ サンプルデータは、"Cut"と"Logo"の2種類があります。

- ・ "Cut"を選択した場合は、[ENTER]キーを押すとカットが開始されます。
- ・ "Logo"を選択した場合は、以下を参照してください。

 - (2) [ENTER]キーを押して、カットを開始する
 - [設定リセット]をしても、設定値は保存されています。
- サンプルカットの結果について
- サンプルデータはカットすることができるが、他のデータはカットすることができない。
 ホストコンピュータ側に問題があります。
- サンプルデータと他のデータの両方カットすることができない。
 - プリンター側に問題があります。補正圧オフセットメニューから、圧力を上げてください。
 「カッティングメニュー」(P. 127)

プリントとカットのずれを補正する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア(RasterLink)を使って補正パターンをプリントします。"プリント& カット"する場合、スキャン(Y)方向の解像度ごとに補正が必要です(補正した値は解像度ごとに保存され ます)。解像度ごとにプリントしてから補正値の入力をしてください。

- ▲ 本機をリモートモードにする。
- **2** RasterLink から、プリントしたいジョブの"プリント条件(プロファイルやカット条件など)"を設定する。

• 画面右の機能アイコンから、以下を設定します。

🐙 (通常印刷) :拡大や縮小、回転など各種設定します。

 ①
 ①
 ①
 ①
 ①
 ①
 ①
 ①
 ①
 二
 本機にセットしているメディアやインクセットに合ったカラープロファイルを 選択します。
 ③
 ②
 ③
 ⑦
 ③
 ⑦
 ③
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦
 ⑦



 詳しくは、"RasterLink"のリファレンスガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/ download/software.html 3 🖑 (通常印刷)の[カット編集]タブにある[プリント&カット原点調整] をクリックする。



 (重要!・トンボなしの場合とトンボありの場合で、数値の入力単位が異なりますので注意してください。

トンボなしの場合

1 [OK]をクリックして、補正パターンをプリントする。



- 2 リモートモード画面から[ADJUST]を選択する。
- 3 [PC 原点オフセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - 補正パターンをカットします。カットされた部分をはがして、補正値を確認します。

 x
 13
 12
 11
 10
 9
 8
 7
 6
 5
 4
 3
 2
 1
 0
 -1
 -2
 -3
 -4
 -5
 -6
 -7
 -8
 -9
 -10
 -11
 -12
 -13
 X

 13
 12
 11
 10
 9
 8
 7
 6
 5
 4
 3
 2
 1
 $\hat{\mathbf{Q}}$ -1
 -2
 -3
 -4
 -5
 -6
 -7
 -8
 -9
 -10
 -11
 -12
 -13
 X

 Y
 13
 12
 11
 10
 9
 8
 7
 6
 5
 4
 3
 2
 1
 $\hat{\mathbf{Q}}$ -1
 -2
 -3
 -4
 -5
 -6
 -7
 -8
 -9
 -10
 -11
 -12
 -13
 X

 Y
 13
 12
 11
 10
 9
 8
 7
 6
 5
 4
 3
 2
 1
 $\hat{\mathbf{Q}}$ -1
 -2
 -3
 -4
 -5
 -6
 -7
 -8
 -9</th

- 4 上下のずれが一番小さい位置の数値を入力する。
 - ・ 以下イラストでは、"-4"を入力します。



- 5 左右のずれが一番小さい位置の数値を入力する。
 - ・ 以下イラストでは、"2"を入力します。



トンボありの場合

1 [トンボを付加する]にチェックを入れる。



- **2** [OK]をクリックして、補正パターンをプリントする。
- 3 リモートモード画面から[ADJUST]を選択する。
- ▲ [トンボオフセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - トンボを検出してから、補正パターンをカットします。カットされた部分をはがして、補正値を 確認します。



- 5 上下のずれが一番小さい位置の数値を入力する。
 - ・ 以下イラストでは、"-4"なので、"-0.4mm"を入力します。



- 6 左右のずれが一番小さい位置の数値を入力する。
 - ・ 以下イラストでは、"2"なので、"0.2mm"を入力します。



7.2 メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。 ローカルガイダンスでも確認することができます。³²⁹「本機の情報を表示する(ローカルガイダンス)」 (P. 35)

メッセージの内容に応じて、対処してください。記載されている処置をしても、再度メッセージが表示され る場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

ワーニングメッセージ

| メッセージ | 原因 | 対処方法 |
|------------------------------|--|--|
| MOTOR POWER OFF | カバーを開けたあとなど 初期化動作によってモー ターが停止している。 | 初期化動作が終了するまでお待ちくだ さい。 |
| NCU インク吸収材交換 | インク吸収材の交換時期 になった。 | NCUのインク吸収材交換が必要です。 販売店、お近くの弊社営業所、または コールセンターにお問い合わせください。 |
| NCU エラー ノズルチェックOFF | ノズルチェック中にエ ラーが発生した。プリン トを停止して、ノズル チェック機能をOFF にし た。 | 販売店、お近くの弊社営業所、または コールセンターにお問い合わせくださ い。 |
| ノズル抜け検出 印刷停止しました | ノズル詰まりと判定して、プリントを停止した。 | クリーニング、またはノズルチェック 機能の条件を変更してください。再度 表示される場合は、ノズルリカバリー をしてください。 「ヘッドクリーニングをする」 (P. 73) 「ノズルチェックメニュー」 (P. 125) 「ノズルリカバリーを登録する」 (P. 118) |
| NCU交換 | ノズル詰まり判定に異常 を検出した。 | NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。 |
| NCU センサー感度低下 | センサー感度が低下して いる。 | NCUを清掃してください。⁽²⁾「NCU の清掃」(P. 140) |
| NCU 感度調整エラー H | センサー感度調整に失敗 | エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの |
| NCU 感度調整エラー L | した。 弊社営業所、また お問い合わせくだ | 弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。 |
| NCU接続異常 | NCUの接続に異常を検出 した。 | 主電源を切って、しばらくたってから 電源を入れてください。 る」(P.37) |
| NCU 検出エラー(HW) ノズルチェックOFF | ノズル詰まり判定に異常 を検出した。 | NCUを清掃してください。⁽²⁾「NCU の清掃」(P. 140) |
| NCU 検出エラー(マーク) ノズルチェックOFF | | |
| NCU センター位置検出エ ラー | • 吐出位置の調整に失敗し た。 | |

178

| メッセージ | 原因 | 対処方法 |
|-----------------------------|---|---|
| ノズルチェックOFF | | |
| NCU 吐出位置検出エラー ノズルチェックOFF | | |
| NCU SN調整エラー ノズルチェックOFF | センサー感度調整に失敗 した。 | |
| インクエラーあり | インクエラーが発生して いる。 | インクエラーの内容を確認してください。 い。 37 「インクエラー」(P. 180) |
| カバーオープン | • カバーが開いている。 | カバーを閉めてください。 |
| キャップ吸収材交換 | キャッピングのカウント 値が規定量を超えた。 | キャップ吸収材の交換と清掃をして、 カウント値を初期化してください。 「キャップ吸収材の交換」(P. 151) |
| クランプ レバー下げてくださ い | クランプレバーが上がっている。 | クランプレバーを下げてください。 「正面」(P.26) |
| プリントデータあり | ・プリント(RIP)データを 受信している。 | リモートモードに移行して、プリント してください。またはデータクリアを 実行して、プリントを中止します。 |
| プリントー時中断 | プリントを一時停止して いる。 | リモートモードに移行して、プリント を再開します。もしくはデータクリア を実行して、プリントを中止します。 |
| プリント不可/インクIC | 使用できないインクIC チップが使われている。 | 新しいインクとインクICチップに交換 してください。 |
| メディアがありません | メディアがセットされて いない。もしくはセン サーが故障している。 | メディアをセットしてください。 (27) 「メディアをセットする」 (P.61) メディアセンサーを清掃してください。 (27)「メディアセンサーの清掃」 (P.144) |
| メディアをセットしてくださ い | メディアがセットされて いない。もしくはセン サーが故障している。 | メディアをセットしてください。 28 「メディアをセットする」 (P.61) |
| メディア未検出 | メディア幅を検出してい ない。 | メディア幅を検出してください。 ⁽²⁾ 「メディアをセットする」 (P. 61) |
| ワイパー交換 | ワイピングのカウント値 が規定量を超えた。 | ワイパーを交換して、カウント値を初 期化してください。 換」(P. 150) |
| ワイパー動作不良 | ワイパーが正常に動作しない。 | "ワイパー"と"ワイパー周辺"を清掃してください。② 「ワイパーの清掃」(P. 137) 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。③ 「電源を切る」(P. 37) |
| 廃インクタンク交換 | ・廃インクタンクのカウン トが規定量(90%)を超 えた。 | オートメンテナンス機能が実行できません。以下を対処してください。 1. 廃インクタンクの排液量を確認してください。 1. 廃インクタンクの排液量を確認してください。(3) 「メッセージ"廃インクタンク確認"が表示されたら」(P. 160) 2. 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。(3) 「廃インクタンクを交換する」(P. 160) |
| 廃インクタンク確認 | 廃インクタンクのカウン トが規定量(80%)を超 えた。 | 廃インクタンクの排液量を確認してください。(28)「メッセージ(廃インクタンク確認)が表示されたら」(P.160) |

| メッセージ | 原因 | 対処方法 |
|--------------------------|---|--|
| | | 2. 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期 化してください。 (登) 「廃インクタンクを 交換する」 (P. 160) |
| 装置温度/高 ** °C | • 室内の温度が高い。 | 仕様の範囲内に室温を調節してください。範囲外の場合は、良好なプリント結果を得られないおそれがあります。 「設置上のご注意」(P.17) |
| 装置温度/低 ** [°] C | ・ 室内の温度が低い。 | |
| 空気抜きをしてください | インク経路内のインクの 硬化を防止するため、1 か月ごとにメッセージが 表示されます。 | 空気抜きをしてください。⁽²⁾「インク が混色した」(P. 169) |
| バッテリ交換 | 内臓時計の電池切れを検 出した。 | 販売店、お近くの弊社営業所、または コールセンターにお問い合わせくださ い。 |
| CLAMP UP | ・ クランプレバーを上げ た。 | クランプレバーを下げてください。 |

インクエラー

| メッセージ | 原因 | 対処方法 |
|-----------|---|--|
| インクエンド | インクがなくなった。 | 新しいインクに交換してください。 (2) 「インクエンドが表示されたとき」 (P. 44) |
| インク ニアエンド | インク残量が残りわずか になっている。 | 問もなくインクがなくなります。新し いインクを用意してください。⁽²²⁾「イ ンクニアエンドが表示されたとき」 (P. 44) |
| インクIC無し | • インクICチップがない。 | インクICチップをセットしてください。イ ンクICチップを挿し込む インクICチップが正しく挿入されているか どうかを確認してください。インクICチッ プを挿し込む 主電源を切って、しばらくたってから電源 を入れてください。公室「電源を切る」 (P. 37) |
| インクIC異常 | インクICチップの情報に エラーが発生した。 | インクICチップが正しく挿入されているか どうかを確認してください。インクICチッ プを挿し込む 主電源を切って、しばらくたってから電源 を入れてください。公室「電源を切る」 (P.37) 新しいインクに交換してください。公室 「インクを交換する」(P.45) |
| インク カラー | 充填されているインクカ ラーとインクICチップに 登録されているカラーが 異なる。 | 正しいインクカラーのインクICチップ をセットしてください。インクICチッ プを挿し込む |
| インク種類 | 充填されているインクタ イプとインクICチップに 登録されているタイプが 異なる。 | 正しいインクタイプのインクICチップ をセットしてください。インクICチッ プを挿し込む |
| メッセージ | 原因 | 対処方法 |
|-----------|--|---|
| 期限切れ | インクが期限切れになった。 | 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。 ふぞう「インクエンドが表示されたとき」(P.44) |
| 期限切れ(1か月) | インクが期限切れから、1 か月経過した。 | 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。 (2) 「インクエンドが表示されたとき」(P.44) |
| 期限切れ(2か月) | インクが期限切れから、2 か月経過した。 | 新しいインクに交換してください。プリントすることができません。 ゆう「インクエンドが表示されたとき」 (P.44) |

エラーメッセージ

| エラー番 号 | メッセージ | 原因 | 対処方法 | | |
|-----------|-------------------|---|--|--|--|
| 108 | HD THERMIS [1234] | プリントヘッド温度制御 に異常を検出した。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。³²⁷「電 | | |
| 108 | HD CONNECT [1234] | プリントヘッドの接続に 異常を検出した。 | 源を切る」(P. 37) | | |
| 108 | HD MEM EMP [1234] | プリントヘッドに異常を | | | |
| 108 | HD TYPE [1234] | 検出した。 | | | |
| 122 | CHECK:SDRAM | SDRAMに異常を検出し た。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 277 電 | | |
| 128 | HDC FIFO OVER | ・プリントヘッド制御基板 | 源を切る」(P. 37) | | |
| 128 | HDC FIFO UNDER | に異常を検出した。 | | | |
| 12a | HDC SPEED | プリントヘッド制御に異 | ・主電源を切って、しばらくたってか | | |
| 130 | HD DATA SEQ | 常を検出した。 | ら電源を入れてください。 (2) 「電源を切る」 (P.37) | | |
| 148 | E-LOG SEQ | ログの制御に異常を検出した。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 27 「電源を切る」(P.37) | | |
| 151 | Main PCB V1R2 | ・メイン基板の電源系統に | 主電源を切って、しばらくたってか | | |
| 152 | Main PCB V2R5 | 異常を検出した。 | ら電源を入れてくたさい。(2) 「電 源を切る」(P.37) | | |
| 153 | Main PCB V3R3 | | | | |
| 154 | Main PCB V05 | | | | |
| 155 | Main PCB V36-1 | | | | |
| 157 | Main PCB VTT | | | | |
| 158 | Main PCB V36-2 | | | | |
| 15f | HEAD DRIVE HOT | ・ COMドライブが高温に なっている。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。²³で「電 | | |
| 16e | Main PCB V3R3B | メイン基板の電源系統に 異常を検出した。 | 源を切る」(P. 37) | | |
| 171 | NEW HEAD CONNECT | 新しいプリントヘッドの 接続を認識した。 | | | |

| エラー番 号 | メッセージ | 原因 | 対処方法 | | |
|-----------|--------------------|---|--|--|--|
| 18a | Main PCB V_CORE | ・メイン基板の電源に異常 | ・主電源を切って、しばらくたってか | | |
| 18b | Main PCB V1R5B | を検出した。 | ら電源を入れてくたさい。 はず「電源を切る」 (P. 37) | | |
| 18c | Main PCB V12 | | | | |
| 18e | FLS NOT COMP | プリントヘッド制御に異 ウムキャレキ | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 | | |
| 18f | OFSET START | 市で快山した。 | ら電源を入れてくたさい。 42 「電源を切る」 (P. 37) | | |
| 18f | OFSET END | | | | |
| 19f | LED接続異常 | • UV-LED基板が認識できな い。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 27 「電源を切る」(P.37) | | |
| 1dc | Station4 PCB V24 | Station4基板の電源に異常 | ・主電源を切って、しばらくたってか | | |
| 1dd | Station4 PCB V24-A | を 検出した。 | ら電源を入れてくたさい。 公室 「電 源を切る」 (P. 37) | | |
| 1e6 | PRAM サイズ不足 | メモリーサイズが不足し ている。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 源を切る」(P.37) | | |
| 201 | コマンド エラー | プリント(RIP)データ以 外のデータを受信した。 | データクリアを実行して、再度データ を送信してください。 | | |
| | | もしくは受信したプリン ト(RIP)データに異常を 検出した。 | USBケーブルの接続を確認してください。 い。 です「USBケーブルを使う」 (P.38) | | |
| 202 | パラメータ エラー | ・ 受信したプリント(RIP) データに異常を検出し | 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。 の注意事項」(P.38) | | |
| | | | 4. 主電源を切って、しばらくたってから 電源を入れてください。(空)「電源を切 る」(P.37) | | |
| 206 | プリント モード エラー | プリントできないプリン ト条件のプリント(RIP) データを受信した。 | RIP用ソフトウェアで、出力条件や プロファイルを変更してください。 | | |
| 304 | USB INIT ERR | USBケーブルの接続に異 | 1. USBケーブルの接続を確認してくださ | | |
| 305 | USB TIME OUT | 常を検出した。 | い。 (2) 「USBクーノルを使う」 (P. 38) | | |
| | | | 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。 の注意事項」(P.38) | | |
| | | | 主電源を切って、しばらくたってから 電源を入れてください。(2)「電源を切 る」(P.37) | | |
| 307 | MCFDファイルIF エ ラー | プリント条件データへの アクセス中に異常を検出 した。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 287「電源を切る」(P.37) | | |
| 401 | モーターアラーム X | Xモーターに過大な負荷が かかった。 | メディアが正しくセットされているか どうかを確認してください。 ³² 「メ ディアをセットする」 (P 61) | | |
| 402 | モーターアラームY | Yモーターに過大な負荷が かかった。 | 2. 正面カバーを開けて、キャリッジの移 動に障害のあるものがないかどうかを | | |
| 403 | X オーバー カレント | Xモーターの過電流エラー を検出した。 | 確認してください。 3. 主電源を切って、しばらくたってから | | |
| 404 | Y オーバー カレント | Yモーターの過電流エラー を検出した。 | 電源を入れてくたさい。 (297) 電源を切る」 (P. 37) | | |

| エラー番 号 | メッセージ | 原因 | 対処方法 | | |
|-----------|-------------------|---|------|--|--|
| 406 | ワイパー動作不良 | ワイパー原点が検出でき なかった。 | 1. | ワイパーとワイパー周辺を清掃してく ださい。 ^{公会} 「ワイパーの清掃」 (P. 137) | |
| | | | 2. | 主電源を切って、しばらくたってから 電源を入れてください。 (28)「電源を切 る」 (P.37) | |
| 44e | UV ユニット ファン異 常 | ・ UV-LEDユニットのファン に異常を検出した。 | • | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 (28)「電源を切る」(P.37) | |
| 44f | 巻取ロール センサ異常 | 巻き取りユニットのセン サー軸に異常を検出し た。 | 1. | [マシン設定] > [繰出/巻取ユニット] > [巻取ユニット] が、[ON]に設定されて いるかどうかを確認してください。 | |
| | | | 2. | メディアのセット状態を確認してくだ さい。 ⁽²⁾ 「ロールメディアをセットす る」(P.63) | |
| | | | 3. | 巻き取りユニットのスイッチで動作す るかどうかを確認してください。 「巻き取りユニットについて」 (P. 61) | |
| 45a | P-HEAD切り離しエ ラー | キャリッジを切り離しで きなかった。 | • | 主電源を切って、しばらくたってか ら電源を入れてください。 28 「電 | |
| 45b | P-HEAD 接続エラー | キャリッジと接続できな かった。 | | 源を切る」(P. 37) | |
| 45c | C-HEAD切り離しエ ラー | カッターヘッドを切り離しできなかった。 | | | |
| 45d | C-HEAD 接続エラー | カッターヘッドと接続で きなかった。 | | | |
| 45e | PR/GR 位置確認 | ピンチローラーの位置に 異常を検出した。 | • | ピンチローラーの位置をグリット ローラーの上に配置してください。 | |
| 48a | 巻取不良検出 | 巻き取りユニットが巻き 取りできない。 | • | メディアのセット状態を確認してく ださい。 ^{CB} 「ロールメディアを セットする」(P.63) | |
| 505 | メディアジャム | メディアジャムセンサー が反応した。 | 1. | 接触したメディアを取り除き、きれい なメディアをセットし直してくださ い。 ^② 『メディアをセットする』 (P. 61) | |
| | | | 2. | 正面カバーを開けて、キャリッジの移 動に障害のあるものがないかどうかを 確認してください。 | |
| 509 | HDC POSCNT | 位置制御に異常を検出し た。 | • | 主電源を切って、しばらくたってか ら電源を入れてください。 28 「電 | |
| 50a | Y原点検出 | Y原点検出(初期化動作) に異常を検出した。 | | 源を切る」(P. 37) | |
| 50c | メディア幅センサー確 認 | メディア幅の検出に異常 を検出した。 | 1. | メディアのセット位置を確認してくだ さい。 ⁽²⁾ 「メディアをセットする」 (P. 61) | |
| | | | 2. | メディア幅センサーを清掃してくださ い。 ^② で「メディアセンサーの清掃」 (P. 144) | |
| 50f | L-SCALE BLACK | リニアスケールに異常を 検出した。 | • | 主電源を切って、しばらくたってか ら電源を入れてください。 (2 ²⁷ 「電 源を切る」 (P. 37) | |

| エラー番 号 | メッセージ | 原因 | 対処方法 |
|-----------|--------------------|---|---|
| 516 | メディア位置 右過ぎま す | メディアが範囲外にセットされている。 | メディアのセット位置を確認してください。(2)「メディアをセットする」(P. 61) メディア幅センサーを清掃してください。(2)「メディアセンサーの清掃」(P. 144) |
| 519 | 負圧センサー異常 | 負圧センサーの自動認識 に失敗した。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 28 「電 |
| 521 | 連結センサー異常 | カッターヘッドと連結ユ ニットの接続に失敗し た。 | 源を切る」(P. 37) |
| 522 | カットヘッド待機位置 | カッターヘッドと連結ユ ニットの接続に失敗した ため、カッターヘッドを 移動できなかった。 | |
| 523 | PRセンサー確認 | ピンチローラー位置の検 出に失敗した。 | |
| 525 | イオナイザー異常 | イオナイザーの内部回路 が破損したか、異常放電 が発生している。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 ³²「電源を切る」(P.37) |
| 526 | イオナイザー イオンレ ベル | 電極針の汚れや摩耗に よって、イオン発生量が 低下している。 | イオナイザー取扱説明書を参照して、電極針を清掃してください。 |
| 527 | イオナイザー コンディ ション | 周囲の金属によってイオ ンが吸収されるなど、設 置環境の不安定さから除 電能力に影響が出てい る。 | イオナイザーの近くに導体や別の除 電器がある場合は、導体や除電器を 遠ざけてください。 |
| 528 | ポンプモーター センサ | ポンプセンサー検出に異 常を検出した。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 27 「電源を切る」(P.37) |
| 549 | LEnc. Count DIO | DIO基板へのリニアスケー ル配線に異常を検出し た。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 27 「電源を切る」(P.37) |
| 551 | HDC DIO LENC count | HDC基板とDIO基板のエンコーダー値に異常を検出した。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 27 27 |
| 602 | インクボトルエンド | インクがなくなった。 | 新しいインクに交換してください。 (2) 「インクエンドが表示されたとき」(P.44) |
| 607 | キャップ吸収材交換 | キャッピングのカウント 値が規定量を超えた。 | キャップ吸収材の交換と清掃をして、カウント値を初期化してください。 い。 (P. 151) |
| 608 | インク IC異常 | インクICチップの情報に エラーが発生した。 | インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。インクICチップを挿し込む 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 (P. 37) |

| エラー番 号 | メッセージ | 原因 | 対処方法 |
|-----------|---------------------|---|---|
| | | | 3. 新しいインクに交換してください。 ⁽²⁾ 「インクを交換する」(P.45) |
| 61a | インクオーバーフロー | ・サブタンクのフロートセ ンサーがLimitを検出し た。 | ・ [メンテナンス] > [オーバーフローメ ンテ]を実施してください。 |
| 61b | インク供給 | サブタンクへのインク供給に失敗した。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 |
| 61d | 負圧維持不足 | 適正範囲の負圧を維持で きなくなった。(プラス 側) | 源を切る」(P. 37) |
| 61e | 負圧維持オーバー | 適正範囲の負圧を維持で きなくなった。(マイナ ス側) | |
| 620 | 正圧維持不足 | 適正範囲の正圧を維持で きなくなった。(マイナ ス側) | |
| 621 | 正圧維持オーバー | 適正範囲の正圧を維持で きなくなった。(プラス 側) | |
| 627 | インクボトル セット | 一定時間インクICチップ が読めない。 | インクICチップが正しく挿入されてい るかどうかを確認してください。 |
| | | | 2. 主電源を切って、しばらくたってから 電源を入れてください。(空)「電源を切 る」(P.37) |
| 64C | NCUエラー | 何らかのエラーにより機 能が実行できない。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 |
| 650 | NCU接続異常 | NCUの接続に異常を検出 した。 | 源を切る」(P. 37) |
| 651 | NCU交換 | ノズル詰まり判定に異常 を検出した。 | NCUの交換が必要です。販売店、 お近くの弊社営業所、またはコール センターにお問い合わせください。 |
| 652 | NCU 検出エラー (HW) | ノズル詰まり判定に異常 を検出した。 | NCUを清掃してください。 ⁽³⁷⁾ 「NCUの清掃」 (P. 140) |
| 653 | NCU 検出エラー(マー ク) | | |
| 654 | NCU センター位置検出 エラー | • 吐出位置の調整に失敗し た。 | |
| 655 | NCU 吐出位置検出エ ラー | | |
| 656 | NCU SN調整エラー | センサー感度調整に失敗 した。 | |
| 657 | NCU インク吸収材交換 | NCUのインク吸収材が満 杯になった。 | NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、 またはコールセンターにお問い合わせください。 |
| 658 | NCU センサー感度低下 | センサー感度が低下している。 | NCUを清掃してください。 ⁽²⁾ 「NCUの清掃」 (P. 140) |
| 65b | NCU感度調整エラー H | センサー感度調整に失敗 した。 | |

| エラー番 号 | メッセージ | 原因 | 対処方法 |
|-----------|------------------|---|---|
| 65c | NCU感度調整エラー L | | エラーが解消されない場合、NCU の交換をお勧めします。販売店、お 近くの弊社営業所、またはコールセ ンターにお問い合わせください。 |
| 707 | !HD ヒータ ダンセン | • ヘッドヒーター断線 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 ³²「電源を切る」 (P. 37) |
| 715 | インクヒータ サーミス タ | インクヒーターのサーミ スタに異常を検出した。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 (2) 「電 |
| 716 | インクヒータ温度 | | 源を切る」(P.37) |
| 717 | インクヒータ断線 | | |
| 71a | UV-DRV ヒューズ | ・ UV-DRV基板ヒューズが 切れた。 | |
| 901 | 実行できません | 何らかのエラーにより機 能が実行できない。 | エラーの内容を確認してください。 |
| 902 | 未作図 データ アリ | ・ プリント(RIP)データを 受信している。 | リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。 |
| 90d | ヘッド 選択 ナシ | プリントヘッドに異常を 検出した。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 27 37 第 第 第 1 1 1 1 1 1 1 2 1 2 3 2 3 |
| 90f | プリント エリア不足 | プリント領域が不足して いる。 | メディア幅が広い、もしくはメディ ア長さが十分なメディアに交換して ください。 原点移動により、プリントできる領 域が狭くなっている場合は、原点を 移動してプリントできる領域を広げ てください。 |
| b0a | CTC PCB Vpow | ・ CTC基板の電源電圧に異 | 主電源を切って、しばらくたってか |
| b0b | CTC PCB V24 | 常を検出した。 | ら電源を入れてください。(2)「電 源を切る」(P.37) |
| b0c | CTC PCB V5R0 | | |
| b0d | CTC PCB V3R3 | | |
| b0e | CTC PCB V2R5 | | |
| bOf | DIO PCB Uvpow | ・UV-DRV基板の電源電圧 に異常を検出した。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 (2) 「電源を切る」 (P.37) |
| b19 | Station4 PCB V36 | ステーションIV基板の電 源に異常を検出した。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 (2) 「電源を切る」 (P. 37) |
| C10 | コマンド | コマンドデータ以外の コードを受信した。 | データクリアを実行して、再度データ を送信してください。 |
| C11 | パラメータ | 数値範囲外のパラメータ を受信した。 | 主電源を切って、しばらくたってから 電源を入れてください。(空)「電源を切 る」(P.37) |
| C12 | デバイス | 不当なデバイス制御コマ ンドを受信した。 | USBケーブルの接続を確認してください。 い。 「USBケーブルを使う」 (P. 38) |

| エラー番 号 | メッセージ | 原因 | 対処方法 | | |
|-----------|----------|--|--|--|--|
| | | | 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。 の注意事項」(P.38) | | |
| C31 | データナシ | "コピー"を実行したが、受 信バッファにデータが保 存されていない。 | 該当のデータを再度カッティングしてください。 | | |
| C32 | データが大きい | ・ 受信済みのデータが大き すぎて、枚数切りができ ない。 | データサイズを変更してください。 | | |
| C33 | シートサイズ | シートの送り方向が短す ぎる。 | 残量があるシートをお使いください。 | | |
| C36 | トンボ検出 | トンボ検出ができなかった。 | トンボのレイアウトが適切かどうかを 確認してください。^② 「トンボについ て」(P. 102) | | |
| | | | カールしていないメディアを使用して ください。 | | |
| | | | 3. トンボ検出の開始点を確認してくださ い。 | | |
| | | | 白地に黒色のトンボがプリントしてあるかどうかを確認してください。 | | |
| | | | 5. トンボ間にプリントや汚れがあるかど うかを確認してください。 | | |
| | | | トンボ検出の各種設定が正しいかかどうかを確認してください。 | | |
| | | | 7. トンボの周りを塗りつぶしている場 合、[トンボ検出] > [塗り潰しトンボ]を [ON]に設定してください。 | | |
| C37 | トンボ原点 | トンボ検出の結果、範囲 外にトンボを検出した。 | ・以下を参照してレイアウトを変更してください。 り範囲」(P. 105) | | |
| C60 | ペン エンコーダ | ペン高さが検出できな かった。 | 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。32%「電源を切る」(P.37) | | |
| C61 | ペンストローク | ペン高さが適正でない。 | 1. ペンラインゴムが摩耗していないか、 また浮きや変形がないかどうかを確認 してください。 | | |
| | | | ペンラインゴムに異物が付着していな いかどうかを確認してください。 | | |
| | | | 市販ペンホルダーにペンを取り付けた 際、適正な位置に取り付けられている かどうかを確認してください。 | | |

SYSTEM HALT

| エラー番 号 | メッセージ | 対処方法 |
|-----------|------------|--|
| 406 | WIPER ORG | ワイパーとワイパー周辺を清掃してください。 「ワイパーの清掃」(P. 137) |
| | | 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 (27)「電源を切る」(P.37) |
| 1c3 | PCB SLDR2H | 1. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 (注)「電源を切る」(P.37) |



 その他のSYSTEM HALT番号が表示された場合は、主電源を切って、しばらくたってから電源 を入れてください。
⁽²⁷⁾「電源を切る」
(P. 37)





この章では... 本機の仕様など説明しています。

8.1 仕様

| 項目 | | UCJV300 | | | | UCJV150 | |
|----------|-------------|----------------|--|------------------------------|--------------------|---------------------|----------------------|
| | | | 160 | 130 | 107 | 75 | 160 |
| プリント | 方式 | | オンデマンド | ピエゾヘッド | | | |
| луF | 仕様 | | ヘッド(4列) | を2つ搭載(| インライン配 | 列) | ヘッド(4 列)を1つ搭 載 |
| | 解像度 | | Y:300dpi,6 X:600dpi,9 | 600dpi、1,200 900dpi、1,200 | dpi dpi | | |
| インクセッ | 4-color | | C, M, Y, K | | | | C, M, Y, K |
| | 4-color、W | | C, M, Y, K, W | 1 | | | - |
| | 4-color、W | CL | C, M, Y, K, W | , CL | | | - |
| | 6-color、W | | C, M, Y, K, Lo | c, Lm, W | | | - |
| メディア | 種類 | | ラベル原紙(さ0.25mm以 ⁻ 除く) | 紙ベース)、 下)、蛍光シ- | 塩ビシート(- ト、反射シー | ラミネート加コ - ト(高輝度反 | を含み、厚 射シートは |
| | 最大プリン *1 | ト/カット幅 | 1,610mm | 1,361mm | 1,090mm | 800mm | 1,610mm |
| | ロール | 最大幅 | 1,620mm | 1,371mm | 1,100mm | 810mm | 1,620mm |
| | リーフ 共通 | 最小幅 | 210mm | | | | |
| | | 厚さ | 1.0mm以下 | | | | |
| | ロール | ロール外径 *2 | ø250mm以下 | (紙メディア) |)、ø210mm以 | 以下(その他) | |
| | | ロール重量 *2、*3 | 40kg以下 | | | | |
| | | 紙管内径*4 | 2インチ、また | こは3インチ | | | |
| | | プリント面 | 外面、内面 | | | | |
| | | 巻き終り処 理 | 紙管にテープ | 止め、または | 弱粘着 | | |
| プリント | 左右 | | 15.0mm(デフォルト値)、最小値:左右 5mm | | | | |
| マージン | 前端 | | 120mm | | | | |
| | 後端 | | 150mm | | | | |
| 距離精度*5 | 絶対精度 | | ±0.3mm、または指定距離の±0.3%の大きい方 | | | | |
| | 再現性 | | ±0.2mm、または指定距離の±0.1%の大きい方 | | | | |
| 直角度 | | | ±0.5mm/1,000mm | | | | |
| メディアス | キュー | | 5mm以下/10m | | | | |
| プリントギ | ャップ | | 手動3段階(2 | 2.0、2.5、3.0n | nm) | | |
| メディア裁問 | 断 | | 裁断精度(段差)0.5mm以下 | | | | |
| 原点位置合物 | わせ | | LEDポインタ | 一式 | | | |
| インク供給 | | | インクボトル | | | | |
| メンテナン | ス液供給 | | なし | | | | |

| 項目 | | UCJV300 | | | | UCJV150 |
|-------------------------|-------------|--|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | | 160 | 130 | 107 | 75 | 160 |
| 廃インクタン | ンク | ボトル式(2, | 000ml) | | | |
| 巻き取りユ | ニット | 内巻き、外巻 | き切り替え可 | 能 | | |
| メディアヒ | ーター | なし | | | | |
| NCU(ノズ | ル詰まり検出) | 搭載 | | | | |
| UV装置 | | 空冷LED UV | 照射装置2基 | | | |
| 画像展開メ | モリー | SD-RAM : 20 | θB | | | |
| インター | データ転送機能 | USB 2.0 Hi-s | peed、Ethern | et 1,000BASE | -T | |
| フェイス | メール機能 | Ethernet 10B | ASE-T/100BA | SE-TX/1000B | ASE-T | |
| コマンド | · | MRL-V | | | | |
| 言語 | | 日本語、英語 | 、中国語、ト | ルコ語、ポル | トガル語 | |
| 騷音 | 待機時 | 55dB以下(F | AST-A、前後 | 左右1m) | | |
| | 連続動作時 | 65dB以下 | | | | |
| | 不連続動作時 | 70dB以下 | | | | |
| 適合規格 | | VCCI-classA、FCC-classA、IEC62368-1 準拠ETL、CE マーキング (EMC 指令、低電圧指令、機械指令、RoHS指令)、CB 認証、 REACH、EnergyStar、RCMマーク | | | | |
| 電源仕様 ^{*6} | | 単相AC100-120V±10%/12A、単相AC200-240V±10%/8A、 50/60±1Hz | | | | |
| 消費電力 | 標準 | - | | | | |
| | 最大 | 1,440W(AC | 100-120V)、 | 1,920W(AC2 | 200-240V) | |
| | 最小 | - | | | | |
| 。 設置環境 ^{*7} | 使用可能温度 | 20 - 30°C | | | | |
| | 相対湿度 | 35 - 65%Rh | (結露なきこと |) | | |
| | 精度保証温度 | 20 - 25°C | | | | |
| | 温度勾配 | ±10°C/h 以下 | | | | |
| | 粉塵 | 0.15mg/m ³ (| オフィス相当) |) | | |
| | 動作最高高度 | 2,000m | | | | |
| 外形寸法*8 | 幅 | 2,900mm (-mm) | 2,650mm (-mm) | 2,380mm (-mm) | 2,090mm (-mm) | 2,900mm (-mm) |
| 奥行き | | 776mm (-mm) | | | | |
| | 高さ*インクボトル除く | 1,475mm(x | (xxmm) | | | |
| 重量 ^{*8} | | 188kg (-kg) | 177kg (-kg) | 161kg (-kg) | 144kg (-kg) | 183kg (-kg) |

*1. 設定メニューのマージンを左右を最小値(5mm)に設定

*2. メディア巻き取り後の外径および重量

*3. 重量によるたわみがない範囲

*4. 高速プリント時は3インチのみ

*5. メディアの伸縮、セット初期蛇行は除く

*6. オプション類除く

*7. 範囲外の環境ではインク吐出安定性が低下する

*8. ()内は、梱包時のサイズ

8.2 仕様(カッティング)

| 項目 | 内容 |
|--------------------|---|
| 最大速度 ^{*1} | 30cm/s(45°方向 42cm/s) |
| 最大加速度 | 0.5G |
| カット圧力 | 10~450g |
| カッター応答回数 | 10回/sec |
| 使用可能ツール | 偏芯カッター、ボールペン(市販品 ^{*2}) |
| 使用可能メディア | ラベル原紙(紙ベース)、塩ビシート ^{*3} (厚さ0.25mm以下、ラミネート 加工含む)、蛍光シート ^{*4} 、反射シート ^{*4} (高輝度反射シートは除く) |
| 反復精度 | ±0.2mm 以下(温度によるフィルムの伸縮を除く) |
| 受信バッファメモリ | 32MB |
| コマンド | MGL-II c2 |
| プログラムステップ | 25µm/step |

*1. メディアのサイズによって、最大速度が制限されることがあります。また速度、加速度ともに最大で動作 することはできません。

*2. 出っ張りやテーパーのないものを使用してください。またボールペンによってばらつきがありますので、 画質の保障はできません。

*3. 当社規定のシートによる。

*4. 蛍光シート専用刃(SPB-0007)、反射シート専用刃(SPB-0006)。

8.3 LICENSE Library (EPL5 StarterWare)

Mimaki printer Firmware

Copyright @2020 MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. All rights reserved.

This product contain open source software listed in the tables below.

| Component | License |
|---|---------|
| StarterWare for ARM® based TI Sitara Processors | BSD-TI |

The following license terms and conditions shall apply to the open source software listed in the table above: BSD-TI

Copyright (C) 2010 Texas Instruments Incorporated - http://www.ti.com/

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3. Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

| | А | |
|--------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| ACインレット | | |
| | | |
| | E | |
| [END/POWER]+ | | |
| [ENTER]+ | | |
| | F | |
| | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 106 |
| | | 32 34 |
| | | |
| | I | |
| IDカットガイド | | |
| IDカット | | 105, 109 |
| | | |
| | 5 | |
| [JOG]干一 | | |
| | L | |
| LANGUAGE | | |
| LANケーブル | | |
| LANポート | | |
| LTモード | | 114, 116 |
| | | |
| | M | |
| MAPS | | |
| Mimaki ドライハー | | 41 |
| | Ν | |
| NCU | | |
| | | , , |
| | R | |
| RasterLink | | , 77, 78, 105, 106, 113, 173, 175 |
| | 8 | |
| | 5 | |
| | | |
| | | |
| | Т | |
| Temporary | | |

| U | |
|----------------|-------|
| | |
| USBポート | |
| UV-LEDランプ | |
| UV光量調整 | |
| UVモード | |
| UVランプ | |
| | |
| V | 7 |
| VCCI | |
| あ | |
| アップスピード | |
| ر ۱ | |
| イオナイザー | |
| イベントメール | |
| インクICチップスロット | |
| インクICチップ | 49.50 |
| インクエラー | |
| インクエンド | |
| インク供給ユニット | |
| インク交換レポート | |
| インク残量 | |
| インク充填 | |
| インク状態確認ランプ | |
| インクステータスランプ | |
| インクニアエンド | |
| インクの状態 | |
| インク排出経路 | |
| インクふき取りフィルター | |
| 印刷中チェック | |
| インストールガイド | |
| インターロック | |
| インレット | |
| え | |
| エラー履歴 | |
| エラー | |
| ສ | |
| ー オートクリーニング | |
| | |

| オートパワーオフ | 120 |
|------------|----------|
| オートメディアカット | 129 |
| オートメンテナンス | 117 |
| オーバーカット | 129, 130 |
| オーバーフローメンテ | 118 |
| オフセット | |
| | |
| か | |

| カーブモード | |
|------------|-----|
| 確認フィード | 120 |
| 重ね塗り | 112 |
| カッターユニット | |
| カッティングメニュー | 127 |
| カット溝 | |
| カットモード | |
| カラープロファイル | |
| 乾燥時間 | 112 |
| | |

| き | |
|--------------|----------|
| キーブザー | |
| キャッピングステーション | |
| キャップ吸収材交換 | 151 |
| キャップ吸収材 | 151 |
| キャップ | 135, 139 |
| キャリッジアウト | 117 |
| キャリッジの移動 | |
| キャリッジ | |
| キャンセル | |
| 吸着ファン | |

| << | |
|-------------|-----|
| _ 空気抜き | |
| クランプレバー | |
| クリーニング後チェック | 113 |
| 繰り出しユニット | |
| グリットローラー | |
| グリットローラー | |
| | |
| | 21 |
| | |

索引

| - C | |
|-------------|-----|
| コーナーカット | |
| コピー | |
| コンセント | |
| | |
| | |
| サンプルカット | |
| | J |
| シート設定 | |
| 時刻設定 | |
| 自動ノズルリカバリー | |
| 遮光カバー | |
| ジャムセンサー | |
| 受信障害 | |
| 受信バッファ | |
| 主電源スイッチ | |
| 使用時間 | |
| 使用状況 | |
| 情報メニュー | |
| シンボルマーク | |
| | J |
| | |
| スケール補正 | |
| ステーションメンテ | |
| ステータスランプ | |
| 捨て切り | |
| スムージングレベル | |
| | ± |
| 、 設置フペーフ | |
| 設定サブメニュー | 128 |
| 設定メニュー | 112 |
| センサー感度 | |
| | 2 |
| +品 /た パック ロ | |
| 床TFハイル | |
| | ć |
| | |
| 多層印刷 | |

| 単位 / 温度 | |
|--------------|------------------------------|
| 単位 / 長さ | |
| | 2 |
| | |
| ツール交換 | |
| | 7 |
| | |
| ディスプレイ | |
| テストプリント | |
| 電源ケーブル | |
| 電源プラグ | |
| 電波障害自主規制 | |
| | |
| | <u>ک</u> |
| 吐出不良 | |
| ドット位置補正 | |
| トルクリミッター | |
| トンボ検出ENDキー起動 | |
| トンボ検出 | |
| トンボセンサー | |
| トンボ | 100, 102, 103, 104, 106, 127 |
| | <i>ф</i> |
| | |
| | |
| | ね |
| ネットワーク | |
| | <i>の</i> |
| ノズル洗浄 | |
| ノズルチェックメニュー | |
| ノズルリカバリー | |
| ノットレディモード | |
| | 1+ |
| | |
| バージョン | |
| ハーフカット | |
| 廃インクタンク交換 | |
| 廃インクタンク | |
| 排気ファンBOX | |
| 排気ファンフィルター | |
| 判定条件 | |

索引

| | ひ | |
|-------------|----------|----------------|
| 表示言語 | | 120 |
| ピンチローラーガイド | | |
| ピンチローラー | | |
| | 131 | |
| フィード速度 | | 113 |
| フィード補正 | | |
| プラテン | | |
| プリント原点 | | |
| プリント長 | | |
| プリント面積 | | |
| | \wedge | |
| ヘッドクリーニング | | |
| ヘッド高さ | | |
| ヘッドメンテナンス | | 117 |
| ペンライン | | |
| | Г. | |
| | | 117, 147 |
| 補正圧オフセット | | |
| ボトルキャップ | | 45, 46, 47, 48 |
| ホワイトインク | | |
| ポンプチューブ洗浄 | | 117, 144 |
| | ま | |
| マージン | | 105, 113 |
| 巻取スイッチ | | |
| 巻き取りユニット | | |
| 巻取ユニット | | |
| マシン設定メニュー | | |
| | み | |
| ミストフィルター | | 135, 142, 152 |
| | 8 | |
| メディア押さえ | | 135, 145 |
| メディア検出 | | 120 |
| メディア残量 | | 120 |
| メディアセンサー | | |
| メディアハンガー | | |

| メディアフィード | |
|----------------|----------|
| メディア | |
| メニューモード | |
| 免責事項 | |
| メンテナンスカバー | |
| メンテナンスメニュー | 117 |
| لم | |
| 余白フィード方式 | |
| Ŋ | |
| ー リーフメディア | |
| リスト | |
| リファレンスガイド | |
| リモートモード | |
| 3 | |
| ー ローカルガイダンス | |
| ローカルモード | |
| ロールホルダー | |
| ロールメディア | |
| ロジカルシーク | |
| わ | |
| ワイパー交換 | 117, 150 |
| ワイパー | |
| ワイピング | |

MEMO

取扱説明書

2025年3月

発行者株式会社ミマキエンジニアリング発行所株式会社ミマキエンジニアリング〒389-0512長野県東御市滋野乙2182-3

